(明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)
滿洲日報
夕刊
八月二十五日

宜昌の支那人暴漢が我海軍集會所を襲撃
留守番を脅迫家宅捜索

【漢口廿四日發】宜昌來電によれば廿三日午前支那人暴漢二十四名が手に〳〵拳銃その他の兇器を携へ我海軍集會所を襲ひ留守番を脅迫して家宅捜索をなしその儘引きあげた、右暴漢は反日會員らしく我當局は即時嚴重抗議中である

水先人を不法監禁

【宜昌二十四日發】反日會は昨日午後五時日清汽船水先案内人を不法監禁荷物取扱ひ買辦を脅喝して乘船を拒絶したので昨日宜昌發の軍艦行雲湧、宜陽兩船は出發不能となつた、斯くて先日來惡化しつゝある排日運動は俄然具體化し暴戾の火蓋を切つた

英擧國一致内閣は五、六週間の短命か
財政案通過せば辭職

【ロンドン廿四日發】擧國一致内閣の組織は與黨及び在野黨三派が國家の財政危機を切り拔けるため豫算の均衡を圖るべく等しく持て餘した結果餘儀なくこの擧に出たもので從つてこの擧國内閣の壽命は短命で恐らくイギリスに對する外國の信用を完全に回復するため緊急必要なる財政案の臨時議會通過を可能ならしむるための内閣でその生命は五、六週間であらうと見られてゐる

擧國一致内閣が組織することゝなつたことは英國財政難局に關し國の内外に在る關係筋に對し安全保障を與へたものである、擧國一致内閣がそのなすべきことを完了した後において議會解散が事情の許す限り早く斷行さるゝものと解さる、國家危機の重大さを思へば政黨政派のこだわりなかなぐり捨て國家のため協力することこその義務なるを感ずる

聯立内閣の陣容
保守、自由兩黨各二名入閣

【ロンドン二十四日發】マクドナルド氏は目下擧國一致内閣の閣員銓衡中なるが、保守黨よりボールドウイン、ネヴイルチエンバーレン氏自由黨よりサミエルホーア、サー・ハーバートサミエル氏の入閣は確實と見らる、なほスノーデン氏及び勞働相ボンフイルド女史は留任するものと見られる

保守黨首聲明

【ロンドン二十四日發】ボールドウイン氏は二十四日夜時局に關し左の聲明書を發表した

自由黨首聲明

【ロンドン廿四日發】ロイドジヨージ氏は二十四日夜病床から聲明書を發表しこの際黨や私的事情に囚はるゝことなく非常時救濟に全

辭任する閣僚十名内外

國民の協力を求め左の如く强調した

國家こそ總てに先んじ第一に考へらるべきものなり、何事が起り如何なる事情に在るも國家を忘るゝことは許されぬ

【ロンドン廿四日發】イギリス擧國一致内閣の組織に當り主なる難關とされてゐるのは大藏大臣及び外務大臣の椅子を何人に擬當てるかの問題であるが勞働黨が現に下院において二百八十六票の多數を擁してゐると財政政策の緊急に直面してゐるに鑑み保守黨、自由黨とも時局緊急のため現大藏大臣スノーデン氏の居据りに同意するであらうと觀られてゐる、なほ左の諸氏は既に辭表を提出し又は提出せんとしてゐると解せられる

外務大臣ヘンダーソン、商務大臣グラハム、保健大臣グリーンウツド、海軍大臣アレキサンダー、工部大臣ランスベリー、國璽尚書ジヨンストン、農務大臣アヂソン、スコツトランド大臣アダムソン

右諸氏は今回の赤字補塡に關する節約案に對し最も强硬に反對した人々である

保守黨も欣然入閣

【ロンドン二十四日發】本日午前バツキンガム宮殿で皇帝陛下に拜謁せる保守黨首領ボールドウイン氏は陛下に對し現下の難局を切り拔けるため暫定的意味で擧國一致内閣を勞働黨内閣首相をして組織せしめらるれば欣然として參加すべしとの意味を言上せりと解せらる

財政難局を打開
擧國一致内閣の目的

【ロンドン二十四日發】イギリス首相官邸は本日午後左のステートメントを發表した

目下マクドナルド氏が組織中の新内閣の目的は國家の緊急事項を處理するにあり、普通の意味における所謂聯立内閣ではない、新内閣より議會に提案されんとする緊急案は非常に多額の經費削減と豫算均衡上新なる資金を供給せんとするものである、なほ政府はボンド貨の信用維持に必要なる凡ゆる手段を執る決心である

九月八日 議會召集

【ロンドン二十四日發】マクドナルド氏を首班とする擧國一致内閣成立せば同政府は財政緊急案を附議するため多分九月八日議會を召集すべしと首相官邸より發表された

首相官邸發表

【ロンドン二十四日發】イギリス内閣總辭職につきマクドナルド首相は本日午後閣員全員の辭表を捧呈した、陛下はラムゼー・マクドナルド氏に對し擧國的政府を組織すべく努力すべしと御下命あらせられたマクドナルド氏は御下命により保守黨首領ボールドウイン氏、自由黨代表サミエル氏と目下會商し後繼内閣につき努力中

勞働組合は政府支持打切

【ロンドン廿四日發】イギリス勞働組合總評議會書記長兼國際勞働組合聯合會長シトライン氏は擧國一致後繼内閣に對する勞働組合の態度につき

組合の政府支持方針は勞働黨内閣總辭職と共に拋棄され勞働黨全國執行委員會勞働組合總會が新方策を決する迄組合は今後も政府支持をなすものでないと發表した

法權交涉は再開難
英公使は强硬に反對
日本も積極的には進めぬ方針

【南京特電廿四日發】ワシントンで進められつゝあつた米支法權交涉は伍朝樞氏の辭職で南京に移される事になり一件書類も米公使館に到着したので來月初旬ジヨンソン氏の來滬とともに王正廷氏との間に交涉繼續される筈だが**ランプソン英公使はソルバーン事件解決までは法權交涉は再開に應ぜず**と强硬に主張し、日本も排日運動、中村事件に**支那側の誠意を認めざる限り積極的法權交涉に入らぬ**筈だから支那側の期待する如く九月から一齊に開始されるや否やは全く支那側の態度一つにかゝつてゐる

蔣介石氏は夫人同伴軍艦で二十三日夜南昌着多數の出迎へを受けて上陸直に自動車で百花州の行營に赴き、曾擴平氏から其後の討伐狀况につき報告を受けた【上海特電二十五日發】南昌來電によると、

共匪粉碎企圖

尙蔣介石氏今回の出動は前線部隊を督勵し盛返しつゝある共匪を一氣に粉碎すると共に占領區域の整理のためだと

社員會委員會主査互選

滿鐵社員會の「滿鐵を中心とした滿蒙國策の確立」に關する特別調査委員會各分科小委員會主査を互選中の處愈々候補各三名づゝを選出したので一兩日中にその内から各一名の主査を選定、更に分科委員會主査五名を互選、山岡幹事長の歸社を待つて主査會議を開催、諸般の打合を爲し愈々事業に着手する筈、尙山岡幹事長は豫定より遲れ多分二十八日歸連すると

滿鐵の語學檢定
受驗者例年より增加

滿鐵の語學檢定試驗は九月六日豫備試驗を施行することゝなつてゐるので募集中の處應募者は

中國語　特等四十一名、一等百二十三名、二等三百十七名、三等九百三十二名、四等四百八十七名、合計千九百名
ロシア語　特等八名、一等二十九名、二等三十名、三等百十九名、合計百八十名
日語　特等二十七名、一等八十三名、二等百六十八名、三等五百十名、合計七百八十八名

で應募者總數二千八百七十四名、昨年に比して二十八名の增加である、然し本年は滿鐵社員中專門學校出身者に對しては人事課で一二等程度の中國語の試驗を別に課すことゝなり一般檢定試驗を受ける必要がなくなつたので本年は應募者が非常な增加だといへる、ロシア語應募者も三名の增加、日語も亦百七十名の增加となつてゐる日語受驗者は大部分中國人だがロシア人も三名ゐる、尙受驗場は各地實業補習學校で吉林は小學校、ハルビンは滿鐵事務所、北平、チチハルは公所で行ふ、因に本試驗は九月下旬か十月上旬だと

共産主義と社會民主主義
室伏高信

1

犬養さんが京都の政友會大會でのべたところは相當世間の注目をひいたやうである。こゝに共産主義をも含む無産階級運動に對する支配者階級の立場についての「新しいもの」が示されてゐると見られたからである。

犬養さん並にその率ゐる(或は率ゐられる)政友會の眞の意圖がどこにあつたかは私の知らないところである。——これによつて政友會の態度の變革を示してゐるのか、或は單に政府を攻擊するための手段であるとしか過ぎないかどうかについては

2

犬養さんは今日の日本の社會運動を共産主義と社會民主主義との二つに分けてゐる。そして前者を危險なものとしながら、後者を當然のこと「相ともに討論の餘地あるもの」となしてゐる。

この見方は必ずしも誤つてゐるとばかりはいへないであらう。日本にはたしかにウルトラ・ラヂカルの一派があり、それは一つの宗派的情熱をもつて行はれ、また多くの靑年たちに訴へてゐる。日本の思想界は今日では殆ど全部この一派の掌握するところであるといつてよく、ウルトラからウルトラへと、共産主義的思想の發展し、擴大してゆくことは驚くべきほどであり、英國のハアコオトが昔英國の大學生は凡て社會主義者であるといつた言葉にならつていふなら、日本の大學生は凡て共産主義者であるといつてもよいのである。

3

他の一方には社會民衆黨と勞働同盟とによつて代表される社會民主主義の一派があり、この一派は百パーセントの議會主義と並に階級協調主義とを奉じ、たしかに資本家と「相ともに討論の餘地あるもの」であるに相違ない。社會民衆黨こそは正しくブルジョア第三黨としての名を恥かしめない存在であるといつてもよいのである。

4

だが、これはひとり、犬養さんの見方だけではないが、こうした分類——無産運動を共産、社民の二大陣營に分類することが今日の現實と一致してゐるかどうか。

公式主義の打破といふことが勞農大衆黨出現の意義であり、獨りこの政黨内に公式打破が行はれてゐるだけではなしに、社民黨内にもこの種の空氣が漸次に成熟しつゝあることを考へるならば、日本の無産運動が新しい意味においての現實的方向をとりつゝあることこそ最も注目に價するものであつて、政治家も、國民も、今日では、如何なる公式主義よりも、この種の新しい發展的現實主義について先づ充分の注意を拂ふべきではなかつたか。

奉天視察の滿鐵正副總裁

【寫眞】(右上)廿四日夜奉天ヤマトホテルにおける正副總裁の各國要人招宴、岐阜提灯を吊つて日本趣味を味ふ(右下)日清日露兩役に活躍した志士を菩提所妙心寺に弔ふ、内田總裁は七十餘烈士の金色の位牌に感慨深げに禮拜しその中物故した勇士の黑文字の位牌を見て「紅いうちは生きてゐる人だね、色が變れば駄目なのかなア」(左上)城内最大のデパート吉順祥のルーフで城内を展望鎌田囑託の說明を聽く(左下)城内博物館および四庫全書等を觀察した、この方面に造詣ふかき兩總裁は限なく巡覽し銅版にされた圓明園の全圖は北京にあつた内田總裁の興味を唆つた模樣濟の大觀、香妃など肖像畫の特色ある筆致を賞賛し光緒帝は老過ぎてゐるなど諧謔混りの批評を下して喜ばせ陳列室の正面に揭げた「正大公明」の扁額をみて「民政黨の綱領のやうだ」で一同大笑ひ【西村特派員撮影】

支那の對日態度
根本的に改めることが必要
柴山張氏顧問語る

北京に滯在中であつた柴山顧問は廿三日歸奉したが語る

張學良氏の病氣は既に全快し益々元氣を恢復しつゝあるがしかしまだ一切の政務は執つてゐない、例の石友三軍の反蔣動亂も終熄まで少しも知らない程であつた、そして張學銘、萬福麟、戢翼翹の諸氏が一切の政務を辦理してゐる、北支時局も石軍の平定で只今では小康といふ處である、閻錫山氏の山西入りは乃父の病氣見舞といはれてゐるが閻氏が大連において眺めた山西の舊部下と山西に行つて見た事實の舊部下とがその觀察においても餘りに差異があつた事に失望してゐるらしい、近頃日支間に頻發する不祥事件に關しては張學良氏も非常に憂慮してゐる、だが日支間の諸問題は支那側の對日態度を根本的に革めなければその解決は困難であらう【奉天電話】

柴山顧問赴旅

北平より歸奉した張學良氏顧問柴山少佐は廿五日旅順に赴き新任軍司令官本庄中將を訪問する筈で同氏の赴旅は中村大尉事件に關する諒解運動として注目されてゐる、尙同少佐は來月上旬再び赴平の豫定である【奉天電話】

臨時樞府本會議
御親臨

【東京二十五日發】那須御用邸に御避暑中の天皇陛下には二十六日の臨時樞府本會議御親臨のため二十五日午後一時半御用邸御出門二時黑磯驛御發五時半原宿御着還幸あらせらる

軍縮主席全權は
松平駐英大使に内定

【東京二十五日發】軍縮會議主席全權は松平駐英大使に内定し二十七日の閣議で正式決定を見るであらう【寫眞は松平氏】

我軍備報告
聯盟總會へ發送

【東京二十五日發】國際聯盟に報告すべき日本の軍備現狀報告は此程漸く一切の整理を終了したので二十四日午前ジユネーヴ聯盟總會帝國代表宛郵送された、ジユネーヴ着は九月十日前後の見込で内容の公表は芳澤代表より聯盟事務局に提出を了した後ジユネーヴと東京で一齊に行はれる筈

北方大會議
あす開會

【北平二十五日發】山西省主席徐永昌、楊愛源、趙戴文の三氏は午前九時太原から來平之で北方將領の顔ぶれ揃ひ大會議は本日午後か明日朝から開會されん

蛇角

英國擧國一致黨、閣總辭職、マック首相改めて擧國一致内閣を作る、保守黨のボールドウイン、自由黨のサミユル兩君難局切拔けの爲め欣然入閣。愛國と俠氣。

◇

勞働組合を支持する閣僚は去るマック首相の下に敵味方入れ替る勞働黨よりも國家が大事といふ首相の決心は悲壯。ボールドウイン君も政黨政派は問題でないといふロイドジヨーヂ君も病床から如何なる事情にありても國家を忘るゝは許さぬと叫んで居る。此處が英國政治家の眞骨頭か。

◇

閻錫山はお經を讀みたいと云ふ馮玉祥は讀書習字。クリスチヤンゼネラルだけにさすがにお經とは云はぬ。

◇

馮玉祥が租界や外國に行くのはいやだと云ふ。吳佩孚が丁度そんな事を云つて居た。吳を眞似した馮だ。どつちも意地つ張りは似て居る。その吳佩孚、孚威將軍の味が忘れられず、近頃娑婆氣を出して三民主義に民智民德を加へて特製の五民主義だと威張つて居る。人氣を取る積りで却つて笑はれて居る。

◇

中華民國水災同慨會が出來た。別に人災同慨會が必要なのだが、此方は誰も云ひ出さぬ。民衆の利害から見ると同じことだが、一は慈善、一は干涉。わかつた樣なわからぬ理窟。

東亞の謎 (69)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

魔都の陰謀 (四)

「一體何んですな、顏付とは?」

武村はパチ〳〵とまばたきをした。

「なにさ、素敵もない儲け話つてやつを、持ち込んで來たらしい顏付だと、先刻して云つた迄さ」

「ナール程れ、可い觀察だ」

武村は笑つて頷いて見せた。

「ひとつお力を借りませう」

「一通り話して見なさるがいゝ」

「貴郞の方の領分なので」

「はてれ、領分? 私の領分?」

「ペツピンさんの話でさあ」

「ほゝう、さようか、それは〳〵……が、それなら貴郞にしたところが、赤の他人ぢやアない筈で」

「大物過ぎて駄目なんでさあ」

「白人かれ、それとも御國の……」

「そいつ〳〵、御國の方で」

「ぢやア貴郞の領分だ」

「今も云つたぢやアありませんかせう」

……本人をお見せしてから相談しませう」

「先に貴郞にお渡しゝます。……で彼は腕を拍きながら云つた。

「(眞相を明かしちやア甑からう。)

(却て二の足を踏むかもしれない)

然し武村は此處で考へた。

「相手は一體何物ですかな?」

しの話だ」

やアいけない、本當も本當掛値なしの話だ」

「何んですい、莫迦な、茶化しちや」

「まあ、武村さん待つて下さい。大變元氣のいゝ話になつたが、一體そりやア本當の話なので?」

すので」

へ、賣り込んで戴いちやア困りますので」

いふ、そんなケチ臭い連中なんかへ、要人や、北方の軍閥の巨頭なんていふ、海あたりの金持や、南京政府邊の

豫じめ申上げて置きますがね、上

「といふ鐵付には見えないがね」

五十を一つ二つ越してゐるだらうか、それでゐて途方もなく肥えてゐて、首などまるで牡牛のやうであり、ダブ〳〵と垂れた頰などは、滿氣味惡い程豐であり、手首なども圓々と脂肪づいてゐて、骨などは何處にも無ささうである。で朱仁卿といふ人間は、一見すると極めて濃厚な、人格ある紳商に見えるのであつたが、面と向つて話してゐるうち中、めつたに相手を正視せず、正視した瞬間に眼の光が、嫌に障る程銳いのさが、この人間を一筋縄でいかない、したゝか者だといふことを、見る人に證明するのであつた。

大物過ぎて手に餘るつて」

「と爲ると何ういふ奴つ子かな。……まさか伯爵でも……」

「そいつ〳〵、それなんですよ」

「伯爵? 華族? アツハハハ、華族にもいろ〳〵ありましてな」

「信用して下さい、本物でさあ」

「で、處女でござんすかな」

「勿論のことで、正眞正銘の」

「いやー、こいつは大物だ」

「で、貴郞のサロンの方でれ」

「心得ました。引受けませう」

「ご注意迄に申しますが、萬が一にも下がつちやア不可ませんぜ」

「なに、萬ですつて? 途方もない話だ」

「玉を見ないから然ういふので。……それからもう一つご注意まで

本庄軍司令官巡視日割

本庄新軍司令官は左記日程にて板垣高級參謀外石原參謀有富副官同伴秘度巡視を行ふ豫定である

▲九月七日午前七時廿五分旅順發同八時四十五分大連着、同九時大連發十二時五十分大石橋着泊▲八日午前七時四十五分大石橋發同八時二十八分海城着、同日午後一時二十八分海城發同二時四分鞍山着一泊▲九日午後二時五分鞍山發同三時十二分蘇家屯着、同三時四十五分蘇家屯發同六時十一分連山關着一泊▲十日午前十時十六分連山關發午後一時奉天着一泊▲十一日午前十一時三十分奉天發午後一時三分鐵嶺着一泊▲十二日午前八時十八分鐵嶺發同十一時四十四分公主嶺着一泊▲十三日午前十一時四十六分公主嶺發午後一時長春着二泊▲十五日午前八時三十分長春發午後一時二十分奉天着一泊▲十六日午後一時二十六分奉天發同二時二十一分遼陽着二泊▲十八日午後二時二十六分遼陽發同八時大連着、同八時十分大連發同九時三十分旅順官邸着

滿鐵辭令(八月廿五日)

總務部調査課事務囑託　イワン・グメミューク
同　山下義雄
同　大西清

囑託を免ず(各通)

人事

▲貝瀨謹吾氏(前滿鐵社員)廿五日入港うらる丸で歸連
▲上野善清氏(關東廳警部)同上
▲日笠芳太郎氏(本社囑託)同上
▲由良貞雄氏(航空少佐)同上
▲恩田明氏(一中教諭)同上
▲田中稔氏(貔子窩民政署長)同上
▲白神磊三氏(土木業)廿五日下り機にて平壤より歸連

食糧品を滿載した汽船を漢口へ
滿鐵の水害救濟案

武漢地方空前の大水害は廿一日さその慘狀を深刻にし被害狀態は益々重大化しつゝあるので畏くも我皇室におかせられては列國元首に率先せられて御內帑より救濟金を御下賜あらせられ之に感激せる我朝野は大々的に救濟運動を起し大連においても日華兩國有力者の發起で救濟義捐金の募集を開始したが滿鐵においても畏き聖旨に副ひ奉るべく目下具體的に救濟計畫を進めてゐるが被害地方が極度の物資缺乏に惱んでゐる現狀に鑑み義捐金よりは物資を送るのが效果的であらうとの意見が有力なので或は汽船を一艘チャーターしてメリケン粉その他の食糧品を滿載して漢口に送ることになるかも知れない模樣で目下滿鐵當事者において研究中である

長江筋の水害調査
罹災民三千四百萬人 國民政府發表

【南京二十四日發】長江筋水害による被害は調査の進むにつれて愈々增大しつゝあるが國民政府は廿四日迄に判明せる被害實況につき左の如く公式發表をなした

一、被害地は四川、陝西、湖南、湖北、江西、安徽、江蘇の七省に跨がりこの縣數百四十九縣
二、被害人口三千四百六十萬人
三、被害耕地面積二十二萬頃（我國の約百三十八萬町歩）
四、救濟を要する貧困細民約一千萬人
五、損害見込額約二十億元
六、救濟に要する費用最低見積り三億六七千萬元

であるが今後の調査は更に增加するものと見られてゐる

輸入附加稅と減俸で救濟
國民政府要人ら提唱

【南京二十四日發】國民政府の水害救濟最低額二億七千六百萬元は國民政府國庫收入の約一年分に當り內外債共困難なので大正九年北支一帶に於ける饑饉の例に倣ひ輸出入稅に向ふ五年乃至七年間五分乃至七分の附加稅を課しまた地方政府の負擔としては附加稅の外官公吏の強制減俸により寄附させんとの案國民政府要人間に唱へられてゐる

初秋の行樂「金州の苹果デー」
來る卅日の日曜日に

本社主催の金州苹果デーは來る三十日に延期したが、金州側では特に民政署の好意で響水寺の林間を解放され、南山上には天幕を設け湯茶の接待あり、驛にも亦湯茶の饗應に休憩所が設けられるほか、各農園では新鮮な苹果を正味一貫目金四十錢にて特賣するさいふ勉強振りである、又當日は驛前から滿電バスと百二十餘臺の馬車、十數臺のタクシーが左の料金で一行のために交通の便を計ることになつてゐる、その他本社では團員のために福引を催し一等より十等までの十九名の幸運者にドルミー新型懷中時計、特製毛布、婦人洋傘、タオル寢卷、上製シャツ上下、卓子クロース、ハンカチーフ一打、浴衣一反、タオル半打、美術石鹸函入等を贈ることゝなり、愈々人氣を集めてゐるが、この機會を利用して未だ申込んでない方は至急申込まれたい

場所	自動車	馬車
金州城內（片道・往復）	四〇・七〇	一五
地獄極樂（同・同）	五〇・八〇	二〇・一〇
三崎山（同・同）	七〇・九〇	三〇・一〇
南山（同・同）	四〇・七〇	一〇・一〇
八里庄（同・同）	四〇・七〇	一一
三烈士遺蹟地（片道）	一	二〇
響水寺（片道・往復）	一一	一八〇・二〇〇
朝陽寺（同・同）	一一	六〇〇・九〇〇
乃木中尉の墓（同・同）	一一	三〇〇・二〇〇
金州城內より 南山（片道）	一	二〇
三崎山（同）	一	一五
地獄極樂（片道）	一	一〇
三烈士遺蹟地（同）	一	一〇

會券は「一般」はツーリストビウロウ、本社受附及び本社の各販賣店「パス所持者」は滿鐵營業課宣傳係さ本社受附で取扱つてゐる

興安嶺に初雪
北滿の冷氣

【ハルビン特電廿四日發】秋立つた北滿は最近さみに氣溫低下し廿二、廿三の兩日は攝氏十三度まで降下し、興安嶺には今年始めての降雪をみた、數日前まで日中三十度前後の暑さだつたので涼しさが急に身に染み、露人中には冬外套を着出したものもある

第三行程を飛ぶリ大佐機
ノースヘブンからオッタワへ向ふ

警官練習生來る

巡査の卵、四十名が上野警部補教官に引率されて廿五日入港うらる丸で來連したが、上野教官は語る

今度は九十二回目です何さ云つても長野、茨城、宮城、福島、栃木の五縣から千七百名のうち選りに選つたんです、仲々秀才が居りますよ、年長は三十歳が二人、大體は廿三歳から廿五六歳、大學出身二名、中等學校卒業生半數さ云ふ何れも生活戰線の勝利者のみです。

一同は上陸さ共に水上署に小憩直にバスで旅順に向つた【寫眞は一行】

金券制度愈よ廢止
勞農鐵道

從來歐亞連絡旅客に對しソウエートロシヤにては最低生活費一日七留五十哥を要求してゐたが、該問題は去る九月中旬の歐亞連絡旅客會議において果然問題さなり各國保團より猛烈な反對意見をソウエート側に表示したゝめ同國代表は歸國後關係者と種々協議の結果いよ〳〵最低生活費の要求はこれを廢止することゝなつた、從つて今後の歐亞連絡旅客は食堂車の食券買入はもさより車外にての買込も自由になつたわけで今後は從前の不愉快かつ不經濟な旅から救はれることゝなつた

藝妓と牒し合せ遺書して家出す
情死せぬかと搜査中

市內信濃町九四春日時之助(三)は廿四日午前十時ころ自殺する旨の遺書を殘して家出し行方不明となつたので市內露町三三春日圓助氏より搜査願ひがあつたが一方市內逢坂町一二〇藝妓業一力樓抱へ藝妓長助こと增田カツ子(二)も同日朝前記春日方に赴くと稱して外出したまゝ行方不明となり兩名情死の虞があるので樓主よりの屆出により目下市內各署では手配して搜査中

中央土地に報酬の請求訴訟

【東京特電廿四日發】大連中央土地株式會社取締役田村啓三氏は東京市麻布區我善坊町島崎一勝辯護士から報酬手當金三千六百圓不拂につき二十四日東京地方裁判所へ請求訴訟を提起された

強盜棍棒を振つて母娘に瀕死の重傷
今曉、長春の滿鐵敷島寮で 內情に明るい犯人

二十五日午前二時二十分ころ滿鐵獨身寄宿舍敷島寮々長岸定二郎より敷島寮炊事人室に「只今殺人事件が演ぜられた」との屆出でに接し長春警察署では時を移さず現場に急行檢視したるに被害者は炊事請負人の星野キク(□)同人長女キヨ子(□)の兩人で犯人は午前一時三十分ころ表口ドアの金網を刄物で切り破り內側の掛金を外して闖入し熟睡中の被害者キクを先づ二尺餘の棍棒で頭部に瀕死の重傷を負はせ、なほ右手その他を負傷せしめ更にキヨ子の頭頂部に打撲傷を負はせ兩名が昏倒するのを見すまし奧の間にある簞笥をあけ金品を強奪の上逃走したことが判つた、現場には遺留品は勿論指紋足跡も殘さざる用意周到の遣り口であるが警察では周圍の事情から內情を知れるものゝ如く觀測して極力犯人の搜索に努めてゐる尙犯人は二十四五歲位のもので一名と目されて居る

被害者二名は滿鐵醫院に入院手當中であるがキクは生命望みなくキヨ子は助かるだらうと因に被害者は東京市淺草區山ノ宿十二、當時長春西三條通り敷島寮炊事請負人でキクは一昨年七月夫と死別し娘二人で至極評判もよくキヨ子は長春女學校四年生として通學中のもので頗る美人である【長春電話】

昌圖襲擊の馬賊と對峙
開原から應援隊急行

廿三日夜十時ごろ昌圖附屬地を去る東北方約十町の部落楊家口に約六十名の馬賊が襲來し更に附屬地を襲ふべく計畫してゐるとの報があつたので開原警察署よりも八名の警官が輕機關銃を携へ急行し昌圖分遣守備兵と協力警戒中のところ賊は廿四日朝に至り行動を起し數名の斥候を附屬地內に潛入せしめたが我守備兵に發見されて逃走した、賊團は依然として楊家口を退却せず夜に入るを待つて大擧附屬地を襲擊する形勢が見えたので更に開原署より十三名、守備隊より下士以下十七名の應援を得て警戒嚴重にし賊團と對峙中である【昌圖電話】

苦力頭を人質に
大孤山から

然氏の人質事件の噂消えやらぬ時又もや三浦瀨七こと白川組大孤山東部砿利採取所苦力頭張某(□)は廿五日午前六時頃七名からなる匪賊のため人質として拉致され、折柄七時就務の採鑛所工作課員島田文七氏が目擊し直に會社電話でその旨を警察と守備隊に告げたるも到着したる時は既に立山へ逃走の後であつた、目下搜査追跡中【鞍山電話】

小鳥飛込み不時着
最初の椿事

【平壤特電廿四日發】二十四日午前七時平壤飛行第六聯隊第六中隊替地少尉が甲式戰鬪機に單獨搭乘して戰鬪演習のため離陸約百メートルの空中に上昇した際氣化器の中に小鳥が飛び込んだ爲めプロペラが停止狀態になつたので同少尉は直に飛行場附近の東大院里の畑の中に不時着陸し機體は大破したが搭乘者には幸ひなるを得たが小鳥が氣化器の中に入つて事故を起したことは日本航空界始まつての最初の出來事である

兒童水上記錄會の參加規定

關東廳體育研究所では來る三十一日午後一時から大連運動場プールに於て第三回小學兒童水上記錄會を開催することゝなつたが參加規定左の如し

◀申込期日 八月二十八日限り
◀申込場所 大連運動場事務所
◀競技種目 尋男三、四年自由型五十米、平泳五十米、尋男五六年自由型五十米、百米、平泳百米、二百米、尋女三、四年自由型五十米、平泳五十米、尋女五、六年自由型五十米、平泳五十米、高男自由型五十米、百米、平泳百米、二百米、背泳九十米、高女自由型五十米、百米、平泳五十米、尋五六年以上、跳込（一米、三米）各校對抗リレー二百米（尋男女、高男女）

潛航舵を失つて
北極に向ひノ號難航

【ノーチラス號にてウイルキンス大尉廿三日發】ノ號は暴風雪と闘ひ氷塊を避けつゝ二十日夜來約二百哩前進、今や北極より五百哩の地點にあり、天候その他の條件さへのび次第潛航探檢を行ふべく手配中本日更に一つの困難に遭遇した、それは潛航舵が紛失したことで、二十二日夜おそく潛水夫クリレイを降し數分間檢査せしめたがそれによると潛航舵は二つとも紛失してゐた、潛水夫クリレイは語る

北極の海に潛入することはそれ程恐ろしいことではない。たゞ氷塊にあたることが危險だ【本社版權所有】

天氣圖だけで一氣に飛ぶ
下志津大連間直航飛行演習 けふ陸上準備員來る

下志津大連間直航飛行演習は既報の如く廿六日決行されるが、これが陸上準備員として同飛行隊より由比直雄航空少佐外三名が廿五日入港うらる丸で來連した、由比少佐は語る

下志津さしては大連に來るのは初めてです、平壤までは來た事がありますが今度の飛行の特異性とも見るべきはいつもなら各地の天氣通報を得てそれに賴つて飛ぶのですが今度は單に天氣圖のみでよからうと思つたら一氣に飛んでしまふので極く平易な氣持で飛行しようさいふので極めて簡易にやらうと云ふのですそれに今一つは今日迄は少し遠いところへの飛行演習には老練な古い人が飛びましたが今度は新しい若手にやらそうと云ふので航空官も大尉一名他三名は皆中尉で新進揃ひです、豫定さしては廿六日來航してなか一日は機體の點檢を行ひ廿八日出發になつてます、何れにしても天氣圖で好いと判斷したら飛んで來るんです大體は一直線に來るのですが給油の關係で太刀洗、平壤に寄つてガソリンを積む事になつてます飛行時間は十四時間のあるうちに飛んでしまふさいふのですからどうしても午後八時迄には到着しなくてはなりますまい、使用機は陸軍の優秀機八八式、偵察機です、最近軍の飛機がしきりにこちらに飛んで來るのに奇異な感じを抱く人もあるでせうが大した意味はなく丁度好い着陸地があつて給油に便利だからです【寫眞は由比少佐】

福岡へ一日連絡
九月から航空時間改正

大連東京間の定期航空便發着時刻は從來の上り大連福岡間一日連絡を改正され六月一日以降二日連絡となつたが再び改正され來る九月一日より左記の如く從前に復舊し上り大連、福岡間は一日航程となつた

上り便
大連發 午前六時五十分
平壤着 午前十時十分
京城發 午前十一時廿分
蔚山發 午後一時五十分
福岡着 午後二時五十分
大阪發 正午
東京着 午後二時五十分

下り便
東京發 午前七時三十分
大阪發 午前十時二十分
福岡發 午後一時二十分
蔚山發 午後三時二十分
京城着 午後五時二十分發
平壤發 午前八時三十分
大連着 午前十一時三十分

この結果上り客は福岡、大阪間の夜行列車を利用する時二日目卽ち大連發の翌夕刻には東京へ到着するも郵便物は午前四時五十分まで航空郵便專用函へ投函されたものゝ外は翌日廻りとなる因に東京飛行場は所澤より羽田に移轉されたので東京市內は一層便利になつた

『水の夕』開催
二十[illegible]日午後六時より 大連運動場プール
滿鐵競泳部對大連OB ウオーター・ポロ
映畫
大河內傳次郎 伏見直江主演「謎の人形師」
濱口富士子 神田俊二主演「蒼白き薔薇」
（會場整理のため會費十錢）
主催 滿洲日報社

た譯である

神戸の英船虎疫續發
大連港の防疫

神戸における英國汽船カッセイ號乘組員の眞性虎疫患者發生と共に俄然仕出港上海は虎疫流行圈內に入り當地海務局でも愈々檢便を勵行する事となりこれが下準備のため二十五日木村檢疫課長旅順に關東廳を訪問した一方神戸よりの情報によるとその後カッセイ號乘組員中採便檢鏡の結果英人二名（二等運轉士、舵夫）印度人三名計五名の保菌者並に印度人ボーイ一名同水夫（便所掃除人）の二名の新患者を發見したさ

藝妓上りが置屋で盜む

去る十七日夜市內大山通七七番地藝妓置屋滿乃屋こと大野セイ方で翡翠帶留百五十圓、ダイヤ入指輪百三十圓の盜難事件あり大連署で犯人搜査中贓品の入質から足がつき市內聖德街三丁目二十二番地無職和田ツキ(□)を指名犯人として二十四日連鎖街街頭中を和田刑事が逮捕した、ツキは昨年春まで大連檢番濱速で藝妓稼業中、前借を踏み倒して情夫と內緣關係を結んだが、最近男の失業から生活に苦み惡事を働いた旨を自白した

エ嬢チタへ

【イルクック二十四日發】訪日飛行の途にあるドイツ女流飛行家エツドルフ嬢は二十四日午後四時三十二分（イルクック時間）當地を出發チタに向つた

娘を連れ家出

市內京町三三小賀友一方小川滿智妻ツキ子(三三)は廿四日午後五時ころ長女フキ子(九つ)を伴つて家出したまゝ行方不明となつたので夫滿智は二十五日朝沙河口署へ搜査願を出した

阿片を嚥下

市內北大山通四番地秋田商會雇人解雲貴(二四)は二十四日午後八時自宅で阿片を嚥下自殺を圖つたが家人に發見され當愛病院に收容重態である原因は最近友人から小洋百圓を借り返濟に窮してこの始末に及んだものである

天氣豫報 廿六日
南東の風（曇）驟雨模樣

各地溫度

	廿五日午前十一時	二十四日最高
大連	二三、八	二四、八
旅順	二三、〇	二六、一
營口	二三、三	二四、五
奉天	二三、三	二五、〇
長春	二一、〇	二三、三

滿潮 午前九時十五分 午後九時四十分
干潮 午前二時十分 午後四時五分

けふの小洋相場（正午） 今百圓は二五七圓六五錢

止誤 本紙昨夕刊朝鮮銀行決算公告中資產の部預ケ金四、〇七二、〇二〇・三三三三不鮮明に付追加す

暗流阿修羅館 (166)

生田蝶介

挿畫 藤井耕造

啞少年（十一）

遠山左衛門は何處をどうして手に入れたものか、將軍の一命を危ふく失はうとした奇怪な蚊遣香の一つを持つて來たのである。

そして、いま少年を呼んで、これに火を點けさせた。

少年は命ぜられるまゝに火を切つて、その香の一端に點けた。

煙はやがて、うすく／＼とのぼりはじめた。

それを机の脇において、一寸眼をやつたが、いままで見てゐた書類を押しやつて、あらためて少年の方へ向いた。

「まあ坐りなさい」

「はい」

少年は其處に坐つた。

「話せるやうになつてよかつた」

「殿樣のお優しいおもてなしで、このやうに聲をとりもどすことが出來ました」

「すつかり以前ごほりになつたのか」

「何でも話せるやうになりました」

「それはよかつた」

左衛門は滿足氣に、もう一度云つて、

「其方の名は何といふか」

と訊いたが、少年は左衛門の顏をまじ／＼と見ては目を膝の上に落して何か云ひかけては止した。

左衛門の口邊に笑がうかんだ。

「私が當てゝ見ようか」

少年は一寸目を丸くしたが

「殿樣は御奉行樣です」

「奉行だから、何らかも判るといふのか」

少年は頷いた。

「では當ててもつまらぬな」

「つまらなかありません」

「さうか、なら當てて見よう、六本木の立花の丁稚甚吉。どうだ、それに相違ないであらう。次手に年も當てゝ見よう。十七。な」

「はい」

甚吉は眉を顰らした。

「もう、かれこれ半月ほども前のことゝ思ひます、一と晩さつと降つてすぎた夕ぐれ時、不思議と人通りが止切れてしまひました。お內儀さんは澁谷の親類へお晝すぎから、今年三つの坊ちやんをつれて行つたまゝまだ戻つて來ない、多分さつきの雨に降りこめられたのだらうから、もうおつゝけ戻つて來るだらう。私はその間に一寸澁谷に行つてくる。店を頼んだぞと云つて親方は出て行つたのでございます。私は店の行燈に明りをいれて、そこいらをぼつぼつ片附けて居ると一人の女の人が……」

「何、女？」

「はい、女でございます。私女の年はわかりませんが　二十歳前後かと思はれます」

「ふうむ」

「あの、弓張が一つお願ひしたいのですが。はい、どのやうな弓張で。それでは鬮をひいて見ませうで。それでは硯と紙をもつて來て下さい。といふので、硯箱をもつて、その女の人の近くに來て、墨を磨つてゐたとまでは知つて居りますが……」

「あとは氣が遠くなつたといふのか」

「さうなりましたのか少しも辨へません。氣がついて見ると、それから三日目の朝、あの非人小屋の前に寢てゐたのでございました。

そして口がきけなくなつたのでございます。まだ薄暗いうちに小屋の人に見つけられて、いろいろと問はれたのですが、どうしても聲が出ず、自分で不思議でしかたがないのです。しばらく泣けて泣けてならなかつたのです。そのうちに小屋頭も出て來て、この小僧は口が利けねえ、何處から來たんだかもわかられえが、見りや素直さうないゝ子だ。可哀想だから當分小屋に置いてやれ。と云つてくれました。私とても事情がわかりません。事情のわからない者同志、わけもわからず小屋において貰つたのでございます」

右太衛門來滿説　準備交渉中

市川右太衛門プロダクシヨンにては既報の如く同プロ創立以來の大作品として志波西果監督、市川右太衛門主演にて滿洲を背景とせる大馬賊劇を撮影すべく數ケ月前より準備を進めつゝあるが、更に沖縄川脚色士の事蹟を「恩讐三ツ巴」として映畫化することゝなり山口同プロ所長は九月初旬出發、來滿の豫定で目下關係各方面と種々交渉を進めつゝあり、その結果或は市川右太衛門一行の來滿は實現するやも知れず、志波西果監督は「淺香くづれ」を完成し休養中で松竹キネマ大阪支店にては右太衛門一行の渡滿計畫あるも未だ確定せずと發表してゐる

日活も今秋發聲映畫製作か

松竹蒲田のトーキー「マダムと女房」の成績は邦畫トーキー界に非常なセンセーションを捲き起したが、今秋を期してトーキー製作に乘り出すべく聲明した日活では既に某々會社と交渉進行し、或程度まで成立を見た模樣であるが、一方太秦撮影所にトーキー研究室を建設し、昨年來鋭意國産トーキー研究に當つてゐる溝口健二監督の助監督安積幸二氏が主任となり、折柄の暑休にも拘らず努力を續けてゐるが、同氏のトーキーは既にパテントも獲得し、今秋には撮影開始し得る筈で土橋式トーキーと同等以上のものと稱してゐる、なほ溝口監督も渡歐前にトーキーを一本製作すると傳へられてゐるから、かくて日活のトーキー製作も本腰になつて來たやうだ

噂話

秋風と共に映畫界もまたぞろ／＼シーズンに入り大日活が明日から「煙れる太陽」を上映▲宣傳に館の前に大煙突をたてゝ人間じややりきれないとロボットをぶらさげるとか▲但し入用の向きには煙突の裏に梯子がついてゐて登れるから何時でも借すさうだ▲常盤座は實演隊引揚げ後は好評の「元祿十三年」で大衆興行に出て當てゝゐるが、卷數不足で久し振りにマキノ映畫を一本上映してゐる▲來週は「この太陽」大會で一服して捲土重來、洋畫に力瘤を入れ「最後の中隊」を無聲版で上映▲南座では今週「馬頭の錢」と「この母に罪ありや」を組んだが來週は引續き巨彈「暴風雨の籬」を上映

ベルトラメリ能子夫人

本社主催で來る九月五日夜協和會館にて獨唱會を催し、その純益金全部を漢口罹災民救濟資金に義捐することゝなつたソプラノ歌手ベルトラメリ能子夫人は上野音樂學校出身で十年前伊太利に渡つた鐵能子孃で十年間の眞摯な研鑽はその天分と相俟つて、素晴らしい進境をとげ、その間血に彩られたローマンスを生み伊太利文壇の權威者ベルトラメリ氏と結婚したが、間もなく若き未亡人として歸朝し我樂壇に活躍しつゝあるが、亡夫ベルトラメリ氏の遺稿を纏めて今秋再び伊太利へ旅立つのである（寫眞は能子夫人）

夜目遠目

◇逢際のエロサービス應接間は逢菜無盡の顧實でどうやら資金難から救はれそうであるが、應接間から拾ひ上げるやうなお客を相手にしてゐたのでは繳實にならぬと許り應接間を斷然つくらぬ大店もあるやうだ、但しモダン化は大いにやるべしとあつて快樂の如きはダンスホールに次で今度は理想的な睡室のベツトルームをつくつてジヤズで踊つてリキユールで更けた夜のサービス改善を計畫してゐる

ペーブメント

涼風が立つて冷たい飲みものよりは暖い香りの高い飲みものが欲しい時が近づいたが、これまたアイスクリーム同樣カフエーの紅茶珈琲の不味さ加減はお話にならない、更らに洋菓子に及んでは大連は三流都市である、ヤマトホテルだつて、大食堂とグリルとで珈琲の味を區別してゐるのだから、大連人の好みは押して知るべしかも知れぬ、紅茶はこの間リプトンの青罐の廣告が出てゐたが、實行はどうなのか、それから遼東百貨店の珈琲賣店はも少しサービスを良くしたよからう、

本社特選 新棋戰（其十）

香落 四段 △建部和歌夫

二段 ▲梶一郎

【圖は前號指了迄の局面】

△建部氏 持駒 飛角歩五ツ

▲梶氏 持駒 角金歩歩歩

△四九飛　▲四八桂成
△五九飛　▲四七成桂
△二五銀　▲三六歩
△三五飛　▲二一玉
△三二歩　▲二八金
△同銀　▲三八金
△一八玉　▲二八金
△同玉　▲三七成桂

迄梶氏の勝

【土居八段總評】建部君は序に於て當時流行の七六銀の戰法を用ひ對抗した。その時梶君は戰機熟したとみて六九雨筋より聯絡を保ち開戰し、以下七五歩の新手を用ひて敵銀の形を惡しくし、飽迄攻勢を繼續して非常に面白い局面を現出した▲其時建部君は活氣ある手段を以て大駒の捌きに努めたが餘りに策を弄し五九角引の手損を生じたのは拙策で、其爲駒損を生じ、決戰の目的を以て敵の本營に肉迫した▲此の時梶君は攻守共に困難の際よく大局を看破り、三二馬と引き防戰に努め、敵の攻撃力を弱めたのは頗る好い方針で見事に功を奏した。

【萩原六段解説】建部氏四九飛と寢ぎしも苦戰である。梶氏四八桂成以下四七成桂と駒得を圖り、次に三六歩と逼つては下手益々有利である。以下二八金打となつては持駒多くして詰である。

大連における支那側の經濟的勢力を觀る（J）

將來の發展期待

中國銀行を政黨的に對立する

交通銀行大連支店

交通銀行は光緒三十四年交通系の要人に依つて中國銀行と政黨的對立をなすため鐵道、郵便、電信、航路の振興を名とし資本金五百萬兩で北平に創立されたのを以てそもくの嚆矢とする、而して革命後は一時天津に移轉し、當時の繼起する亂と兌換券の濫發により基幹に動搖を來し上海移轉後の民國五年にはモラトリアム令の救濟を受けて漸く難關を切り拔け資本金二千萬兩二分の一拂込みとしたが民國十七年（昭和三年）資本金一千萬元金額拂込みとして爾來商業銀行としてその機能を果すべく汲々として挽回策を講じ來つたので最近に於ては業績頓に改まり漸く進運に向はんとしてゐるのである

昭和四年度の決算報告書を見るに負債勘定にては積立金二、一〇二、七二三元、定期預金三五、九三八、五〇三元、當座預金一〇二、八五四、二〇二元、借入金二〇、一〇〇、〇〇〇元、發行紙幣一〇二、八五四、二〇二元にして特に借入金の巨額は當行の整理收縮の必要を物語るものである、而して資產勘定に於ては定期貸付四四、一〇〇、四九二元、當座貸越七四、七四三、四五〇元にして中國銀行に比すれば未だ大きな懸隔がある

◇

滿洲に於ける同行分行は大連、ハルピン、瀋陽、營口の各地に設置されてゐるが、同行の分行制度なるものは極めて複雜なるものがあり分行の相互關係も幾分流通を缺く點ありとさへ言はれてゐる、大連支店は大正七年六月ハルピン支店管轄下に設置され爲替業務を主とし傍ら一般銀行業務を目的としたものであつたが本店の信用低下とゝもに成績上らず缺損を續け大正十二年遂に閉鎖引揚げを餘儀なくされた、然しながら本店の整理着々と進むや昭和二年捲土重來的に再び設立され爾來健實な經營を續けた結果最近では特に目立つて進展して來たやうである

◇

すなはちその業態を見るに中國銀行とは未だ相當の懸隔あり、金城に比しても實績に於ては幾分遜色あるやうであるが、兎も角大連に於ける中國の三大銀行の一として更に將來の發展に於て尤も期待されてゐるものである、今その業務發展振りを預金貸出に就いて見るに、金勘定に於ては昭和四年七月末現在預金は三七、〇〇〇圓だつたものが六年七月現在は四八、〇〇〇圓となり大差ないけれども貸付は四三、〇〇〇圓より二四七、〇〇〇圓と五倍强に增加し、また銀勘定に於ては四年七月の預金總額七八、一〇〇元より本年は二三七五、〇〇〇元約三倍强となり以前は金城に比し格違ひであつたものが今や伯仲せんとし、また貸付總額も一六二、〇〇〇元より一躍一、三六五、〇〇〇元の八倍强に激增してゐる、而してこの貸付は金銀兩勘定とも當座貸付が全部であつて、これが激增は最近當行が如何に商業方面に活躍し出したかを物語るものだ

◇

なほ現在の手形交換狀態を一瞥するに仕拂超過となつてゐるが這は貸付方面の發展の結果と見るべきであつて大した數字に上つてゐないから問題とする程のことはない以上述べた如き狀勢にあるので最近營業收支方面に於ても好轉したことは事實らしく、現に支店行員十五人、經常費年約五六萬圓程度と見られるがこれを補ひ幾分の利益を上げてゐるらしい、兎も角も本行は數年前迄は業勢不振の狀態にあつたものが最近非常な勢ひで頭を持ち上げて來たことは事實でその活動は寧ろ今後にあることを銘記せねばならない、支店長錢家駒氏は浙江省嘉善縣の人、わが明大商科出身でまだ四十一歲の働き盛りだ、彼は生え拔きの交通育ちで卒業と同時に東京交通銀行支店（これは震災後閉鎖され、現在日本には代理店を持つに過ぎない）に入社し、後本店詰となり更に青島支店副支配人に榮轉、當地にも副支配人として來任したもので當時の支店長姚仲拔氏の女房役として活躍、昭和三年五月支店長に榮進した、高身肥胖の堂々たる風采の持主だが、口數は寧ろ少い方で質實な感じを與へる男だ、支那人間の評判も惡くはないらしい、今や捲土重來的積極進展を爲さんとする當行がこんな人に統率されるのは尤も危ッ氣がないと言ふべきである【寫眞は大山通の交通銀行】

營口陸揚の外國貨物

凍結の曉は如何、

大連に廻せば二重課税の惱み

結局、見越し輸入か

本年一月支那新輸入税實施後大連港における二重課税問題が起つて以來、從來上海經由大連に向けられた外國貨物については甚大な影響を受けるに至つたがこの結果、これ等外國貨物は悉く營口或は河北港を經由するに至つたことは既報の通りで、去る五月十二日より六月二十九日に至るまで上海より

大連連絡 の外國貨物の大連港に揚げられ二重課税の適用を受けた件數卅五、貨物個數八十六あつたが二重課税の不利に驚いて折角大連まで來ながら再び元地上海へ返送された件數十件、この貨物個數卅六個にも上つてゐるその後は外國貨物の大連港に揚げられるものは皆無といつてよくすべて營口、河北に廻つてゐるが茲に問題となるは本年冬期に至つて營口が凍結して汽船入港

不可能と なつた場合果してこれ等貨物は如何なる徑路をとるかゞ關係方面より注目されてゐる、即ち毎年冬期十二月より四月上旬に至るまで營口は凍結し汽船航行不能のため營口廻りの貨物は全部大連港を經由することゝ例となつてゐるが、今冬期に至ればこれ等外國貨物は再び二重課税の不利に直面せねばならず二重課税問題惹起以來の始めての冬期だけにこれが成りゆきは興味をもつて見られ、その時期に至つて再び二重課税問題の不當に就いて關係方面より論議されるに至るであらう、或は冬期の營口

凍結期を 見越してこれ等外國貨物の見越輸入が行はれるに至るかとも關係筋より觀測されてゐる

滿鐵鐵道收入

依然振はず

七月中旬以後急激に減收の一途を辿る

本年度滿鐵々道部の鐵道收入は撫順炭の輸送激增、北滿貨物の出廻り增加等に惠まれて七月中旬までは激增し七月十八日までの收入は前年同日までの收入に比し二百十四萬四千二百八圓の減收で喰止めてゐたが、開灤炭南支出廻り、一般旅客收入の

依然 たる不振等に災ひされ七月中旬以後は急激に減收の一途を辿り、前年に比し八月廿一日までの總收入二千八百八十三萬四千三百九十九圓にて前年に比し三百二萬六千五十七圓の減收となつてゐる、而してこの狀態は現在に於ても依然變りなく廿四日の減收三七萬一千二百八十六圓であるが、これ等減收の最大の原因は旅客の激減でこれについては石炭輸送の減少にあり、一般特產物の輸送量は前年に比しむしろ

增加 を示してゐる、即ち旅客收入について見るに前年に比し七月十八日は百六十萬二千二百九十圓の減收を示し、八月廿四日には更に三十萬圓餘を增し百九十五萬四千八百五十八圓の減收となつてをり、石炭收入は六月十八日には實に前年同期に比し九十八萬二千五百八十一圓の增收を示したが、八月廿四日には遂に四十餘萬圓を減じ五十萬七千一圓の增收となつてゐる、なほまた一般特產物雜穀の輸送收入も

金額 のうへでは最近とも多少の減收はつゞけてゐるが、これは本年鐵道部にて特產物運賃の値下を斷行したことに起因するもので前記の如く數量的に見ればむしろ增加の傾向にある、即ち前年度八月上旬の輸送一日平均噸數は九千百七十八噸、中旬は九千五百四十四噸、下旬は九千三百卅三噸であるが本年八月上旬の一日平均は一萬一千四十六噸、中旬一萬二千五百卅三噸、下旬（但し廿四日まで）一萬一千五百六十七噸で大體一日二千噸見當の增加を示してゐる

英蘭銀行更にクレヂット設定

米佛兩銀行と交渉

【メロン二十四日發】當地財界の傳へるところによると嚢にフランス國立銀行及びニューヨーク準備銀行より五千萬ポンドの對英クレヂットを得て過去十日間ポンドの下落防止に努力した英蘭銀行は、このクレヂットを殆ど消費し盡したので更に右二行に對しクレヂット設定に關し交渉を開始した模樣であると

タクシーの料金が高いと値下げ慫慂

營業者は現在の料金を固執

最後は當局干渉か

大連市内に於けるタクシー料金がガソリンの値下、車體原價の低落その他四圍の情況を無視し依然市内五十錢均一を

維持 してゐるため漸くタクシー料金値下の聲が起りつゝあるに鑑み關東廳保安課ではさきにメーター制によつて合理的料金の値下げを行はんとしたが、組合側の歎願で延期し、今回再び値下政策の前提として割引及び謝恩券制度の禁止命令を撤回せんとしたのに對し自動車組合は依然五十錢

協定 料金の破れるを懼れてこれに反對、現在料金を維持せんとする意見が當業者間に大多數を占めてゐることは時代に目醒めざるものであると非難の聲が擡頭してゐる、即ち官廳側の意見としてはタクシー料金は大衆的交通機關たるタクシー料金を强制組合によつて協定し大衆の利益を壓迫するが如きことは非社會的であり殊に最近

内地 都市に於けるタクシーは自由競爭によつて二、三十錢の廉價で交通機關としての使命を果しつゝあるに反し獵額大の大連市内を五十錢、星ヶ浦、老虎灘ともに一圓五十錢といふ料金は餘りに高價に失すると云はれてゐる、加ふるに現在ガソリン相場は高値より一ガロンに付き四十七、八錢の低落を來し

車體 單價の如きも三割乃至四割の値下げともなつてゐるに獨りタクシーのみ舊料金を維持してゐることは不合理であるといふのが値下慫慂の主なる理由で當業者が出やうによつては監督官廳として相當干渉的態度に出づるものと見られてゐる

米國の對支小麥貸與に支那側遂に應ずる

首腦部も背に腹はかへられず

【南京特電廿四日發】今回の大水害による罹災民は約三億、その中饑餓に瀕せるもの五千萬乃至七千萬を數へ、この間好機逸すべからずとなす共產軍の活躍もあり水害以上の恐るべき現象を呈せんとしつゝあるので國民政府首腦部は背に腹はかへられず條件の如何に拘らずアメリカの對支小麥貸與の提議に應ずべしといふに意見一致し宋子文氏も從來の方針を捨ていよく貸意を表するに至り米國側と具體的交渉を開始する事となつた國民政府は或程度までの損失はやむを得ずとしてゐるから小麥借款は案外容易に成立すべく、更に第二段として水害復興のためヒットマン氏提議の鐵借款に對しても充分に色氣を見せてゐる

米專賣制度期成同盟會

貴院研究會で組織し猛烈なる運動開始

【東京特電二十五日發】政友所屬議員八十名より成る貴院研究會では米專賣制度を實施さし府縣會選舉戰に臨むため期成同盟會を組織し二十五日午後一時より本部に發會式を擧げ山本悌次郎氏を會長に推し猛烈な運動を開始する事となつた

物價調べ

野菜 氣配は依然保合であるがトマト、いんげん豆等その他一二種は出盛りを過ぎて幾分强含みである、本日の卸値は（單位百匁當錢）胡瓜（一本）上一下〇、五。茄子（一個）上〇、三下〇、二。かぼちや上一下〇、五。西瓜上一五下七。蓮根上六下四。里芋上三下二、五。トマト上一下〇、五。きやべつ上一下〇、五。玉葱上一下〇、八。いんげん豆上一下〇、八

果實 林檎は品質向上で幾分値上りしたが大勢は保合商狀、廿五日の卸値は左の通り（單位百匁當錢）林檎上四下一。水蜜一―〇、六。梨上一―〇、五。甜瓜上一、五下〇、三

手形交換高（廿五日）

	枚數	金額
金	七一枚	[illegible]
銀	三六枚	[illegible]

黄塵

◇…内地事業家の滿洲進出はこれまで掛聲ばかりで餘り目ぼしいものがなかつたが最近では、奉天方面に内地實業家が各種工場の建設を計畫中だそうだ。

◇…運賃諸掛や關税關係等からみて對滿貿易は製品輸出より資本輸出に變るべき時が來たのだ。

◇…銀安で勞銀は安く滿洲土產の原料を使へば低廉な製品が出來る譯で今次の内地工場進出計畫も斯うした有利な點があるためである。

◇…遲蒔ながら内地資本の進出が企てられるに至つたことは喜ぶべき現象である。

◇…滿鐵や關係官廳でも之に對し出來るだけ障害を除き極力内地事業家の進出に便益を與ふべきであらう。

市場電報

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	十二片十六分十五
同 先物	十三片〇分〇
紐育銀塊	二七仙八分七
孟買銀塊	四三留比十六分十五
スチール	八七弗八分一
アナコンダ	二三弗四分一
英米爲替	四弗八六仙八分七
米日爲替	四九弗三八仙
米支爲替	三〇弗四分一

棉花

●米棉

限月	相場
現物	七仙五〇
十月	七仙〇七
十二月	七仙三九
一月	七仙三八
三月	七仙四九
五月	七仙五四
七月	七仙六三

●印棉　ベンゴール 三〇留比　ブローチ 一五〇留比　オムラ 二一四留比

大阪期米・東京期米・神戸期米・大阪株式・東京株式・大阪綿糸・大阪棉花・横濱生糸・印度麻袋

[illegible]

特產

市況（廿五日）

買氣引立ず 一齊軟調

今朝の定期は差したる材料もなく一般に買氣薄の折柄各品共一齊軟調を入れ閑散であつた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	六〇三〇	六〇三〇	六〇一〇	六〇一〇
九月末	六一三〇	六一四〇	六一〇〇	六一〇〇
十月末	六一三〇	六一四〇	六一一〇	六一三〇
十一月末	六一一〇	六一三〇	六一一〇	六一三〇
十二月末	六一一〇	六一三〇	六一一〇	六一三〇
出來高	二百三十七車			

▲普通大豆出來不申

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一九五五	一九五五	一九五五	一九五〇
一月限	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
九月限	一六六〇	一六六〇	一六六〇	一六六〇
十一月限	一七一五	一七一五	一七一〇	一七一〇
十二月限	一七二〇	一七二〇	一七一〇	一七一五
出來高	七千箱			

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	三八〇〇	三八六〇	三八〇〇	三八〇〇
九月末	三八〇〇	三八四〇	三七八〇	三八〇〇
十月末	三九〇〇	三九一〇	三八六〇	三九〇〇
十一月末	三八四〇	三九一〇	三八四〇	三八四〇
十二月末	三八六〇	三八六〇	三八六〇	三八四〇
出來高	百六車			

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六一二〇	六一一〇
出來高	十車	
普通大豆（袋物）（裸物）	五九八〇	五九七〇
出來高	十車	
豆粕	一八八五	一八八五
出來高	一萬枚	
豆油	一六二〇	一六二五
出來高	一千五百箱	
高粱	出來不申	
包米	四五五〇	四五五〇
出來高	二車	

◇定期喰合高（二十四日帳入）

品目	喰合高	前日對比較（增減△印）
大豆	三三〇六車	一九車
高粱	八七一車	二五車
豆粕	一五一八千枚	六千枚
豆油	四五〇五百箱	一五百箱

豆 出廻り薄ながら買氣全く引立ぬため大豆は依然續落の一途を辿つてゐる▲他の各品も人氣なく一齊に氣配軟弱で取引も閑散▲殊に現物市場の閑散が特に目立つ、大豆は油房が十車買つただけで一般物なく、普通大豆が十車、成發東の賣りに萬義長の買物、豆粕は瓜谷、松本で一萬枚、豆油が一千五百箱高粱不申といつた有樣▲關税委員會で審議中の大豆關税引上げは拓務省の反對で今月中に否決されるらしい

錢鈔

標金引尻高 鈔票弱含

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十二片十六分の十五と（八分の一高）米物十三片丁度と（十六分の三高）紐育は二十七仙八分の七と（二分の一高）孟買銀塊は四十三留比十六分の十五と（八分の三高）匯申は七十一兩七五、匯洋は六十九兩三〇、大洋は百圓八十錢、日米は四十九弗八分の三と（同事）米日は四十五仙十六分の十三と（一仙高）英米は[illegible]分の一安）米支は三十弗四分の一と（十六分の七高）上海標金は七百六十七兩五と寄り七十三兩丁度と止め當市の銀價は綿合を呈した

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	四三八〇	四四一〇	四三五五	四三五五
遠期	四三八五	四四一〇	四三六〇	四三六〇
出來高	（近期）二百五十九萬圓（遠期）三百四十九萬圓			

◇現物取引（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	四三八〇	一二三三五	[illegible]
十時	四三九〇	一二三三〇	一二五六〇
十一時	四三七五	一二三三〇	一二五六五
十二時	四三五五	一二三一〇	一二五七五
出來高	銀對金 一萬三千圓	銀對洋 三萬一千圓	

銀 倫敦八分の一高、紐育二分の一高、孟買八分の三高と一齊强調で銀高材料を示し▲一方上海標金も六安寄りのあと更に投げ〱で六十二兩迄崩れた▲これがため鈔票は十錢高の三圓八十錢と寄り標金の急落で四圓臺に乘せ高値四圓十錢迄奔騰したが▲引際標金買物の續出で一氣に上伸七十七兩の高値のアト七十三兩に止めた▲かくて漸次反落四十三圓五十五錢と十五錢安の軟調を辿つた▲英國政界の動きと共に多少の波瀾はあらうが目下の所では安定模樣だ

株式

北濱市況崩り 當市保合

北濱定期の前場寄は大株一圓十錢高、大新一圓高、鐘紡一圓五十錢高、鐘新一圓四十錢高と昂騰を示したが東京短期の東新は同事に寄り當市も氣配變らず五品、新豆同事、東新は同事に寄り十錢高に引けた

◇定期 前場

銘柄	當限	先限
新豆（寄/引）	―	―
錢鈔（寄/引）	―	―
五品（寄/引）	―	一〇九

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
新豆	一三五	一三五	一三五	一三五
錢鈔	―	―	―	―
大新	―	―	―	―
東新	八二五	八二五	八二五	八二五
鐘新	一三三	一三三	一三三	一三三

○爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引代渡	日步
五品	一〇五	六〇	四〇	無
新豆	一三五	三〇	―	三
錢鈔	一六五	―	二〇	三
永新	二〇〇	二〇	二〇	三
東新	一三一〇	一四〇	一〇	三
鐘新	八二五	一〇	一	無

株 けさ北濱定期の前場寄は鐘紡鐘新の一圓五十錢高を首め大株大新も一圓撥みの昂騰乍ら東新は寄鼻變らず▲當市は氣配變らず五品新豆共同事で無味閑散の場面を呈した▲けさの大阪高は綿糸の反撥に好感したものとみられるが東新が之に添はないのは物足らない憾みがある▲結局八月相場もこの調子の保合に終り秋相場に入る譯けであるが秋高を望むなら此邊で今一押欲しいところである

糸 米棉情報は反動狙ひの買ひとりヴァプールよりの情報良好で空賣り橫が買埋めたので市況活潑且つ强硬さあり▲現物二十ポイント高先十八高を示し大阪三品は前日既に玉理現完了とみて氣配硬化の折柄とて各限二三圓撥み高と續騰した▲三品は投物一巡と米棉の反撥で俄然氣配硬化したが果して本直りとなるかどうか▲米棉には尚容易ならぬ不安ありそこへ需要關係まで逆轉の傾向を帶びつゝあれば無條件に樂觀も出來まい

後場（閑散）

◇定期

銘柄	當限	先限
新豆（寄/引）	―	―
錢鈔（寄/引）	―	―
五品（寄/引）	―	―

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	―	―	―	―
新豆	―	―	―	―
錢鈔	―	―	―	―
大新	―	―	―	―
東新	一三三五	一三三五	一三三五	一三三五
鐘新	―	―	―	―

滿鐵株（弱保合）

東短前場 滿鐵新株 出來不申

大阪現物 滿鐵舊株 四十六圓九十錢

株式出來高（廿四日）

種別	數量
定期	四〇枚
延取引	四六〇枚
合計	五〇〇枚
早受渡手形	四、九七〇枚
金額	六一、五〇五圓
早受	一八〇枚
金額	二、五九〇圓

商品

麻袋變らず 綿糸續騰

麻袋 產地情報は未着銀票昂騰なるも華商筋に買氣添はず閑散裡に散會した引際氣配は現物二十二錢七厘八月二十二錢五厘九月二十二錢二厘十月二十一錢七厘十一月二十一錢六厘十二月二十一錢一月二十一錢賣唱へであつた

綿糸 米棉現物二十ポイント高先限十八高印棉二三十錢高大阪三品は當限三圓十錢高中限二圓五十錢高先二圓高と續騰し引は當限二十錢高先五十錢安中先五十錢高に二十錢安中先五十錢高に出は吹値には輸入屋の新規買とマバラの手仕舞ひに小商内みた

銘柄	約定期	値段
福助	八月限	一〇八、[illegible]
同	十月限	一〇九、四
同	十二月限	一〇九、一
同	一月限	一〇九、四
出來高	百梱	

上海爲替情報

【上海二十五日發】銀塊高に寄前物品にて六十五兩の商内出來たが志豐永、大連筋の買ひに寄り高處信孚、吳倍初各二千本投げあり標金急落十二月三片十六分の一迄、成豐永、福昌賣つた入ボツ〱あり英國政局安定模樣銀塊の戻りは印度政廳の賣氣を傳へて安値買人氣となり大德成、日商筋及び引前吳倍初約二千本買つた

上海標金

	相場
寄付	七六七兩五
高値	七七九兩二
安値	七六二兩一
大引	七七三兩九

爲替相場

正金（銀勘定）日本向參着賣（銀百圓）、同十五日買（同）、上海向參着買（銀百圓）

正金（金勘定）倫敦向電信賣（円）、信用付三月買（同）、米國向電信賣（百圓）、同六十日拂買（同）

鮮銀（金勘定）倫敦向電信買（円）、同二ヶ月買（同）、紐育向電信買（金百圓）、上海向電信買（同）、同 賣（銀百圓）、日本向電信賣（同）、同十五日拂買（同）

[illegible]

奥地市況

錢鈔　奉天（現物）（先物）、奉天大洋票（定期）、開原（現物）（當限）（先限）、安東鎮平銀（當限）（先限）、哈爾濱（大洋）（現物）

[illegible]

特產　▲大豆　哈爾濱（九月限）（十月限）（十一月限）、▲小麥　哈爾濱（九月限）（十月限）（十一月限）

[illegible]

各地特產發送高

▲開原　大豆 二五車　高粱 九車　豆粕 ―　雜穀 一車

▲公主嶺　大豆 二車　高粱 ―　豆粕 ―　雜穀 九車

▲四平街　大豆 一一車　高粱 ―　豆粕 ―　雜穀 九車

▲長春　大豆 一九七車　高粱 二車　豆粕 ―　雜穀 一九車

大連埠頭到着特產數量

大豆 七五車　高粱 ―　豆粕 ―　雜穀 六車

二 埠頭在庫貨物

8月17日（單位噸）

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	169,426.7	55,794.0
大豆 非混保		
大豆 白眉豆	1,702.8	824.7
大豆 青豆	453.9	203.7
大豆 合計	171,583.4	56,822.4
小豆	4,688.9	1,018.5
吉豆	919.2	1,084.9
高粱	15,797.9	3,576.6
包米	1,208.1	515.7
大米	374.7	13.2
小米	103.3	231.1
麥子		43.3
蕎麥	120.1	636.3
芝麻子	42.6	80.1
大麻子		155.7
小麻子	37.0	551.3
蘇子	517.6	34.4
落花生	815.7	2,482.6
雜穀	566.5	214.8
豆粕	17,431.1	3,598.6
雜粕	218.9	541.4
獸骨	121.5	99.9
豆油	2,424.8	1,001.2
其他ノ油類		
麥粉	2,141.5	5,620.5
[illegible]酎	27.9	77.9
セメント	510.7	1,868.6
麩子	412.9	295.6

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)
滿洲日報
發行人 鈴木昇 編輯人 橋本喜代治 印刷人 山下庄太郎 發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部 金五錢

省廢合一時見合せか
けふ箱根の三相會議で 最後の運命決定せん

【東京二十五日發】省廢合問題に就いては閣内及び與黨内に賛否兩論對立し原拓相等反對閣僚、與黨中堅派等は機會ある毎に若槻首相に反對を進言し一方鐵相、母木總務等黨幹部は之に對抗して斷行論を進言してゐるが若槻首相は此の間に在つて明確な意見を述べるを避け大勢順應の態度を採つてゐる、一方問題は江木、井上、安達三相の意見が完全に一致せぬ限り廢合斷行は至難であり明二十六日箱根に開かれる安達、江木、井上三相會議は此の意味で最も注目される處であるが若し意見の一致を見ぬ場合は若槻首相は直に左右何れとも決するを避け廢合問題は一般行政整理と切離して研究する形式をとつて一時中止する外あるまいと見られてゐる、即ち農村方面が農林、商工兩省合併に反對氣勢を擧げてゐる爲め地方選擧に先だち斷行若しくば打切りの決定をなすは與黨の不利なりとする主張に基くものである、なほ明二十六日は樞府本會議がヘーグ協定御批准の件を附議する爲め井上藏相は箱根行が困難ならば安達内相のみ江木鐵相を訪ひ江木鐵相より廢合斷行の必要を力說意見の一致を來すべく努力する筈である

與黨幹部は自重
政府を信頼して待つ

【東京二十五日發】民政黨は二十五日午後二時半本部に幹部會を開き山道幹事長より省廢合につき省の廢合は未だ黨議で決定してゐないがそれ〴〵の機關を經て政府の準備委員會に進言してある、併し政府で成案を得て居ないから黨に於て賛否の議論をなすことはその時期でない、適當な時期まで政府を信頼して待つては如何と提議せるに加藤(政)氏は右提議には賛成なるが同時に閣僚、政務官にも同樣慎重の態度を取るやう申出られ度いと希望せるため山道幹事長よりこの旨傳へることゝし次で堤康次郎氏より公債發行に依る政策轉換論を力說して午後四時散會した

【東京二十五日發】民政黨内は鐵相、母木總務と富田顧問等の三省廢合の反對論が對立して居り二十五日の幹部會は當然議論沸騰を見るべしと豫想されたが同黨首腦間に「時局重大なる今日與黨が賛否兩論を戰はすは却て問題を紛糾せしむる虞あり」として幹部會に先立ち午前十一時鐵相、母木、中野兩總務、山道幹事長は本部に會見意見交換の結果賛否の意見は暫く保留し幹部會にては同問題に觸れぬことを申し合せた

兩相意見交換

【東京二十五日發】原拓相は二十五日午後四時十分櫻内商相を訪問し今朝若槻首相を訪問三省廢合絶對反對の意向を傳へ會談したる顛末を報告し井上、安達兩相に對する會見申し込その他五相會議に對する態度につき意見を交換し五時辭去した

拓相、首相に 省廢合反對表明

【東京廿五日發】三省廢合殊に拓務省廢止に反對してゐる原拓相は廿五日午前九時十分若槻首相を訪ひ強硬な反對論を述べた、これに對し若槻首相は急に反對を押し切つて斷行しやうとは思はぬが國歩艱難の際充分意見を交換し落つくところに落つけたいと答へ拓相は更に拓務省廢止反對の駄目を押し同五十分辭去した

廢合のための 廢合は駄目 原拓相語る

【東京二十五日發】省廢合問題につき若槻首相と會見後原拓相は語る
本日首相に面會したのは無論省廢合問題に就てである、二十日の會見では町田、櫻内兩相等が居たから眞意を傳へる事が出來なかつたが今日は自分一人だつたから拓務省の廢止、商工、農林兩省の合併には反對意見を充分述べる事が出來た、行政整理の結果省を廢合する結果となるだらうが廢合の爲めの廢合では駄目だ、局課の廢合其の他で行政整理の實は擧げられる、殊に不景氣の際國民の海外發展氣運が濃厚になつた際其の指導奬勵に當つてゐる拓務省を廢止する事は以ての外だ、此の點首相に話し行政整理準備會でも良く世論の趨向を見て虚心坦懷研究するやう希望して置いた

山道幹事長 若槻首相訪問

【東京二十五日發】民政黨山道幹事長は二十五日午前九時半若槻首相を訪問し省廢合問題に關する與黨の情勢を報告し省廢合問題を未決の儘地方議會選擧に臨む事は不利であるから左右何れとも速かに決定されたいと進言した

陸相首相會見

【東京廿五日發】南陸相は廿五日午後一時若槻首相を訪ひ陸軍豫算節約、軍制改革、軍縮全權等につき協議し二時十分辭去したが、陸相はこの會見で陸軍實節約總計八百卅五萬圓計上を報告した

英勞働黨遂に分裂
前閣僚の九氏脫退し 勞働運動にも暗い影

【ロンドン廿五日發】勞働黨は今やマクドナルド氏とスノーデン氏の執つた態度を否認したので兩氏と黨との關係は絶縁したものと觀られてゐる、然しマクドナルド氏は個人の內閣だと言明してゐる、保守黨は全員擧つて新內閣を支持しつゝある

【ロンドン二十五日發】前外相ヘンダーソン氏は勞働黨議員二百八十六名中二百名を率ゐいよ〳〵新擧國一致內閣反對の猛運動を開始した此の分離派中にはヘンダーソン氏始め左の九名の前閣僚が參加した

前外相 ヘンダーソン
前內相 クラインズ
前保健相 グリンウッド
前國璽尚書 ジョーンストン
前スコットランド事務相 アダムソン
前海相 アレキサンダー
前工部相 ランズベリー
前農相 アヂソン
前植民相 カッスフィルド卿

之等の前閣僚は二十四日會議を開き節約案反對の對策を凝議した九月八日に開かれる新議會にはマクドナルド氏を以て裏切者となし新內閣に猛襲を加ふべく議場は未曾有の混亂狀態を豫想さる、斯くして勞働黨の分裂による終局的結果として少くとも今後暫く英國の勞働運動が其の勢力を失ひ受難の道程を辿る事となろう、勞働黨分裂の重大性は閣僚の十名までが新擧國一致內閣に參加を拒否したことに依つても明かである新內閣の反對者は無責任な陣笠でなく何れも錚々たる領袖であり背後に下院における多數黨員が控へてゐることが特に擧國一致內閣と云つても新內閣の前途を樂觀せしめないものである

擧國一致內閣の 閣員顏觸れ
重要椅子は勞働黨で

【ロンドン二十五日發】マック首相の下に組織されんとする擧國一致內閣の顏觸れ次の如く豫想さる

首相 マクドナルド(勞働)
藏相 スノーデン(勞働)
自治領事務大臣 トーマス(勞働)
大法官 サンケー卿(勞働)
印度事務大臣 ウエッヂウッド・ベン(勞働)
國璽尚書 ボールドウイン(保守)
樞密院議長 ヘールシヤ卿(保守)
スコットランド事務大臣 ウォルター・エリオット(保守)
軍務大臣 サー・サミユエル・ホーア(保守)
勞働大臣 ネヴイル・チエンバレーン(保守)
內務大臣 サー・ハーバート・サミユエル(自由)
外務大臣 レディング卿(自由)

尚藏相の重要椅子は勞働黨で占め保守黨は比較的閑地にあり結局勞働自由兩黨を樞軸とする內閣といふべく又陸海軍でなく軍務大臣とあるは相の廢合を豫期したものである

英の飛躍的進步
勞農大衆黨 三輪壽壯氏談

【東京二十五日發】英國勞働黨政府倒壞について全國勞農大衆黨三輪壽壯氏は語る
今回の政變は漸進的進步を信ずる英國民が現在の資本主義政府の危機に對し如何に飛躍的になつてゐるかを物語る、即ち英國の國情に最も即してゐると考へられてゐた勞働黨をして聯立內閣を組織せざるを得なくなつたといふ點に如何に英帝國の危機が甚しいかが判る、然し此聯立內閣は永續せず蹶て勞働組合方面の勢力を基礎として別個の黨が成立するものと思はれる、今回の崩潰は黨を基礎にする政府の政策がブルジョア政策を執らざるを得なくなりプロレタリア的立場を執る勞働組合と對立した事に依るが之はドイツの社會民衆黨また然りであつて現在の危機における一特徵である、故に次ぎに起る英國勞働者階級の黨は勞働黨より左翼化し然も國民性に適合した黨が出來上るであらう

階級鬪爭激化
大山郁夫氏談

【東京特電二十五日發】英國勞働黨大分裂に就き大山郁夫氏は語る
英國勞働黨の政策破綻は資本主義沒落第三期に於ける帝國主義財政の破綻を明瞭にし且社會民主主義の本質を暴露したものである今やマクドナルド氏は完全に勞働階級を裏切り金融資本家と手を握つて大戰當時は進步主義者だつたマクドナルド氏も今や全く退步的傾向を取らんとしてゐるとゝもに大衆は大部分左翼的傾向を持ち從來振はなかつた共產黨に活動の機會を與へるであらう又階級鬪爭も激化しよう

寢たり起たり
久世山の自邸で靜養する濱口前首相

【東京二十五日發】遭難後最初の夏を久世山の自邸に送つた濱口前首相はその後一進一退の症狀で昨今は寢たり起きたり氣分のよい時は邸內を散策することもある、熱は平熱に復し食事も少食ながら普通だが暑氣も手傳つてか疲勞が去らぬ樣子であるが毎週一回帝大病院に通つてゐたのもとう止めて折々鹽田博士が來診する外毎日鹽田外科から助手が來てガーゼの取換をしてゐる、ピストルの彈の入つた創口はさう癒着し左關節に止まつた彈も心配ないが第三回手術の跡が癒着せず持病の便祕に苦められてゐる

貴院滿蒙調査員
九月中旬東京を出發

【東京特電二十五日發】萬寶山事件を始め滿蒙各地に頻發する排日運動の成行を特に重視してゐる貴族院では各派聯合の實地調査團を派遣することになつてゐたが二十五日同院に於て銓衡の結果各派の調査員を左の如く決定した

研究會 大久保立子爵、船橋清賢子爵、小松謙次郎
公正會 岩倉道俱男
公友俱樂部 南弘
同成會 大城兼義
同和會 木村清四郎
無所屬 土方寧

なほ右視察團は九月中旬出發滿鮮各地を視察する筈であるが、視察希望者餘り多數であつた爲め更に大藏省に交涉して第二次視察團も考慮されてゐる、これ等視察團の視察結果貴族院の對支外交意見に重要なる影響を與へるものとして注目されてゐる

米國對英クレヂット擴張か

【ニューヨーク二十四日發】メロン財務長官は二十四日ニューヨークに歸來し直に聯邦準備銀行と會議したが聯邦準備局はイギリスが難局切拔けに必要とするならば對英クレヂットを擴張する用意ありと

株式市場昂騰

【ロンドン二十五日發】勞働黨內閣總辭職次いで擧國一致內閣の報傳はるや當地株式市場は一般に昂騰した

露支交涉依然停頓
交涉範圍未だ決定せず

【ハルピン特電廿四日發】露支交涉は去る十九日第二十次會議を開いたが依然として展開の模樣はない、兩國論爭の中心は商會議の範圍を如何にするかの點に立往生して居り、支那側は成るべく狹くして東支問題に限らんとしソウエート側はなるべく廣くして一般通商問題を有利に導かんと努めてゐる

蠶系業界
幾分好轉か

一昨年來生產過剩で苦み來つた內地蠶絲業界はその競爭相手たる支那蠶絲が本年の繭作り惡しく之に加ふるに資金難で各工場の生產能力は激減し昨年に比し約半減と豫想されてゐるので新生面を開いたのみならず內地に於ても夏秋蠶の掃立豫想が前年に比し二割三分減となり結局春夏秋繭を合計して九十四萬八千梱程度と見られ、前年に比し十萬二千梱の減少となり、しかも需用方面に於ては米國、カナダ、歐洲方面とも順調にあるのでこれを期として幾分好轉するに非ずやと見られてゐる

樞府臨時會議
重要案

【東京二十五日發】樞府臨時本會議は愈々二十六日午前九時から宮中東溜の間で特に聖上陛下の親臨を仰ぎ正副議長以下各顧問官、二上翰長、政府側より若槻首相、幣原外相以下各關係閣僚關係局長參列左記御諮詢案を上程する筈である

一、一九三〇年一月のドイツ國との協定御批准の件
一、債權國間の取極め批准奏請の件
一、國際決濟銀行に關する條約及び右に關する議定書取極の交換公文及報告書

等七件で陛下が暑中休暇中然も御用邸御避暑中臨時本會議に親臨遊ばさるゝは之まで稀有の事とて誠に畏き極みである

米穀專賣
期成同盟會 政友議員組織

【東京特電廿五日發】政友會における農村關係議員より成る農政會を中心とした米穀專賣促進運動は遂に黨內に米穀專賣期成同盟會を組織するに至り廿五日午後一時より本部にこれが同盟會發起人會を開き秦、菅原、東郷諸氏等卅六名出席鈴木、木下兩氏等より米穀專賣斷行の强硬論あつて滿場一致左の決議と規約を可決會長に山本悌二郎、幹部に吉植、鈴木、東郷、土井、勝內の諸氏を擧げて二時散會した

決議

公正なる米穀價格を決定して農家經濟の不安を一掃し一定の量價の食糧を供給して國民生活の安定を確保するには米穀專賣制度を斷行するの外はない現行米穀法は食糧問題解決の暫定的立法で立法當時から別に根本的立法を爲すべき豫定の下にあつたのである、今回吾々が米穀專賣案を右の根本的立法として立案提唱したに過ぎぬ吾々同志は此の目的貫徹の爲め茲に米穀專賣期成同盟會を組織し其の實現を期す

規約

一、本會は米穀專賣制度確立を以て目的とす
一、本部を東京に置き支部を各府縣に置く
一、會長山本悌二郎

朝鮮人蔘の 輸出入狀況

【京城特電廿四日發】昭和六年度上半期における人蔘の輸移出入狀況は輸移出總額五萬百五斤、價格五千五萬九百餘圓で主なる輸移出先は中華民國、臺灣、內地、香港、佛領印度、暹羅、ビルマ方面であるまた輸移入總額は四千六百三十六斤此の價格一萬五千餘圓で主として中華民國よりの輸入である

警官講習生

朝鮮警察講習所生徒一行四十八名は二十五日午前八時着列車にて助教授新井基一氏に引率されて來連大連屠獸場を視察した後小崗子署樓上において三浦署長より管內事情說明を聞き志岐保安主任の案內で露天市場を視察した

日支の親善策
在連中國名士の意見……(二)
不祥事件も 責任を明にせよ
李經芳

李經芳氏は淸末の大政治家李鴻章氏の子で日淸談判の時は馬關に行き曾て駐日公使、駐英公使の職にもあつた、民國革命後隱退し平和な大連に餘生を樂しむやうになつてから既に五年になる

「公使として日本に行つたのは私が卅六歲の時で三年足らずゐた、私は今年七十七だから四十一年も昔のことです」

と感慨深げに指を折る。「萬寶山事件から引續いて日支間に好ましからぬ問題が出て居ますが……」と切出すと翁は「何大したことはない」と語り出す

×　×

萬寶山事件はほんとうに小さい地方的問題だつたのだが、夫が鮮人に宣傳されて朝鮮の愚民を煽り在鮮華僑を襲擊して多數の死傷者を出し、そこで華僑が居堪たまらずに歸國した、朝鮮の華僑は山東人が多いが折角多年平和に蓄積をしてゐたものが家は燒かれ、財寶は出來ず命からがら青島あたりに歸つても家は無し、職は出來ず食ふに困つた揚句、ムシヤクシヤして罪もない日本人を殺傷したのではないかと思ふ、私は新聞を讀む以外には何も知らないが若し然うだとするとどれもこれも見當外れの甚だしいものです、萬寶山で鮮人をイヂめた支那人は朝鮮に居る平和な華僑では無い、朝鮮で華僑を殺傷したのは勿論青島の日本人ではない、お互に冷靜に考へればそんな見當外れの仕返しごつこは出來ない筈だ、しかし不幸にして皆事實として現はれた、事件が發生した以上はお互に責任を負ふて善處しなければならぬ、朝鮮の當局は平和な華僑が多數殺傷されたことに責任を感じなければならぬ、支那の政府も青島の日本人殺傷事件の責任を負はなければならぬ、虚心坦懷に責任を負へば解決は何も六ケしいことはない筈です

×　×

しかしこんなことはどれもこれも小さい問題で大局には關係はありませぬ、東方に國家を爲すものは日本と支那の二國だけである、世界の形勢に着眼すればこの二國が根本的に爭ふ理由は毫もしてない筈です、支那はもとより他の列國とも親善でなければならぬ、中英親善、中美親善、中俄親善を說かぬものはない、しかし中日親善とは自から意味合ひが違ふものがある

×　×

いひ古された言葉ではあるが日支親善は動かすべからざる鐵則です、同文、同種の事實は否定することが出來ない、全く兄弟の關係である、一家の內で兄弟が不和になれば必ず外人に侮りを受け共通の利益を奪はれる、たゞ茲に一番注意しなければならぬことは兄弟の間でもそれ〴〵の利益といふものがあつてお互にそれを尊重し合つてこそ始めて仲好くやつて行けるのである、況んや兎も角も國を異にしてゐる以上は如何に親善〃〃といつても片方だけが利益を取つてゐるやうでは親善の實は擧げられない

×　×

私は昔から中日互益主義をモットーにしてゐる、之は兩國の政治的關係を離れても經濟的關係だけでもその不可避な因緣を立證してゐる、支那は原料國で日本はこの支那からの原料を受入れて加工する製造工業國である、支那の原料はアメリカなどの原料豐富な國には行かない、同時に日本の製造品はアメリカには歡迎されずに大部分支那を市場としてゐる、この關係だけでも日本と支那が如何にあらねばならぬかは分り切つたことである、日支兩國人とも小さい問題にアクセクせず眼界を廣くしなければならぬと考へてゐます。(寫眞は李氏)

第二の反抗 (11)
三宅やす子
阿部金剛畫

第一の反抗(三)

「アハヽヽ」
父は突然笑ひ出した。
「男を好きだ嫌ひだ、そんな夢みたいな事を、若い時には云ふもんだよ。みんなあとで考へると笑ひぐさだ。尤も親から云へば、無暗な男を好かれちまつちや、もうおはてゝも遲いがね――好き嫌ひは子供の我儘だ。それよりも、女は賴もしさうな男に賴るのが、一生の仕合せなんだよ」
父はどこまでも、子供にさとすやうに云ふのだ。
賴もしさうな男、數衞のごときが賴もしいのだらう。父は數衞の受けつぐ財產の事を云つてるのだらうか。それなら、自分は財產なんか、いくらあつてもうれしいとは思はない、自分の氣に入つた生活が出來ないなら、山のやうな財產は、あつて邪魔にこそなれ、何も自分を愉快にしてはくれないではないか。
佐枝子は、燃えたぎる反抗心を只沈默に代へて居るのだ。
「まあ、母さんともよく相談して御覽」
父はさう云つて、格別、佐枝子の不承諾を氣にして居ないやうに敷島に、ゆつくりと火をつけて吸ひ出した。
「用事が濟んだら、今晩皆で芝居にでもゆかうかつて、數衞が誘つて居たよ。母さんは、行く氣らしいよ。東京劇場にしやうか、歌舞伎にしやうかつて迷つてたやうだが――お前は歌舞伎はきらひだつたつけね。ま、たまには、つきあふのもいゝさ」
芝居なんて、あんな人と芝居を見にゆくなんて、眞平御免だ、と佐枝子はクサ〳〵した。
「あたし、頭が痛いから、うちに顧ますわ」
そこらで、父の前を切りあげて彼女は部屋にはいつてしまつたのだが、何としても、突然の、父の言葉が、頭に重くかぶさつて、何をする氣にもなれない。
午後、母はしきりに芝居行を彼女にすゝめた。
「丁度此間出來て來た、磯の錦紗が劇場の中では引き立つよ。今のうちに一寸髮でも結つて來たらどう?」
母は美容院に髮を結ひにやることが好きだ。最初は鏝をあてるのをひどく嫌つたのだが、此頃では洋髮といふ型にはまつた髮が好きになつて、佐枝子が無造作に、クル〳〵と束ね髮にして居ると、いつも催促して、美容院に髮を結ひにやりたがる。
「そのうち、數衞さんも歸つて見えるだらうから、今のうち一寸行つておいでよ」
佐枝子は母の言葉を半分しか耳に入れず
「あたしは今日はお留守番してあげるわ」
「何故さ――佐枝さんが行かなければ何にもならない」
「父樣がおいでになるさうよ」
「だからさ、老人二人の御案內では、お客樣だつて話がないもの」
「私だつて、あんな人、話なんかありやしないわ」
母は眼で叱した。
誰か來たけはひだ。
「はいつてよござんすか」
數衞だつた。佐枝子はホッと救はれた。

金剛

家庭

奥さま教育　お買ひ物上手 (E)

下駄や草履は見切品を買ふこと

安物ならでは客足も淋しい

如何に私どもの生活に洋式が浸入し、私共の身の廻りに舶來品がまされる今日でも、なつかしいキモノが全然影をかくさない限り草履や下駄は依然生活必需品の一として地位を失ふことはないでせう、それでこそ大連市中大小數十軒の

履物屋さんが昔に變らぬ

看板をかゝげてゐられるわけです「昔とちがつて私共の店でさへ夜店物のやうな廉物を店先に並べないと客足が淋しいやうになりました、矢張り時世ですね」大連に古く履物を並べてゐる某老舗の主人公が嘆ずるまでもなく深刻な經濟界の恐慌はこゝにまでひろがつてゐます、やはり大衆の求めるものは「なるべく廉い品」にあるのです「安くつてよい品」といふのが近代人の商品選擇の第一條件であつて見れば生産者も昔のまゝの南部表やフエルト草履ばかりを守つてゐるわけにも行かずこゝにシユーズ履、キング履、吹かけ、新南部、新パナマなどゝ

矢つぎ早やに新案特許品

が生れて來たのです、新南部、新パナマ、新籐表といふのはいづれもセルロイドを本物の南部表、パナマ表、籐表に似せて拵へたもので、本表よりずつとやすくて汚れても雜巾でゞもふけばきれいになります、でもどうかするとはげたり割れたりしますからあまり經濟的ではありません、キング履、シユーズ履といふのは草履に似てゐますがフエルトと表との間に塗りの木の臺が這入つてゐますから足當りは少し軟くて重たい缺點はありますが、濕りが上らないし體裁もわるくなく、おまけにフエルト草履より

ずつと安いので最も實用向

でせう、吹かけは名稱の通りで、フエルトの粉を木の臺に吹きかけこれに布の表をつけてフエルト草履に見せかけたものですから、一寸見はいゝやうですがあまり感心した代物ではありません、もつとも値段は斷然やすいのですが中身が木ですから歩けばコトコト音がしてすぐに化の皮が現はれるし減りも早くて決して割のいゝ品ではありません、それより一圓前後の塗下駄か、いつそ二三十錢の安物の駒下駄でも穿いた方がむしろ賢かで經濟ぢやありますまいか、でも實際にはこの大連の國際都市の砂

ペーヴメントを踏むのには

下駄では不似合です、そしてすぐにへつてしまひます、だから上等の表つきの下駄などとても不經濟で穿けません、かといつて上等の華奢な下駄に不體裁なゴムを打つわけにも行きますまい矢張り草履に限りますそれも春から夏にかけての雨の多い時期を除いては矢張りフエルトでせう、フエルトのあの軟かなしかも彈力性にとんだ草履の味は何といつてもうれしいものですから……でそのフエルト草履ですが氣持よく永く穿かうと思つたら少し奮發して三圓から上のをお求めになつた方がお徳用です、二圓臺の安物ではすぐフエルトがわるくなつて横からハミ出したり高低が出來たりしてすぐ穿けなくなります、表にしろ、鼻緒にしろ、臺にしろ、とにかくあまり安物は却て不經濟です、次に男物の桐下駄ですが

内地物よりも龍口物の方

が却てやすくていゝ品が手に入ります、内地物の柾目の通つた上物ですと四五圓もしますが龍口物なら二圓以内で立派なものが手に入ります、但し青島物は質が軟かくてへりが早くてあまり割がよくありません、内地から來る桐下駄であればセルロイドを張つて底にゴムを打つた物の方が多少不體裁でも實用向でせう、夜店でも方々下駄をうつてゐる所がありますがこれも安いといふだけで臺所ばきやちかばきの他には一寸不向きでせう、で履物にしても矢張り相當な店の少しよごれたりきづがあつたりして特別に見切つてゐる上等品の見切品を買ふに越した事はありますまい

動物姿態三つ

―グロ味たつぷり―

南海の國濠洲へ行くとすべての動物が温帶地方のものと違つてそのグロテスクな特異性を發揮して時には怖ろしくもあり、奇妙でもあり、また滑稽でもある。こゝに示す三種のうち（下）坊主鼬の類鼬の海豹は多分の滑稽味を持ち（中）大鰐は餘りにも氣味惡く（上）珍奇な嘴を有するペリカンは案外人なつこい姿である。海豹は十五呎もあるものを寫したものでこれはオーストラリヤのニユーサウスウエルスの海岸に群をなして押寄せるもの、鰐に至つては少し人氣のまれな沼澤に見られる、またペリカンは寧ろ從順で捕獲し易いものだといふ

主婦の友社の毛糸編物展覽會

内地滿鮮地方を巡回開催

大連は十月廿日から三越て

毎年主婦の友社の主催で開かれる毛糸編物展覽會は年々盛んになつて毛糸編物界をリードするかの觀がありますが今年はその第七年にあたりますので内地及び滿鮮地方の主要都市を巡つて第七回展覽會が開かれるさうです、出品物は一般人の苦心の作品を廣く天下に紹介したいといふ主婦の友社の意圖で、左記の條件によつて遍く一般の出品を募つてゐますから皆さんも精々見事な作品を御出品なさつたらよいでせう

▲出品に就ての注意

種類＝毛糸編物で製作した一切の手藝品を含む、又毛糸を應用した編物なども差支なし

記名＝一點毎に住所、氏名、賣價（非賣品なれば非賣と）を明記した小札を附けること

送先＝東京市神田區駿河臺主婦之友社内毛糸編物展覽會係宛

出品締切＝十月五日

▲賞金及賞品

一等奬勵金　一百圓（一名）

二等奬勵金　五十圓宛（五名）

三等奬勵金　十圓宛（五十名）

其他の優秀作品に記念章贈呈（三百名）

▲審査員　江藤春代女史、佐伯周子女史、柴田たけ子女史、大妻コタカ女史、成田順子女史、杉浦非水氏

因に大連に於ける展覽會は十月二十日より三日間三越にて開催の豫定です

なぜでせう？

濕つたお天氣には音樂の音が狂ふ

◆…お氣附きになつて居られる方もありませうが音樂といふものは相當の距離で聞いた時にその日が乾燥した日であるか、或は濕つた日であるかに應じてその音色が非常に變るものです、これは高い音色といふものは乾燥した空氣におけるよりも濕つた空氣に於て早く傳はるのです、即ちこれがために高い振動の音と、緩やかな振動の音とを組合せて演奏された音樂を聞く時に相當の距離が其處にあれば低い音は緩やかに行くのにも拘らず高い音だけは速かに聞き手のところに到達するために一定の音律に於て演奏されたテンポが全然崩れた形になつて到達するからです。

◆…更に委しくこれを考へて見ると最も音の振動數が濕度に依つて影響を受くるのは一秒間二千回の振動以上の事であつて、ピアノの例で云ふならば上の方の二個の「オクターブ」はこれです、これに反して中間階梯並に低音の部分の「オクターブ」のもの即ち普通我々の話をする聲の如きものは濕度によつて何等の影響を受けないのです、今日以前に於ても耳に聞き得る振動以上の調子即ち非常な高周波のものは天氣に依つて影響するものであると云ふ事は考へられて居つたのですが、普通の音樂のものでさへも天氣の影響を受けるといふ事を考へついたのは始めてゞす。

◆…この現象の最も顯著な例は濕つた空氣の日には乾いた空氣の日よりも高い調子の音が強く聞え過ぎるといふことを大きい音樂演奏室に於て試みて見るとよく判る事です。

期待するな (上)

杉野一湧

○…歳の少い内は男女共に凡てに期待したがる。心界に於ける自身の心の位置、人其ものゝ深さに關して知らない爲めに見當違ひに終る事が多い、昨日に感激して今日に悲觀する。感慨を強く打たれると、たちまち驚いて終つたり、たくらみのある親切を愛だと思つたり、亂暴を勇敢だと感違ひしたり、利巧やづるさを偉いと考へたり、眞實を平凡だと考へたり、本當の偉人をそれ程の人でもないと考へて、何でもない人を非常に偉いと考へたり

○…眞に導いてくれる人を面白くない、理窟つぽい冷たい人だと考へたり、優しくしてくれたら、暖かい人らしい人だと信じて終つたりする。かうした事を永年繰返し、感違ひを明瞭にすることを知らずに、世の中はかうしたものだ、誰れもさう考へて居り、多數決程間違ひのないものはないなどゝ考へ、人生は深くて明瞭でないと感じる事が、悟りであるのだなどゝ考へて、不明瞭を何よりの信奉として世の大多數は（九十九パーセント）不明瞭を得意として、事實一方には明瞭に、斷然とした人の生死を見て暮す、自身の生死は誰れでも

○…明瞭に知れてゐて其中間の生活が滅茶苦茶が本當であると考へる人が、大多數であるといふことが不思議な大問題なのである。もし不明瞭が眞であるとしたら安心なものである譯なのに、完全である譯なのに、何故發達を考へたり、先驅を考へたりするのかとなる。われわれが眞劍に、もう一つ足をつけてくれと望むものがあるか、眼をもう一つつけてくれと望むものがあるか、何故このまゝでよいとしないで、少數の先驅を仰ぐのか、これ又不思議な大問題なのである。どんな佳人でも賢人でも、どうしても死なねばならぬといふ事もありふれた事で、全部の人のする事であるから考へる

○…必要がないと云ふ人が多い譯なのであるが、これ又不思議な大問題なのである。それに小數の先驅と大衆のわれわれ一人とは内容がどう違ふのか、どんな道を過ごしてどんな境地に住んでゐるのか、非常に違つた角度に立つてゐる、先驅の心境問題がこれ又不思議な大問題なのである。大衆が割合に特別扱ひしてゐる、實は一番自身に近い、身内にある、食するよりも以前に解決しなければならぬ、建築の土臺と骨に當る、ぬく事の出來ぬ、不思議な存在である大問題を三つ書いた。

○…先驅と大衆と生死、これを一とまとめにすると、生とは何かになる、それは自己とは何かとならねばならぬ。この解決はようやく本格の人にもどつて、はじめて人としての第一歩の出發がはじまるのである。はじめて手を振つて明るい眞道を歩み出すのである、これに出る前は假生の状態で暗い僞見である。暗いのである。籠から放された鳥で躍動自在、はじめて自由が自由となるのである。出る前は假の自由である。第一の出發に達した時生れて、はじめて喜びを感じるのである。白紙に黑汁を一點落したやうにである。この状態は全眞道からは何でもない

○…眞の一歩に相當するので一人前から割引されないで濟んだ絶對な嬉しさから、第一の出發を得た事を救はれたと云つて居る。天才と云はれて居る人は、其後が未完な自己發揮の生活をして居るのである。

滿日各地版

奉天附屬地を狙った稀代の馬賊團捕る
無賴の徒を使て畫策

【奉天】醜業婦を手先に使って奉天附屬地内を荒さんとした稀代の馬賊團七名の策動が事未然にバレ奉天署の刑事隊に大格鬪の上逮捕された痛快な話……市内橘立町五番地閻喜才(三二)方に阿片吸飲のため盛に出入をなす無賴の支那人ありと聞き込んだ奉天署では刑事隊を張り込ませ注意中去る十五日方に出入する張某なるものが主謀者となり無賴不良の徒數名を糾合し附屬地に於て強盗を働くため總ての計畫をなし準備を整へ機會をねらってゐることを探知し愈々面白くなったと意氣込んだ刑事隊は閻方の周圍を内査中更に張某外二名は常に拳銃を所持し懷中深く隱し居ることも確めしかも一女性がその間頻りに立廻り一味の聯絡を補助してゐること一味は城内方面に分宿し宿所も判明せずテッキリ確證を得て力を加へ嚴重警戒してゐた處二十三日午前十一時頃擧動不審な男女三名が閻方に立廻ったところを取押へんとするや彼等は早くもそれを知り隱し持ってゐた拳銃を取出さんとしたので刑事隊もすかさず彼等に組つき大格鬪の上三名とも逮捕したこれらは遼寧省城北燒火營子生れ住所不定無職張魁武(三七)本溪湖縣城内崔家房生れ程玉山事那成海(三四)及び同范孫氏(二八)と稱し豫て捜査中の強盗犯人なることが判明したその共犯者本溪湖縣北燒火營子生れ住所不定無職韓香午事韓標(三〇)が市内霞町五番地王占系方に潛伏してゐることを聞き同日午後一時頃之が王方に立廻った際これ又大格鬪の上逮捕した彼等は既に去九月午後八時半頃市内彌生町邦人煙草商西殿部太郎方表入口より侵入し支那人店員を脅迫して金品を強要してゐる際それと氣付いた主人は裏口より出て騒がれたため一物も得ず逃走したさいふ強盗未遂を敢行してゐるもので更に范孫氏の仲介で范鳳來、叢桂及び張子軒の七名共謀の上市内彌生町三番地三民藥房、千代田通り廿六番地昭榮洋行を襲はんと計畫を樹て機會をねらってゐた事を遂一自白するに至ったので右の内范、叢の兩名が□日午後二時半頃何氣なく閻方を訪れて來た處を大格鬪の上逮捕したこの兩名は
本溪湖縣草河章生れ住所不定無職范鳳來(二八)同草河口生れ住所不定無職叢桂一(三六)
さ稱し叢桂一は醜業婦范孫氏の申し込みにより銃器購入に要する資金現大洋の八十元を渡し更に范から魁武に手交され銃器一挺を購入してゐた事實も暴露した奉天署刑事隊の活動により彼等の策動を探知して後九日目に七名中六名逮捕され難を免れる事が出來た譯で刑事課長からその勞を犒ふ祝電來り且つ立川奉天署長は刑事一同に金一封を贈りその効を表彰する處あった尚右六名は引續き取調中であるが餘罪ある見込である

馬賊團と交戰

【長春】二十一日午後八時頃懷公安第三區小黑子隊長于振江は部下十八名を□率陶家屯驛南方十支里の陶家屯部落附近を警戒中高粱畑中に潛伏してゐたる十名餘からなる馬賊の一團と出會し二時間餘に亘る交戰後賊の約半數を射殺して撃退せしめた

馮庸對撫順の競技メンバー

【撫順】將來の日華を背負ひ起つ兩國青年の精神的融合を計る爲の年中行事第一回馮庸大學對撫順軍の陸上競技は愈々二十八日撫順競技場で華々しく行はれる、二十四日決定したる兩軍のメンバー並に當日の役員左の如し

▲馮大軍 △コーチ王闢△監督孫墨邨に將周興增「選手」△百米1劉興亞、2陳國俊、3熊漢英、4劉仁秀△四百米5于希渭、6王銘紳△千五百米5于希渭、7高玉嶺、8宮清明、9○敬恒△高障碍4劉仁秀、2陳國俊、10福△走幅跳13石維嶽14宋惟□、15任永誥△砲丸投4劉仁秀、16周連□、17徐景新、18宮萬育△圓盤投16周連增、4走2陳國□、4劉仁秀、1劉興亞、6于銘紳、3熊漢英、5于希

▲撫順軍 △コーチ堀△監督淺坂△主將柴田「選手」△百米3宮田4川崎、2柴田、5田中△四百米3宮田、4川崎、1淺堀、6西野△千五百米7佐藤、8西川4川崎、9鄭仁秀△高障害2柴田、1淺坂、3宮田、6西野、△走巾跳2柴田、3宮田、5田中、1淺坂△棒高跳1淺坂、3宮田、10仲摩、11澤田石△砲丸投12西村、10仲摩、13俵、14岡田△圓盤投15壇城、12俵、11西村、10仲摩

▲役員 △顧問伍堂卓雄、馮庸△會長石□體協長△副會長窪田新平△總□委員長宮澤庶務課長△總務委員川口、升巴、原田各協理事及堀體協主事

▲競技役員 △審判長前島東採炭所長△監察員山本、隅野、小數賀、幸△決勝審判員岡部平太木谷辰巳、伊藤、建部、小松△計時員山口、谷村、各嘉地△出發合圖員山本好松△跳躍審判員横山、福島、土橋、小中、佐藤小貫△召集通告員紀井、古賀、長谷川、園△新聞記者係本島△記錄員稻川、梅田、白水

河北驛襲撃計畫
海城から遼河を下り營口を狙ふ馬賊團

【營口】二十三日午前八時ごろ河北驛北方約一里の支那部落小莊子に七十餘名の馬賊團現はれ河北驛襲撃の目的を以て目下潛行々動中なりとのことであるが該馬賊團は海城縣下口子附近に根據を有する頭目祭小莊、天下好、老北風の就かに屬するもの、如く彼等は數日來の北風を利用して戎克に乗り込み下航し來り一舉にして河北驛を襲ふ計畫なりと噂されて居る之を探知せる支那警察では河北第七分局員五十餘名並に鐵路巡警三十餘名を河北驛に非常召集し匪賊侵入の警戒に任じて居るが日本警察でも警戒を嚴にして居る

大孤山にも

【鞍山】鞍山警察署大孤山派出所の報告によれば二十二日午後十一時三十分頃大孤山西方隣接中國部落孤山子所住大孤山採鑛所大工夏永懷(四九)方に各自棍棒所持する五六名組の強盗侵入し家人を縛し金品七十圓を強奪し倚隣家の同職大工張學連(四二)方に侵入し同方法を以て金品八十圓を強奪し崔家屯方面に逃走したと、大孤山派出所で

釣りの旅順(七)
寒河江生

◎かつて宅島氏はワイ商會主の夫婦連れと三人でチヌ釣りに出かけた、ワイ夫婦は別々にピクを用意して夫婦で釣の競爭を試みたのであるが、魚の喰ひが普通だつた間はワイ主人の方が斷然夫人をリードしてゐたところ、中途でワイ氏にも宅島氏にもパッタリ來なくなつて、夫人にばかり盛んに釣れる、そこで宅島氏が夫人の糸をよく注意して見ると鈎が底についてゐないらしいので、さてはチヌが浮いたなと氣が付き、二三尺上げて釣つたところ果して續々と釣れる、今度は宅島氏とワイ夫人とが盛んに釣るのを眺めてワイ氏頗るアセるがサッパリ釣れない、ワイ氏夫妻は「どうも不思議だなあ」「ほんとに妙だわ」で理由は判らずじまひに歸つた事があると云ふ

◎總じて舟釣りでは糸を水深よりも一尋位、時には四尋も延ばして、なるべく遠くに餌を投げる事である、そうすれば沈んで行く間に浮いてゐるチヌも食ふし、又流れがうまい工合に糸を張って餌を底に付けて呉れる、竿の先がピクピクと來た時靜かに上げると、魚は餌を透がしてなるものかとパクリ食い付く、そこで糸をたぐる

◎宅島氏は云ふ「チヌは手答へで釣るやうでは駄目です、目で釣るんですれ、竿の先がピクピクと少しでも動いたらもう食つてゐる時です、更に敏感になれば竿が動かなくとも糸の動き方で見るでせう、餌を吞み込ませて、釣…生すの中で白い腹を出してゐるやうでは面白くないん」

◎魚が來ない時でも糸…竿と腕一ぱいの高さ位…見ては又下すことが必要…これは遠い魚も寄つて來る…つては來たが食はずに…奴は急いで食ひ付く利益…

◎餌はゴカイならば舟…外なしに一疋通て頭の先…ト鈎にさしておけばよい…必ずゴカイの頭に食ひ付…いしッぽだけ取られるや…ない、宅島氏に云はせる

◎竿はなるべく短い方がよい、糸々二尺から三尺止まり位が扱び便利である(勿論舟釣りの場合だが)人造を十尋から十二尋(一尋前後のもの)の下に本テグスの成るべく細いのを一、二本付け其下に更に細い本テグスを一本又は二分付けてそれに錘と鈎を仕掛ける、下の本テグスは九月頃ならば引抜き程度でよい、鈎は細い臘かミシン糸で縮んで一寸位のところで錘を付けその上がテグスになるのである竿は二本が手頃で、淺いところで食ひがよくなつたら一本でも澤山である。

奉天優勝す
州外對抗相撲競技會

【四平街】一般市民の待望久しき州外對抗大相撲は豫定の如く二十三日午前十一時より四平街警察署前土俵場に於て盛大に舉行された此の日前日來氣遣はれた天候は名殘なく晴れて蒼穹紺碧を流し絶好の□和であった定刻荒木地方事務所長の開會の辭によつて戰ひは開始された、戰績左の如し

▲第一回戰

勝	負
四平街B3	撫順市中A2
撫順市中B3	四平街D2
遼陽4	四平街A1
安東5	長春0
開原3	撫順炭坑C2
奉天4	公主嶺1
鞍山4	撫順炭坑A1
四平街C4	撫順炭坑B0

▲第二回戰

勝	負
四平街B5	撫順市中B0
安東5	遼陽0
奉天4	開原1
鞍山3	四平街C2

▲第三回戰(準優勝戰)

A 安東3—四平街B2
立 尾×—○峰 村
本 山×—○齋藤
霞 田○—×角 田
福 本○—×柴 田
川 端○—×澤 田
峯村、齋藤續けて點をなせしも後半形成一變し四平惜敗す

B 奉天3—鞍山2
竹 下○—×古 川
片 山×—○上 山
井 上○—×石 田
古 野○—×安 田
山 根×—○伊 藤
右準優勝戰終りて直に四平街と鞍山の三四等決定戰を行ひし結果四平街軍の奮鬪振り目醒ましく左の戰績にて四軍勝つ

▲三、四等決定戰 四平街B3—鞍山2
峰 村○—×古 川
齋 藤○—×上 山
角 田×—○石 田
柴 田×—○安 田
澤 田○—×伊 藤

而して正午後三時より本大會の兩雄奉天對安東の決戰が行はれしも安東の奮戰遂に及ばず惜敗し奉天の優勝する處となつた

▲決勝戰 奉天3—安東2
竹 下○—×立 尾
片 山×—○本 山
井 上○—×藤 田
古 野○—×福 本
山 根×—○川 端
右團體の優勝爭霸戰終つて直に個人優勝戰に移りしも是亦井上君見事優勝した

▲個人優勝戰
一等井上(奉天)二等川端(安東)三等勝山(撫順)四等渡邊(遼陽)五等稻田(四平街)六等片山(奉天)
右終つてより三人抜き五人抜き競技が行はれたが入賞者左の如し

▲三人抜き
澤田(四平街) 安田(遼陽)
小出(公主嶺) 勝山(撫順)
勝山(撫順) 澤田(四平街)
安部(撫順) 井上(奉天)

▲五人抜き
竹下(奉天)
終つて後相撲さして左の三段の取組ありて後弓取りあり五時三十分賞品授與式に移った
A 詰○—×時 波
B 安 田○—×小 出
C 吉 田○—×日 置
D 澤 田○—×田 中
E 安 部○—×峰 村

不戰十名を殘し撫順軍堂々勝つ
奉撫對抗劍道大會

【撫順】兩軍ベストメンバーで戰へる「奉撫劍道大會」は撫順の氣正に濃き撫順永安臺武德殿に於て二十三日午後一時二十分より奉天木村、撫順宮澤兩教士交々審判に切拔勝負に依つて劍尖火を吐く大熱戰が行はれ堂に滿つる觀衆をして片唾をのました、撫順の中島初段は奉軍の中堅佐々木、藤田の兩初段、佐藤、宮田、清水、森坂本、前田各二段を六人計八人をなぎ倒し次で撫順森二段亦奉軍の大將四段、齋藤副將、橋本四段以下澁谷、尾形、福井、木戸、榎本の各三段五名計七名を總なめになり兩劍豪の舌を捲く神技に依り撫順は大將藤川四段以下不戰十名を殘して堂々と大勝、因に、海老名、神保、木村、高山、愛甲の各三段、藤川四段の不戰十名を殘して大勝、次に右切拔團體勝負以前(自午後一時二十分より至三時)に行はれた個人三本勝負は兩軍二十六點の同點その經過次記

奉軍	撫軍
◎篠塚	◎先崎
◎高田	◎藤本
◎野邊	帆足
近藤	◎井上
◎佐々木	◎中坂
濱田	嘉村
佐藤	◎中島
◎藤田	◎水上
◎清水	◎樋口
◎榎本	森
坂元	◎外村
◎宮田	◎德森
森	◎溝口
前田	◎海老名
◎福井	初保
◎木戸	◎本村
◎尾形	◎金澤
◎澁谷	◎高山
◎橋本	◎愛甲
藤	◎藤川

(◎印勝)

先鋒篠塚一級 ◎野邊一級 ◎高田初段 ◎濱田初段 近藤初段 ◎佐々木初段 佐藤田初段 藤田二段 清水二段 宮田二段 坂本二段 森二段 花田二段 ◎榎本三段 中島初段 坂本二段 溝口二段 樋口二段

製鋼所設置問題で全滿全鮮の對抗
氣運漸く濃厚となる

【安東】製鋼所新義州設置要望のため新義州側期成會委員と共に赴連中の安東商議會頭荒川六平氏は歸途私用を兼れ鞍山に立寄り製鋼所問題に關する鞍山方面の空氣を觀察して二十三日午前七時歸安したが、左の通り語った

滿鐵 新□副總裁に依るも、大所高所より現關東長官に依るも、大所高所より見る對滿政策の確立或は打開等は目下の處到底望むべくもないが懸案となつてゐる製鋼所問題だけは現滿鐵正副總裁は人心收攬の上からも必ず決定する事は明かに推定され又總裁の口裏から見ると肯かれる、然らば其の設置場所であるが之に就ては大連方面の空氣は滿鐵幹部方面も新聞通信方面も一般市民も州内であると確信して居るが總裁、副總裁だけは全然白紙であると見るのが妥當であらう、であるから此の問題に就ては決して捉はれてはならない、今は悲觀すべき時でもなく

樂觀 すべき時でもない、歸途鞍山に立寄つたが鞍山市民の意嚮としては來る二十五日に正副總裁が巡視に來る爲め其の際鞍山に設置の要望はするが必ずしも鞍山を固執しない、只促進方を要望するに至るらしい、現在鞍山市民の希望は州内でも新義州でも宜しい早く開始して欲しいと言ふにある、此點は味ふべきであらう、其れに始めから滿洲は各地とも別々の運動に岐れて居り効果的ではないと言ふので近く大同團結のもとに第一段として滿洲設置の運動を開始するに至る氣運に向つて來た、そこで全滿洲側の運動に對抗する爲めには是非とも全鮮的運動の必要なるは謂ふ迄もなく自分の

意見 を以てせば宇垣總督を先頭に立て、愈々最後的全鮮運動を起す必要があるであらう、安東としては近く實行委員會を開催して運動方法に對する最善の計畫を樹てる筈である

醫大診療團に刺戟されて向學心を燃した蒙古青年
遙々奉天の師範に入學し久保田博士を私邸に訪問

【奉天】滿洲醫大診療團の診療が緣となり向學に燃えて已む方なく遂に笈を負ひ志を立って郷關を飛び出し遠く奉天まで來り支那側師範學校に入學勉勵してゐる一蒙古青年が東蒙を診療當時團長たりし久保田晴光博士を廿四日態々訪れて來たといふ日蒙親善の一端の現はれとも云ふべき美しいエピソード

當地醫大では毎年夏季診療團を組織し東蒙一帶に出かけ炎熱と戰って巡回診療を行ってゐるが久保田博士を團長とする診療團一行がこうして東蒙に診療に赴いたのは今を去る八年前で同大學で巡回診療を開始したばかりの際であった故に折角巡回診療に赴いた一行も蒙古人側では何でも掠奪する一團かそれとも占領せんとする一隊かの如く思はれ診療團一行を見て逃げかくれする始末に全くこの診療も餘り効果を擧げ得られないといふ時であった

しかし一行は診療團の主旨と目的と使命を何も諒解されない蒙古人に紹介するためにはそれは問題ではなかったそして一行は出來るだけこの諒解に努めるのであった一度久保田博士一行が診療の器具材料を取揃へて東蒙はハルモトに入りこんだ時一般に診療團を怪しいものとばかり思ひつめて避けてゐる蒙古人中殊にこの診療團に接近し顯微鏡その他診療に使用する器具を一々見て且つ醫學方面の樣子を熱心に聞いてゐる當時僅か十三歳になる蒙古の一少年があった

それは二、三年前のことでその少年が久保田博士の診療で動機となりその後時折兩親を口説き始めて五年後に漸く實現した譯で今は東北蒙旗師範學堂に入學し一生懸命勉強してゐる名は鮑君と稱し勉學の動機となって八年經過せる鮑君は今年が廿一歳の青年であるそして忘れもせぬ久保田博士を廿四日朝同氏の私邸まで訪れて來たのである、吾が生徒のやうにいつくしみを持たずに居られない久保田博士も鮑君の來訪を喜んで迎へ身體を大切にしてしつかり勉強しなさいと激勵し同君も喜び勇んで又參りますと立ち去つたのである

日本側の學校でも入學して勉強したいと云ひ出したのであった、この健な決心にその少年の父は承諾はしたもの、その母は遠く郷里を離れてしかも他の言葉で勉強するのであるからせめてその少年が青年となりお嫁を迎へるまでは家に置きたいと云ってどうしても聞かなかったのである、だがその少年の決心には母の心も遂に動かされ吾子愛すれば、こそ親の許から離して奉天に出すことになつたのである

鐵開水泳大會

【鐵嶺】連戰連敗の戰史を綴つてゐた鐵嶺のスポーツ界も二十三日は鐵道連盟によく陸上競技では支那側を五五對一四といふ大差で破り、一方水泳大會の方は鐵嶺軍二十九、開原僅かに五といふ壓倒的大勝を博し戰史に華やかな一頁を添へた因みに水泳大會の成績左の如し

二百米リレー 二分一〇秒四
百米ブレスト 一分四〇秒
一着山田(鐵)二着中山(鐵)三着川尻(開)
四百米フリー 六分五九秒六
一着小里(鐵)二着橋本(鐵)
百米フリー 四分一四秒八
一着石塚(鐵)二着松本(開)
五十米バック 四一秒三
一着小里、二着山田、三着田邊(開)
五十米フリー 三一秒五分四
一着小倉(鐵)着石塚(鐵)三着垣成(開)
百五十米メドレーリレー
鐵嶺 一分五八秒

邦人使傭の華人を拘禁

【遼陽】遼陽滿鐵社員倶樂部附屬理髮店近藤□一方の職人崔慶寛(二〇)は廿一日夜城内平康里に赴きたるに公安局員は不法にも同人を引致し剌人遊民罪といふ罪名で三年半の懲役に處すと稱しゐる故至急日本官憲から交涉を願つて呉れさの傳言があったと雇主は廿四日警…

【安東】萬□山事件の惹起當時鮮内に於ては鮮支人の紛爭は相當熾烈なるものあつたが其の後漸次人心も落つきを見せて居た處最近中村大尉虐殺事件に引續き青島に於ては我が國粹會本部の襲撃さるゝあつて民心再び動搖を見んとしつゝある折柄寬甸縣地方に於ては支那人側に種々流言が行はれ來る二十八日(陰七月十五日)の萬盆を期して鮮人は一齊に立ち大暴動を起す等と蜚語し單獨旅行を企てる支那人は殘る家族の安否を杞憂して旅行を見合する等同地方に於ては可成の動搖を見て居る

撫順にも謠言

【撫順】時局に關し流言蜚語盛なる折も折撫順城内中國鮮人約二千戸は二十四日朝來悉く閉店した右に就き同日正午縣政府公安隊長は武裝せる部下十數名を連れ同所に急行した、原因その他詳細撫順署に於ても目下極力取調べ中

沿線往來

▲田川代議士 廿四日奉天へ
▲森田奉天事務所鐵道課營業長 廿四日歸奉
▲島本天守備隊長 廿三日着任
▲足立四洮鐵路事務處長 廿三日四平街へ
▲郭吉長鐵路局長 廿三日來奉
▲斯波博士(滿鐵技術顧問) 廿四日大石橋へ
▲有賀庫吉氏(遼陽地方事務所長) 廿三日奉天往復
▲多門第二師團長 廿四日朝歸遼
▲渡邊德重氏(遼陽毎日社長) 廿四日朝大連より歸遼
▲藤谷準次郎氏(前鐵嶺地方事務所長)二十五日出發、來月初め歸鐵家族同伴離鐵の筈
▲伍堂滿鐵理事 二十四日斯波技術局長同伴、鐵嶺到着
▲伊東武敏氏(鞍山獨立守備隊第六大隊附歩兵大尉)鞍山中學校配屬將校に任命され二十四日鞍山各方面を歷訪挨拶
▲村上宗正氏(松山歩兵第二十三聯隊附少佐)二十六日午後旅順發列車で赴任の筈

荒れ模様

大連港内にて

首相の提唱により全國民的救濟運動
揚子江の水災に朝野力を併せ
水災同情會を組織

【東京特電廿五日發】[illegible]有の大水害に際し朝野力を併せて救援の方法を講じてゐるが關東[illegible]聯合の中華民國水害救濟懇談會は若槻首相の提案により首相官邸[illegible]水災同情會を組織し罹災者救濟の國民的運動を起すことゝなつた

二百萬圓以上を募集

【東京特電廿五日發】日華實業協會では二十四日[illegible]頭取兒玉謙次氏以下幹事十數名會合友邦救援に關する具體的方法[illegible]も二百萬圓以上を募集する事に決定した民國水災同情會趣意書左の如し

[illegible]に判明せる報道に依れば浸水面積我國と殆ど同じと傳へられ過去[illegible]罹災地の實況は酸鼻を極めるものあり思ふに隣邦國民は從來兵亂の[illegible]ふ吾人は人道の本義に鑑み善隣の誼により默視するに忍びず茲に[illegible]募らんとす

また暴風雨
漢口に倒壊家屋多數
我總領事館一部倒壞

[illegible]

一口一圓以上

[illegible]

中報紙の社説

【上海特電二十五日發】本日の申報は日本天皇陛下の水害救濟に感[illegible]の言を題して長文の論説を掲げ[illegible]我國水害に對し列國何れも同情を寄せてゐるが日本天皇陛下の救ひ金下賜は最も高尚な同情心に出でるもので吾人は之を拜受するに十二分の感謝の意を表す、緊密な關係にある兩國の交渉が緊急の際天皇の聖意に對し感謝する外言葉に盡せない、然し最近日支間には不祥事相次いで起り支那は嫌を懷つてゐるが日本は天皇が支那の水害を救濟される御心を擴大して支那民族の束縛を解き兩國の眞の共榮の基本を作るべきだ

聖旨を拜し奉り只恐懼に堪へぬ
畏こき御聖慮を拜し
塚本關東長官語る

【東京特電二十五日發】[illegible]御自ら中外に先んじて在留[illegible]罹災邦人さともに隣邦罹災者に[illegible]巨額の御内帑金を御下賜あらせられましたことは御聖徳の廣大なる異境に及ぶを見まして誠に畏こき極みに存ずるのであります、今回の災害の範圍が廣大にして被害民の多いことは實に驚くべき慘狀と申す外なく日々の新聞紙上に報道されまする光景の悲慘なる眼を蔽はしむるものがあるのであります、隣邦に起りましたこの絶大なる災禍に對しまして聖上陛下が一視同仁國の内外を問はず博愛衆に及ぼし隣人を憐れませ給ふ有り難き聖旨を拜しこれ即ちわれわれ日本人の情念でなければならぬことを畏こくも親しく身を以つて範を垂れさせ賜ひしに外ならぬことを省みまして恐懼に堪へぬ次第であります、本日政府に於かれましても此の有り難き聖旨を體して中國水災同情會を設けんことを提唱し廣く

金品を 募集し罹災地にかける在留邦人並に民國人を救恤し以つて思召しの一端に答へ奉ることゝなつたと聞きましてわが帝國と中國の間における政治的經濟的、歴史的に深き緣由に想到し人類愛の發露により此の不幸なる邦人は素より民國人に對しわが朝野人士の同情の下に能ふ限り廣く救援の手を展べられんことを切望に堪へぬのであります

御下賜金電送

【東京二十四日發】長江流域水害中華罹災民に御下賜になつた御慰問金十萬圓は二十五日中華民國水災同情會副委員長兒玉正金頭取が宮内省に出頭拜受したる上直に正金銀行から重光公使宛電送された なほ同情會は我財界各方面に義捐金寄附を勸誘してゐるが三井、三菱兩財閥からそれぞれ五萬圓の寄附申込があつた

沖繩に暴風雨

【鹿兒島二十五日發】沖繩大東島方面の低氣壓の爲め同方面各航路全く杜絶二十三日午後から低氣壓は漸次北進同日夜那覇方面では風速二十六米突の暴風雨となり徳之島、大島、久慈方面は風速二十五米

本庄新軍司令官昨夜新任披露宴
旅順昭和園に官民を招待

本庄關東軍司令官の新任披露宴は二十五日午後六時三十分より旅順昭和園に於て盛大に開會された、當日は目下關東長官、滿鐵正副總裁など出張中で臨席を見なかつたが旅順在住の厚東要塞司令官、三浦内務局長、安岡檢察官長、土屋高等法院長、佐野主計總監、中谷警務局長、三宅參謀長、野田工大學長、西山財務部長、伊藤軍醫官、二ノ宮憲兵隊長、又大連よりは十河、大森、竹中滿鐵各理事、辛島民政署長、田中市長、櫻井遞信局長、森本地方法院長、高柳中將、岩井少將、佐藤、山崎、武部滿鐵各次長、小山工專校長、寶性大連、松山滿日兩新聞社長を始めさし朝來雨にもめげず三百餘人に上る多數官民の出席あり

定刻振鈴さともに一同設けの席につくや陸軍中將禮裝の本庄軍司令官は直に起つて軍人らしい歯切のいゝ聲で一場の挨拶を陳べ杯を擧げて來會者一同の健康を祝し之に對し一同を代表して永山旅順市長より簡單に謝辭を述べ再び一同起立新軍司令官の健康を祝して着席それより一同會食時節柄對支諸問題などに關する意見を交へて歡談し七時四十分盛會裡に散會した

無名のグロ君
電氣遊園にお目見得する
面白い因緣附の珍客

◇子供王國の電氣遊園に今度又新しい珍客が來て樂ちやんや坊ちやんにお目見得することになつた小島で採れた無名の蛇で一尺四五寸のが四匹ゐる、メリーゴーラウンドの上、猿君と同じ檻の鄰り溫室である

◇この無名の蛇についてはナンセンスめいたエピソートがある、

◇過日我社後援で露人ルベン氏が旅大間遠泳をやつた時、記事の中にルベン氏が途中で海蛇に襲はれて嚙まれたとあるので日本でも琉球や九州の一部にしかゐない海蛇が大連の近くにゐるのかと云ふことで調べて見たら確にゐることだけは判つた、そして棲息する箇所も判つた

◇そこで早速滿鐵社會施設係では電氣遊園に飼つて置かうといふのでこれを捕獲すべく船を出すやら市場會社に採取方を賴み込むやら百方手をつくしたが一匹も取れない

◇處で滿鐵が海蛇を捕へるといふのがどう間違つたか蛇がほしいのだと傳はつて關東廳海務局の技野技師が小龍山島燈臺新設工事に行つた際蛇がウヨウヨしてゐるので四匹捕へて滿鐵に寄贈した、滿鐵では海蛇ではないが滿洲に蛇は珍しいと云ふので蛇の名を調べた處が書物にもない、專門家に見せると有毒蛇であることは判つたが何と云ふ蛇か判らない、ど うもまむしの一種らしいと云ふ丈で全く類の無い珍しいものである

◇小龍山と云ふのは小さな無人島で俗に蛇島と云はれ昔から蛇が多いとて漁師からも恐れられてゐた處で生物の居ない離れ島に蛇丈がウヨウヨしてゐる、大抵一尺四五寸の所で色は岩に似た保護色である

◇一方海務局では若し有毒だとあれば人夫に防禦の準備がゐると云ふので之又騷いでゐる、何しても名もない種類も判らぬと云ふグロテスク存在である

心臟を射ち貫いて
中年男女の心中
皮商店主と年增藝妓

市内常盤町三九辰巳旅館こと猪股豐彦方では二十四日午後十一時ごろ旅順市忠海町居住職人春日久彌(三一)同妻益子(二七)と稱して止宿した男女の客が二十五日午後一時ごろになつても起きて來ないので不審を抱き、女中松本しづが兩名の居室たる十一號室を訪れてみると一ツ夜具の中に臥つた兩名は頭部を北向けに仰臥し、兩手は虚空を摑み、蒲團の周圍から壁一面に鮮血が流れ出てゐるのに吃驚し家人を呼んだことから騷ぎとなり、急報に接した大連署司法係から吉富警部補が香取醫師、刑事、鑑識係員等を伴つて現場を檢證したが男女共ブローニング一號型拳銃でおのおの左乳下から心臟を貫通、右腕下に拔ける銃創を負ふて、たゞの一發宛で絶命、二發の彈丸は蒲團をつらぬき、その下の疊に留まつてをり先づ男が女の心臟部へ銃口を押しつけて一發の下に射殺して後、男もわれと吾心臟部へ銃口を強壓しながら發射、絶命したもので香取醫師の死體檢察の結果、兇行は廿五日拂曉行はれたものと判明した

不況と持病
中年の愛慾生活の揚句
悲觀、厭世、情死へ？

枕頭に置かれた二通の遺書により夕刊所報の家出男女と判明、即ち男は信濃町九四皮革商春日商店主春日時之助(三一)女は逢坂町貸座敷一力樓方抱酌婦京助こと德島市生れ增田カツ子(二七)と判明、死體檢案の上、男は實弟市内沙河口霞町居住春日圓助へ、女は樓主高桑ノブにそれぞれ引取られたが、兩名の死は遺書のあつた點より見て覺悟の情死であることが確められた

情死した藝妓京助は昨年暮長春料亭南海から大連美濃町山口席へ仕替へ更に去る七月二日逢阪一力樓へ五ケ年々期十五百圓で仕替へをしたもので、情死の相手春日とは昨年暮以來深い馴染となつてをり一力樓へ再仕替へをして以來は殊に情交關係が親密となり、男は今春妻を內地へ還して以來三日にあげず一力樓に登樓して女との逢瀨を唯一の樂しみとし、女も男の許を毎日のやうに訪れては世話女房氣取りで互ひに中年の爛れ切つた愛慾生活に心身を疲れさせてゐたが兩人共に近來めつきり健康がおとろへた上、男は不況で經濟的に逼迫し女は持病の婦人病が昂進したのを悲觀して厭世の揚句情死したものといはれてゐる(寫眞は京助)

兩人の遺書

兩名の遺書中、男のそれは一枚繼紙の長男金正(一三)に當てられ「父がお前に先立つ逆さまごとは許して吳れ、父の骨は内地(和歌山市北片原町)の祖先の許へ送つて吳れ」と認められてあり、女の樓主に宛てた遺書には「仕替へて僅か二ケ月にも足らず死んで行く私を災難と思つてあきらめて下さい」といふ意味が書かれてあつた

無理心中か
一力樓主語る

右に關し京助の抱主高桑ノブは突然の出來事に腕を押へながら左の如く語る

京助は元長春で稼業しその後大連檢番山口席から小秀と名乘つて居り約二ケ月ばかり前々借千六百圓で私方へ仕替して參りました、春日さんには妻女の間に十二歳になる男の子まであるが

たがたつた一人の十一歳になる男の子はあれですがほんとに可愛さうなものです、義兄さんは滅多に私の宅へ來ませんから女との關係は良く知りませんが困つたことになりました

子供が可哀想
男の義妹語る

情死した時之助の義妹に當るエキエさんは驚愕して語る

時之助さんのお父さん時代は店も信濃町の現在の處の向側にあつて手廣くやつてゐたのですが只今はこんなお恥しい次第に一家零落して居りますが飛んでもないことをしでかしてくれました、義兄さんの嫁さんは本年五月に病氣の爲め內地に歸しまし

素行修らぬ爲め妻は昨年その子供を置いて內地に歸つたとの事です、二人は京助が始めて大連檢番より出た日から馴れ染め以來女が私方に仕替しても春日さんは子供を伴れてまでズウと遊びに來て居りました、處が春日さんには各方面に馴染みがあつたらしく京助が私方へ仕替へして來た當時小齒子の女から「京助の裏面には賭博打ちがついてゐるから氣をつけなさい」と云つて電話をかけて來た者がありました、この女も春日さんの馴染さかで京助と戀敵の形となり髮を切つたとか云ふ事も聞いてゐます 京助は二十四日の午前十一時半ごろ家出した切り歸つて來ないので心當りを捜してゐた處でしたが、情死する氣配などは些つともありませんでしたのに男からの無理情死かも知れません、こんな書き置きなどありますけれど之れは京助の筆跡ではありません

老爺の婦人會員

兵庫縣下加西郡飯盛野の田舍に「あめりか新田」がある。四町歩程のアメリカ式農場で主人は宮長新治郎さいふ今年七十七歳のお爺さん。明治の初年米國に渡り、ニューヨーク、フロリダ、マッサチューセッツに四ツの店を持ち、成功者として十幾年前に歸京した人である。米國の店は息子さんに任せてある。宮長氏は日本に歸ると妻(今年三十三歳の若い妻君)を貰ひ、葡萄、桑、椰、柿を植え、鷄二十羽、豚十二頭、兎十三、牛一頭を飼つて居る、別に利益はないが荒地を有利に使用するのがお國の爲めだと云つて居る。日本に歸つてから一兒を儲け當歳の赤んぼがある。面白いのは此お爺さん飯盛野婦人會に會員として立派に名簿にも登錄され、開會毎に手車に乘つてノソリノソリと出かけて行く。

突沖繩鹿兒島縣は素より久慈沖繩間海底線不通久慈鹿兒島間漸く無線連絡を執つてゐるのみ

本讀みたさの盜

神戸葺合署で十六歳の少女泥棒を檢擧した。某書店の店員だが、書物が讀みたくても買はれないので主家の教科書數十冊を竊取した

日本一の白鷺城

姬路の白鷺城は近頃文部省の關野工學博士の調査によつて城廓建築として日本一の折紙をつけられた。此折紙のついた特殊建造物は既に國寶になつて居る獨立式の大天守閣はじめ「菱の門」「にの門」の三つである。他の建造物は連絡して居る特異性と全國唯一の完全な保存物なので全體として國寶に指定される可きものであると云ふ。

一人權蹂躪

南京民治報社長劉某及び一編輯員が二十日の晩、衞戍部の兵に捕へられた。此新聞は平生から當局に對して冷諷熱罵の態度を執り早くから睨まれて居たのであつたが近頃「革命は人の命を革窮するもの」とかいたのが忌諱に觸れたのだ。それにしても約法の人民の權利はどうなつたのだらうか。

外、三十餘回に亘る集金を橫領した。

愈よ檢便を開始
一日上海發便船から
大連港のコレラ豫防策

神戸における英艦カッセイ號における虎疫患者續發に端を發していよいよ關東廳でも上海を虎疫流行地帶と決定、當地海務局では木村檢疫課長これが下準備打合せのため旅順に衞生當局を訪問したが、その結果愈々既報の如く採便檢疫を施行する事に決定した、即ち九月一日以降上海を出港した船舶に對し檢便を開始する事となつた、尚海務局においてはシーズン中臨時醫官二名を增員すると、因に上海大連間定期船を有する大汽では看護婦の雇入れ等下準備に忙殺されてゐる

流行地に指定

【東京二十五日發】內務省は二十六日官報を以て上海呉淞をコレラ流行地と指定するに決定した

リンデイ機今早朝出發

【根室廿五日發】リンデイ大佐は明日天候良ければ午前七時前に出發すると言明した

霞浦着は一時

【東京廿五日發】米大使館入電に依ればリ機の根室出發は明朝七時から八時までの間で霞ケ浦着水は同日午後一時前後の豫定であると

獨逸女鳥人
滿洲里通過

【滿洲里廿五日發】歐亞大陸一周單獨飛行の壯途に在るドイツ一流の空のクインエッツドルフ嬢は二十五日午後一時三十分滿洲里通過ハルビンに向つた

女鳥人不時着

【ハルビン二十五日發】エッツドルフ嬢は海拉爾に不時着陸した、みぎはハルビン飛行場が設備不完全にて夕方着陸困難のため大事を取つたものと見らる、二十六日朝ハルビン着の豫定である

下志津大連間陸軍飛行延期

二十六日太刀洗を經て一路大連へ飛來する豫定であつた千葉縣下志津陸軍飛行學校の偵察機二機は天候不良のため飛行延期となつた旨二十五日午後要塞司令部大連出張所へ入電があつた

エグゴニンの密輸事件公判

第二のベンゾイリン事件として世間の注視を浴びてゐる霧島町一一九精米業鎌野與三平、千代田町三六藥種商師谷捨吉、山縣通り一三三小松茂(四三)西公園町二九四田邊方同上鈴木英二(四三)西通り一八紹介業福田宇三郎、信濃町三の一三五船具商大政喜三郎(三九)の六名に係る價格十五萬圓のエクゴニン密輸麻醉劑取締規則違反事件第一回公判は二十五日午前十一時から地方法院第二號法廷で小田判官係り、井關檢察官干與、關係辯護士列席の上開廷、午前中被告鎌野與三平に對する事實審理あつて正午休憩午後二時再開、被告谷捨吉の事實審理あり、公判を續行し午後四時二十分閉廷した

安樂椅子

隆々たる體塊に油を流したやうな汗を灼熱の太陽に反射さして過激な勞働に從事する苦力諸君の體力にはいつも乍ら內地からの滿洲觀光客が驚異の眼を瞠るところでまた彼等が榮養價の少い非常な粗食にもかゝはらずあの體力を維持することも不思議なことゝ見られてゐる。

……◇……

では彼等苦力が一日どれだけの食糧を攝つてゐるかを苦力供給の元締である福昌華工會社に聞いて見ると、饅頭の原料であるメリケン粉が一、一二九斤、ソーダ〇、〇〇五斤、副食物は豆もやし〇、〇五斤若くは鹽大根〇、〇三斤、調味料の油〇、〇〇一斤、食鹽〇、〇〇二斤とこれだけである。

……◇……

これを金に換算すると一日小洋の廿錢で今の相場で日本金に換算するとたつた十二錢弱にしかならない、これであの偉大な體力を維持してゐるのだからヴィタミンがどうのカロリーがどうのと言つてゐる鮮に蒼白い顏をしてゐるそこらのインテリ諸君は少し考へ直して見たらどうです。

AN—1

曙の鐘 (29)

倉田潮
淺枝次朗畫

マリアの罪（三）

青い月光が舞臺裏のきたない小部屋の窓から青光の三角筒を室内に突きこんでゐた。その三角筒の中にテーブルに顔を埋めて泣くマリアはボンヤリと黒い塊りになつて見えるのだつた。

何時までも彼女は首をあげなかつた。

舞臺ではレビューが初まつたらしく、賑やかな樂につれて、足踏の音が牀を顫はせて來た。時々は拍手につれて淺草風の頓狂な彌次が音樂を截つて響く。しかし、マリアは今もなほ月光の三角筒の中で、テーブルに首を埋めたまゝ動かなかつた。月光のあたらない室の奥には敷布の白い隅と壁のペテロの像とが妙な光に輝いて見えるだけだつた。

突然マリアは月光の中に首をおこして悲しげな低い聲で呟いた。

「私だわ、私が殺したのだわ」

彼女は跪いて神に哀願するやうに兩手を高く空に浮した。顔が錫のやうに青く月光に輝いて見えた。

マリアの父は明治初年に長崎に來たフランスの宣教師だつた。長く日本に布教してゐる中に、人情風俗に通じ、また自由に日本語をあやつることが出來るやうになつたので、フランス大使館が東京に出來た時に、強て布教師をやめて大使館づきの通譯にならねばならなかつた。その時々彼は千葉の海岸に遊覽に行つてゐて、日本人の娘と戀におちてつひに結婚した。妻の父は「氣狂ひ神徒」と云ふ仇名で千葉の海岸村一たいに名を知られた不思議な人間だつた。森の中の破れ堂の中に住んでゐてふせるが、信仰するものが佛であるか神であるか、或は路傍の淫祠であるか誰にも解らなかつた。たゞその豫言だけは非常によくあたつたので、村の人は占者の代りに破れ堂を訪れるものもないではなかつた。また千里眼のやうなこともして、これには「すかしの御」と云ふ名をつけてゐた。夜半に神がかりのやうになつて森の中で「おんべ」を振つてゐたのを通行の人が見て氣絶したと云ふ話もあつた。

その神徒が自分の子か何うか解らないが一人の娘を養つてゐたが、それが後に旅館の女中になり、避暑に來てゐたフランスの通譯と戀におちて結婚したのである。娘はごく普通の女で、氣狂ひ神徒には全く似たところのない女だつた。この娘とフランスの通譯との間に生れた子がマリアなのだつた。つまりマリアは氣狂ひ神徒の孫にあたる譯である。が、マリアを生んで五六年すると其の妻が急に何處へか姿を隱して了つた。氣狂ひ神徒の娘だからふいに氣が狂つて何處へか行つて了つたのだらうと云ふものもあれば、いや若い男をこしらへて一緒に逃げたのだと云ふものもあつた。とにかくフランス人の通譯はマリアと云ふ娘をおいたまゝ妻に逃げられたので、二三年前から家で忠實に立働いてゐた女中を正妻になほして子供のめんどうを見させることにした。しかし、何んなに忠實な女でも繼母は生みの母と同一にはゆかない。マリアの虐待されるのを見兼ねた爲めか、或る日氣狂ひ神徒は門口で遊んでゐたマリアをつれて何處へか姿をかくしてしまつた。搜したが行先が解らない、すると、三年目にその氣狂ひ神徒がマリアをつれて突然村に歸つて來て「男をつくつて逃げたと云ひ傳へられたマリアの母は、實は夫のフランス人と二度目の妻のために殺されたのだ」と村中に云ひふらして歩いた。村人はこれを聞くと神徒とマリアの後から黒山のやうについて來た。神徒は更に村の巡査をも誘ひ、フランス人の家の畑の中に這入つて行つた、そして、神徒が「何處に埋めた」と聞いた時、マリアが默つて指した地點を掘つて見ると、寸分違はず其の下から母の屍體が出て來たのだつた。

フランス人と第二の妻とは其の場で捕へられて、結局二人がマリアの母の生前から戀におちてゐてその戀を貫く爲に或る夜マリアの母を絞殺して裏の畑に埋めたことを自白したのだつた。

マリアは祖父の神徒に殺された母が何處に埋められてゐるかと訊かれた時に神がかりになつた時のやうに殆ど夢中でその地點を指さしたのだつた、長い間祖父と共に木の芽や落ち穗をのみ常食として精進修行の旅を續けて來た彼女には、我れながら怖ろしい一種の直覺が與へられてゐたのである、しかし、もしあの時の地點を知つてゐても默つて云はずにゐたならーーなかつたなら、父も義母もおそらく今なほ幸福に此の世に生きてゐたのではないだらうか。

「あゝ、私だわ、私があの父と義母とを殺したのだわ」

闇の室内に突きさゝつた月光の筒の中で、マリアは身をふるはして悲しげにすゝり泣いた。何時も朗かに明るいマリアの心を時々暗く翳らせるのもこの想念より外のものではないのだつた。

新刊紹介

△婦人公論（九月號）婦人雜誌界を獨自の編輯振りで驚倒せしめ乍ら益々知識階級に讀者層を擴大してゐる婦人公論はいつも乍らの素晴らしい内容の集大成には敬服の他はない、婦人公論ならではみられない論文には（理想的な結婚は何處に求むべきか）吉野作造「現代職業婦人に與ふ」馬場恒吾、社會的根據から（婦人獨身論）石濱知行等の諸氏のは流石に平易で且つ讀みごたへがある。創作面に新分野を提供した（職業婦人を主人公とした短篇）六篇はタイピスト、女教員、看護婦、女工、女中をそれぞれに扱ひ誰讀がでもピンとくる好讀物、新載の長篇小説（女弟子）は森田草平快心の傑作其他の本格的な小説欄は益々さえをみせて來た（子を山に捧ぐ）中野正剛氏夫人の哀悼のことばは、また山に逝つた凡ての人々への慈母の獻辭である、家出した人情大臣の娘、戰爭に父を奪はれた子の手記、共産黨公判傍聽記、夫婦生活禁制十ケ條等の中間讀物、秋のモデスティ、五百圓から參千圓までの住宅設計秋からの健康法等の實益記事滿載し、既に定評があるが斷然水準を拔いたよい雜誌である（東京丸ビル・中央公論社發行・定價五十錢）

けふの放送

大連 JQAK 八月二十六日

▲午後四時野球連絡放送（滿倶對松山高 第一回戰）
▲自午後七時三十分から
▲ニュース
▲英語講座（テキスト第十九頁）大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン合唱（フエスタデルグラノーより、マチヨッキ作）滿鐵音學會演奏部員
▲長唄（浦島）唄吉木敏子、三絃杵屋榮多賀
▲ラヂオドラマ（歸郷）街の小劇場一座、ハインリヒ（大木緑郎）カール（細川愼）一獨逸兵の捕虜（海野汎）ロシアの看守人（峰一）アンナ（水野秋子）放送指揮（山田章）効果（入江汎）
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK 八月二十六日午後七時卅分

▲講演（水底トンネルの話）柳生義郎▲義太夫（伊勢音頭戀寢刃）（大阪より）淨瑠璃竹本錣太夫、三味線鶴澤新左衛門▲浪花節（俠客三日月次郎吉）一心亭辰雄

昭和六年八月二十六日　滿洲日報　（水曜日）　第九千九百七十號　（一）
（明治四十年十一月三日第三種郵便物認可）

滿洲日報　夕刊　八月二十五日

宜昌の支那人暴漢が我海軍集會所を襲撃
留守番を脅迫家宅搜索

【漢口廿四日發】宜昌來電によれば廿三日午前支那人暴漢二十四名が手に〳〵拳銃その他の兇器を携へ我海軍集會所を襲ひ留守番を脅迫して家宅搜索をなしその儘引きあげた、右暴漢は反日會員らしく我當局は即時嚴重抗議中である

水先人を不法監禁

【宜昌二十四日發】反日會は昨日午後五時日清汽船水先案內人を不法監禁し取扱ひ買辦を脅喝して乘船を拒絶したので昨日宜昌發の重慶行雲湯、宜陽兩船は出發不能となつた、斯くて先日來惡化しつゝある排日運動は俄然具體化し暴戾の火蓋を切つた

英擧國一致內閣は五、六週間の短命か
財政案通過せば辭職

【ロンドン廿四日發】擧國一致內閣の組織は與黨及び野黨三派が國家の財政危機を切り拔けるため豫算の均衡を圖るべく等しく持て餘した結果餘儀なくこの擧に出たもので從つてこの擧國內閣の壽命は短命で恐らくイギリスに對する外國の信用を完全に回復するため緊急必要なる財政案の臨時議會通過を可能ならしむるための內閣でその生命は五、六週間であらうと見られてゐる

聯立內閣の陣容
保守、自由兩黨各二名入閣

【ロンドン二十四日發】マクドナルド氏は目下擧國一致內閣の閣員銓衡中なるが、保守黨よりボールドウィン、ネヴィルチエンバーレン氏自由黨よりサミエルホーア、サー・ハーバートサミエル氏の入閣は確實と見らる、なほスノーデン氏及び勞働相ボンフイルド女史は留任するものと見られる

保守黨首聲明

【ロンドン二十四日發】ボールドウィン氏は二十四日夜時局に關し左の聲明書を發表した

擧國一致內閣を組織することゝなつたことは英國財政難局に關し國の內外に在る關係筋に對し安全保障を與へたものである、擧國一致內閣がそのなすべきことを完了した後において議會解散が事情の許す限り早く斷行さるゝものと解さる、國家危機の重大さを思へば政黨政派のこだわりをかなぐり捨て國家のため協力することの義務なるを感ずる

自由黨首聲明

【ロンドン廿四日發】ロイドジョージ氏は二十四日夜病床から聲明書を發表しこの際黨や私的事情に囚はるゝことなく非常時救濟に全國民の協力を求め左の如く強調した

國家こそ總てに先んじ第一に考へらるべきものなり、何事が起り如何なる事情に在るも國家を忘るゝことは許されぬ

辭任する閣僚十名內外

【ロンドン廿四日發】イギリス擧國一致內閣の組織に當り主なる難關とされてゐるのは大藏大臣及び外務大臣の椅子を何人に振當てるかの問題であるが勞働黨が現に下院において二百八十六票の多數を擁してゐると財政政策の緊急に直面してゐるに鑑み保守黨、自由黨とも時局緊急のため現大藏大臣スノーデン氏の居据りに同意するであらうと觀られてゐる、なほ左の諸氏は既に辭表を提出し又は提出せんとしてゐると解せられる

外務大臣ヘンダーソン、商務大臣グラハム、保健大臣グリーンウッド、海軍大臣アレキサンダー、工部大臣ランスベリー、國爾尚書ジョンストン、農務大臣アヂソン、スコットランド大臣アダムソン

右諸氏は今回の赤字補塡に關する節約案に對し最も強硬に反對した人々である

保守黨も欣然入閣

【ロンドン二十四日發】本日午前バッキンガム宮殿で皇帝陛下に拜謁せる保守黨首領ボールドウイン氏は陛下に對し現下の難局を切り拔けるため暫定的意味で擧國一致內閣を勞働黨內閣首相をして組織せしめらるれば欣然として參加すべしとの意味を言上せりと解せらる

財政難局を打開
擧國一致內閣の目的

【ロンドン二十四日發】イギリス首相官邸は本日午後左のステートメントを發表した

目下マクドナルド氏が組織中の新內閣の目的は國家の緊急事項を處理するにあり、普通の意味における所謂聯立內閣ではない、新內閣より議會に提案されんとする緊急案は非常に多額の經費削減と豫算均衡上新なる資金を供給せんとするものである、なほ政府はポンド貨の信用維持に必要なる凡ゆる手段を執る決心である

九月八日議會召集

【ロンドン二十四日發】マクドナルド氏を首班とする擧國一致內閣成立せば同政府は財政緊急案を附議するため多分九月八日議會を召集すべしと首相官邸より發表された

勞働組合は政府支持打切

【ロンドン廿四日發】イギリス勞働組合總評議會書記長兼國際勞働組合聯合會長シトライン氏は新擧國一致後繼內閣に對する勞働組合の態度につき

組合の政府支持方針は勞働黨內閣總辭職と共に拋棄され勞働黨全國執行委員會勞働組合總會が新方策を決する迄組合は今後も政府支持をなすものでない

と發表した

首相官邸發表

【ロンドン二十四日發】首相官邸は午後四時イギリス內閣總辭職につき

マクドナルド首相は本日午後閣員全員の辭表を捧呈した、陛下はラムゼー・マクドナルド氏に對し擧國的政府を組織すべく努力すべしと御下命あらせられた マクドナルド氏は御下命により保守黨首領ボールドウイン氏、自由黨代表サミエル氏と目下會商し後繼內閣につき努力中

と發表した

奉天視察の滿鐵正副總裁

【寫眞】（右上）廿四日夜奉天ヤマトホテルにおける正副總裁の各國要人招宴、岐阜提灯を吊つて日本趣味を味ふ（右下）日清日露兩役に活躍した志士を菩提所妙心寺に弔ふ、內田總裁は七十餘烈士の金色の位牌に感慨深げに禮拜しその中物故した勇士の黑文字の位牌を見て「紅いうちは生きてゐる人だね、色が變れば駄目なのかなア」（左上）城內最大のデパート吉順絲のルーフで城內を展望鎌田囑託の說明を聽く（左下）城內博物館および四庫全書等を觀察した、この方面に造詣ふかき兩總裁は隈なく巡覽し銅版にされた圓明園の全圖は北京にあつた內田總裁の興味を唆つた模樣清の大禮、香妃など肖像畫の特色ある筆致を賞贊し光緒帝は老過ぎてゐるなど諧謔混りの批評を下して喜ばせ陳列室の正面に掲げた「正大公明」の扁額をみて「民政黨の綱領のやうだ」で一同大笑ひ【西村特派員撮影】

法權交涉は再開難
英公使は强硬に反對
日本も積極的には進めぬ方針

【南京特電廿四日發】ワシントンで進められつゝあつた米支法權交涉は伍朝樞氏の辭職で南京に移さるる事になり一件書類も米公使館に到着したので來月中旬ジョンソン氏の來滬とともに王正廷氏との間に交涉繼續される筈だが**ランプソン英公使はソルバーン事件解決までは法權交涉は再開に應ぜず**と強硬に主張し、日本も排日運動、中村事件に**支那側の誠意を認めざる限り積極的法權交涉に入らぬ**筈だから支那側の期待する如く九月から一齊に開始されるや否やは全く支那側の態度一つにかゝつてゐる

共産主義と社會民主主義
室伏高信

1

犬養さんが京都の政友會大會でのべたところは相當世間の注目をひいたやうである。こゝに共産主義をも含む無產階級運動に對する支配者階級の立場についての「新しいもの」が示されてゐると見られたからである。犬養さん並にその率ゐる（或は率ゐられる）政友會の眞の意圖がどこにあつたかは私の知らないところである。――これによつて政友會の態度の變革を示してゐるのか、或は單に政府を攻撃するための手段であるとしか過ぎないかどうかについては

2

犬養さんは今日の日本の社會運動を共産主義と社會民主主義との二つに分けてゐる。そして前者を危險なものとしながら、後者を當然のこと「相ともに討論の餘地あるもの」となしてゐる。

この見方は必ずしも誤つてゐるとばかりはいへないであらう。日本にはたしかにウルトラ・ラヂカルの一派があり、それは一つの宗派的情熱をもつて行はれ、また多くの青年たちに訴へてゐる。日本の思想界は今日では殆ど全部この一派の掌握するところであるといつてよく、ウルトラからウルトラへと、共産主義的思想の發展し、擴大してゆくことは驚くべきほどであり、英國のハアコオトが昔英國の大學生は凡て社會主義者であるといつた言葉にならつていふなら、日本の大學生は凡て共産主義者であるといつてもよいのである。

3

他の一方には社會民衆黨と勞働總同盟とによつて代表される社會民主主義の一派があり、この一派は百パーセントの議會主義と並に階級協調主義とを奉じたしかに資本家と「相ともに討論の餘地あるもの」であるに相違ない。社會民衆黨こそは正しくブルジョア第三黨としての名を恥かしめない存在であるといつてもよいのである。

4

だが、これはひとり、犬養さんの見方だけではないが、こうした分類――無產運動を共産、社民の二大陣營に分類することが今日の現實と一致してゐるかどうか。

公式主義の打破といふことが勞農大衆黨出現の意義であり、獨りこの政黨內に公式打破が行はれてゐるだけではなしに、社民黨內にもこの種の空氣が漸次に成熟しつゝあることを考へるならば、日本の無產運動が新しい意味においての現實的方向をとりつゝあることこそ最も注目に價するものであつて、政治家も、國民も、今日では、如何なる公式主義よりも、この種の新しい發展的現實主義について先づ充分の注意を拂ふべきではなかつたか。

共匪粉碎企圖

【上海特電二十五日發】南昌來電によると、蔣介石氏は夫人同伴軍艦で二十三日夜南昌着多數の出迎へを受けて上陸直に自動車で百花洲の行營に赴き、魯滌平氏から其後の討伐狀況につき報告を受けた 尚蔣介石氏今回の出動は前線部隊を督勵し盛返しつゝある共匪を一氣に粉碎すると共に占領區域の整理のためだと

社員會委員會主查互選

滿鐵社員會の「滿鐵を中心とした滿蒙國策の確立」に關する特別調查委員會各分科小委員會主查を互選中の處愈々候補各三名づゝを選出したので一兩日中にその內から各一名の主查を選定、更に分科委員會主查五名を互選、山岡幹事長の歸社を待つて主查會議を開催、諸般の打合を爲し愈々事業に着手する筈、尚山岡幹事長は豫定より遲れ多分二十八日歸連すると

滿鐵の語學檢定
受驗者例年より增加

滿鐵の語學檢定試驗は九月六日豫備試驗を施行することゝなつてゐるので募集中の處應募者は

中國語　特等四十一名、一等百二十三名、二等三百十七名、三等九百三十二名、四等四百八十七名、合計千九百名

ロシア語　特等八名、一等二十九名、二等三十名、三等百十九名、合計百八十名

日語　特等二十七名、一等八十三名、二等百六十八名、三等五百十名、合計七百八十八名

で應募者總數二千八百七十四名、昨年に比して二十八名の增加である、然し本年は滿鐵社員中專門學校出身者に對しては人事課で二三等程度の中國語の試驗を別に課することゝなり一般檢定試驗を受ける必要がなくなつたので本年は應募者が非常な增加だといへる、ロシア語應募者も三名の增加、日語も亦百七十名の增加となつてゐるも日語受驗者は大部分中國人だがロシア人も三名ゐる、尚受驗場は各地實業補習學校で吉林は小學校、ハルビンは滿鐵事務所、北平、チチハルは公所で行ふ、因に本試驗は九月下旬か十月上旬だと

支那の對日態度
根本的に改めることが必要
柴山張氏顧問語る

北京に滯在中であつた柴山顧問は廿三日歸奉したが語る

張學良氏の病氣は既に全快し益々元氣を恢復しつゝあるがしかしまだ一切の政務は執つてゐない、例の石友三軍の反蔣動亂も終熄まで少しも知らない程であつた、そして張學銘、萬福麟、戢翼翹の諸氏が一切の政務を辦理してゐる、北支時局も石軍の平定で只今では小康といふ處である、閻錫山氏の山西入りは乃父の病氣見舞といはれてゐるが閻氏が大連において眺めた山西の舊部下と山西に行つて見た事實の舊部下とがその觀察において餘りに差異があつた事に失望してゐるらしい、近頃日支間に頻發する不祥事件に關しては張學良氏も非常に憂慮してゐる、だが日支間の諸問題は支那側の對日態度を根本的に革めなければその解決は困難であらう【奉天電話】

柴山顧問赴旅

北平より歸奉した張學良氏顧問柴山少佐は廿五日旅順に赴き新任軍司令官本庄中將を訪問する筈で同氏の赴旅は中村大尉事件に關する諒解運動として注目されてゐる、尚同少佐は來月上旬再び赴平の豫定である【奉天電話】

臨時樞府本會議御親臨

【東京二十五日發】那須御用邸に御避暑中の天皇陛下には二十六日の臨時樞府本會議御親臨のため二十五日午後一時半御用邸御出門二時黑磯驛御發五時半原宿御着あらせらる

軍縮主席全權は
松平駐英大使に內定

【東京二十五日發】軍縮會議主席全權は松平駐英大使に內定し二十七日の閣議で正式決定を見るであらう【寫眞は松平氏】

我軍備報告聯盟總會へ發送

【東京二十五日發】國際聯盟に報告すべき日本の軍備現狀報告は既に整理を終了したので二十四日午前ジュネーヴ聯盟總會帝國代表宛逓送された、ジュネーヴ着は九月十日前後の見込で內容の公表は各國代表より聯盟事務局に提出を了した後ジュネーヴと東京で一齊に行はれる筈

北方大會議あす開會

【北平二十五日發】山西省主席徐永昌、楊愛源、商震の三氏は午前九時太原から來平之で北方將領の顏ぶれ揃ひ大會議は本日午後か明日晩から開會されん

蛇角

英國勞働黨內閣總辭職、マック首相改めて擧國一致內閣を作る、保守黨のボールドウィン、自由黨のサミユル兩君難局切拔けの爲め欣然入閣。愛國と俠氣。

◇

勞働組合を支持する閣僚は去る勞働黨よりも國家が大事といふ首相の決心は悲壯。ボールドウィン君も政黨政派は問題でないといふ。ロイドジョージ君も病床から如何なる事情にありても國家を忘るゝは許さぬと叫んで居る。此處が英國政治家の眞骨頭か。

◇

閻錫山はお經を讀みたいと云ふ。馮玉祥は讀書習字。クリスチャンゼネラルだけにさすがにお經とは云はぬ。

◇

馮玉祥が租界や外國に行くのはいやだと云ふ。吳佩孚が丁度そんな事を云つて居た。吳を飜した馮だ。どつちも意地つ張りは似て居る。その吳佩孚、孚威將軍の味が忘られず、近頃婆婆氣を出して三民主義に民智民德を加へて特癖の五民主義だと威張つて居る。人氣を取る積りで却つて笑はれて居る。

◇

中華民國水災同情會が出來た。別に人災同情會が必要なのだが、此方は誰も云ひ出さぬ。民衆の利害から見ると同じことだが、一は[illegible]、一は干渉。わかつた樣なわからぬ理窟。

本庄軍司令官巡視日割

本庄新軍司令官は左記日程にて板垣高級參謀外石原參謀有富副官同伴初度巡視を行ふ豫定である

▲九月七日午前七時廿五分旅順發同八時四十五分大連着、同九時大連發十二時五十分大石橋着泊 ▲八日午前七時四十五分大石橋發同八時二十八分海城着、同日午後一時二十八分海城發同二時四分鞍山着一泊 ▲九日午後二時五分鞍山發同三時十二分蘇家屯着、同三時四十五分蘇家屯發同六時十一分連山關着一泊 ▲十日午前七時十六分連山關發午後一時奉天着一泊 ▲十一日午前十一時三十分奉天發午後一時三分鐵嶺着一泊 ▲十二日午前八時十八分鐵嶺發同十一時四十四分公主嶺着一泊 ▲十三日午前十一時四十六分公主嶺發午後一時長春着一泊 ▲十五日午前八時三十分長春發午後一時二十分奉天着一泊 ▲十六日午後一時二十六分奉天發同二時二十一分遼陽着二泊 ▲十八日午後二時二十六分遼陽發同八時大連着、同八時十分大連發同九時三十分旅順官邸着

滿鐵辭令（八月廿五日）

總務部調查課事務囑託　イワン・グメミューク
同　山下義雄
同　大西清
囑託を免ず（各通）

人事

▲貝瀨謹吾氏（前滿鐵社員）　廿五日入港うらる丸で歸連
▲上野善清氏（關東廳警部）　同上
▲日笠芳太郎氏（本社囑託）　同上
▲由良貞雄氏（航空少佐）　同上
▲恩田明氏（一中敎諭）　同上
▲田中稔氏（貔子窩民政署長）　同上
▲白神磊三氏（土木業）　廿五日下り機にて平壤より歸連

東亞の謎 (69)
國枝史郎　插畫　伊藤順三

魔都の陰謀（四）

「といふ顔付には見えないがね」

五十を一つ二つ越してゐるだらうか、それでゐて途方もなく肥えてゐて、首などまるで牡牛のやうであり、ダブ〳〵と垂れた頬など、薄氣味惡い程豐であり、手首なども圓々と脂肪づいてゐて、骨などは何處にも無ささうである。で朱仁卿といふ人間は、一見すると極めて溫厚な、人格ある紳商に見えるのであつたが、面と向つて話してゐるうち中、めつたに相手を正視せず、正視した瞬間に眼の光が、嫌に障る程鋭いのさが、この人間を一筋縄でいかない、したゝか者だといふことを、見る人に證明するのであつた。

「大物過ぎて手に餘るつて」

「と爲ると何ういふ娘つ子かな。……まさか伯爵でも……」

「そいつ〳〵、それなんですよ」

「伯爵？　華族？　アッハハハ、華族にもいろ〳〵ありましてな」

「信用して下さい、本物でさあ」

「で、處女でござんすかな」

「勿論のことで、正眞正銘の」

「いやー、こいつは大物だ」

「で、貴郎のサロンの方でね」

「心得ました。引受けませう」

「ご注意迄に申しますが、萬と下がつちやア不可ませんぜ」

「なに、萬ですつて？　途方もない話だ」

「玉を見ないから然ういふので。……それからもう一つご注意まで」

「一體何んですな、顔付とは？」

武村はパチ〳〵とまばたきをした。

「なにさ、素敵もない儲け話つてやつを、持ち込んで來たらしい顔付だと、先刻こうして云つた迄さ」

「アール穏れ、可い觀察だ」

武村は笑つて頷いて見せた。

「ひとつお力を借りませう」

「一通り話して見なさるがいゝ」

「貴郎の方の領分なので」

「はてね、領分？　私の領分？」

「ペッピンさんの話でさあ」

「ほう、さようか、それは〳〵……が、それなら貴郎にしたところが、赤の他人ぢやアない筈で」

「大物過ぎて駄目なんでさあ」

「白人かね、それとも御國の…」

「そいつ〳〵、御國の方で」

「今も云つたらぢやア貴郎の領分だ」

「豫じめ申し上げて置きますがね、上海あたりの金持や、北方の軍閥の巨頭なんていふ、そんなケチ臭い連中なんかへ、賣り込んで戴いちやア困りますので」

「まあ、武村さん待つて下さい。大變元氣のいゝ話になつたが、一體そりやア本當の話なので？」

「何んですい、莫迦な、茶化しちやアいけない、本當も本當掛値なしの話だ」

「相手は一體何物ですかな？」

併し武村は此處で考へた。

（眞相を明かしちやア駄目だらう。却て二の足を踏むかもしれない）

で彼は腕を拍きながら云つた。

「兎に角貴郎にお渡しします。……本人をお見せしてから相談しませう」

食糧品を滿載した汽船を漢口へ
滿鐵の水害救濟案

武漢地方空前の大水害は日一日とその慘狀を深刻にし被害狀態は益々重大化しつゝあるので畏くも我皇室におかせられては列國元首に率先せられて御内帑より救濟金を御下賜あらせられ之に感激せる我朝野は大々的に救濟運動を起し大連においても日華兩國有力者の發起で救濟義捐金の募集を開始したが滿鐵においても畏き聖旨に副ひ奉るべく目下具體的に救濟計畫を進めてゐるが被害地方が極度の物資難に惱んでゐる現狀に鑑み義捐金よりは物資を送るのが效果的であらうとの意見が有力なので或は汽船を一艘チャーターしてメリケン粉その他の食糧品を滿載して漢口に送ることになるかも知れない樣で目下滿鐵當事者において研究中である

長江筋の水害調査
罹災民三千四百萬人 國民政府發表

【南京二十四日發】長江筋水害による被害は調査の進むにつれて愈々増大しつゝあるが國民政府は廿四日迄に判明せる被害狀況につき左の如く公式發表をなした

一、被害地は四川、陝西、湖南、湖北、江西、安徽、江蘇の七省に跨がりこの縣數百四十九縣
二、被害人口三千四百六十萬人
三、被害耕地面積二十二萬頃（我國の約百三十八萬町歩）
四、救濟を要する貧困細民約一千萬人
五、損害見込額約二十億元
六、救濟に要する費用最低見積り三億六七千萬元

であるが今後の調査は更に増加するものと見られてゐる

輸入附加税と減俸で救濟
國民政府要人ら提唱

【南京二十四日發】國民政府の水害救濟最低額二億七千六百萬元は國民政府國庫收入の約一年分に當り内外債共困難なので大正九年北支一帶に於ける饑饉の例に倣ひ輸出入税に向ふ五年乃至七年間五分乃至七分の附加税を課しまた地方政府の負擔としては附加税の外官公吏の強制減俸により寄附させんとの案國民政府要人間に唱へられてゐる

初秋の行樂「金州の苹果デー」
來る卅日の日曜日に

本社主催の金州苹果デーは來る三十日に延期したが、金州側では特に民政署の好意で響水寺の林間を解放され、南山上には天幕を設け滿茶の接待あり、驛にも赤湯茶の接待に休所が設けられるほか、各農園では新鮮な苹果を正味一貫目金四十錢にて特賣するといふ勉強振りである、又當日は驛前から滿電バスと百二十餘臺の馬車、十數臺のタクシーが左の料金で一行のために交通の便を計ることにな

場所	自動車	馬車
金州城内（片道/往復）	四〇／七〇	一五
地獄極樂（同）	五〇／八〇	二〇
三崎山（同）	七〇／九〇	三〇
南山（同）	四〇／七〇	一〇
八里庄（同）	四〇／七〇	一一
三烈士遺地（片道）	一	二〇
響水寺（片道/往復）	一一	一八〇／二〇〇
朝陽寺（同）		六〇／九〇
乃木中尉の墓（同）		二〇／三〇
金州城内より 南山 片道		二〇
三崎山 同		一五
地獄極樂 片道		一〇
三烈士遺地 同		一〇

會券は「一般」はツーリストビウロウ、本社受附及び本社の各販賣店「バス所持者」は滿鐵營業課宣傳係と本社受附で取扱つてゐる、利用して未だ申込んでない方は至急申込まれたい

第三行程を飛ぶリ大佐機　ノースヘブンからオッタワへ向ふ

興安嶺に初雪
北滿の冷氣

【ハルビン特電廿四日發】秋立つた北滿は最近めつきり氣溫低下し廿二、廿三の兩日朝は攝氏十三度まで降下し、興安嶺には今年始めての降雪をみた、數日前まで日中三十度前後の暑さだつたので涼しさが急に身に染み、露人中には冬外套を着出したものもある

警官練習生來る

巡査の卵、四十名が上野警察教官に引率されて廿五日入港うらる丸で來連したが、上野教官は語る

今度は九十二回目です何と云つても長野、茨城、宮城、福島、栃木の五縣から千七百名のうち選りに選つたんです、仲々秀才が居りますよ、年長は三十歳が二人、大體は廿三歳から廿五六歳、大學出身二名、中等學校卒業生半數と云ふ何れも生活戰線の勝利者のみです。

一同は上陸と共に水上署に少憩直にバスで旅順に向つた【寫眞は一行】

強盜棍棒を振つて母娘に瀕死の重傷
今曉、長春の滿鐵敷島寮で兇行 内情に明るい犯人

二十五日午前二時二十分ごろ滿鐵獨身者宿舍敷島寮々員岸定二郎より敷島寮炊事人室に「只今殺人事件が演ぜられた」との屆出でに接し長春警察署では時を移さず現場に急行檢證したるに被害者は炊事請負人の同盟キク（四□）同人長女キヨ子（一七）の兩人で犯人は午前一時三十分ごろ表口ドアの金網を刃物で切り破り内側の掛金を外して闖入し熟睡中の被害者キクを先づ二尺餘の棍棒で頭部に瀕死の重傷を負はしめ、なほ右手その他を負傷せしめ更にキヨ子の頭頂部に打撲傷を負はせ兩名が昏倒するのを見すまし奥の間にある箪笥をあけ金品を強奪の上逃走したことが判つた、現場には遺留品は勿論指紋足跡も殘さざる用意周到の遣り口であるが警察では周圍の事情から内情を知れるものゝ如く觀測して極力犯人の搜索に努めてゐる尚犯人は二十四五歳位のもので一名と目されて居る

被害者二名は滿鐵醫院に入院手當中であるがキクは生命望みなくキヨ子は助かるだらうと因に被害者は東京市淺草區山ノ宿十二、當時長春西三條通り敷島寮炊事請負人でキクは一昨年七月夫と死別し娘二人で至極評判もよくキヨ子は長春女學校四年生として通學中のもので頗る美人である【長春電話】

昌圖襲撃の馬賊と對峙
開原から應援隊急行

廿三日夜十時ごろ昌圖附屬地を去る東北方約十町の部落楊家口に約六十名の馬賊が襲來し更に附屬地を襲ふべく計畫してゐるとの報があつたので開原警察署よりも八名の警官が輕機關銃を攜へ急行し昌圖分遣守備兵と協力警戒中のところ賊は廿四日朝に至り行動を起し數名の斥候を附屬地内に潜入せしめたが我守備兵に發見されて逃走した、賊團は依然として楊家口を遠却せず夜に入るを待つて大擧附屬地を襲撃する形勢が見えたので更に開原署より十三名、守備隊より下士以下十七名の應援を得て警戒を嚴重にし賊團と對峙中である【昌圖電話】

苦力頭を人質に
大孤山から

撫順の人質事件の噂消えやらぬ時又もや三浦洋七こと白川組大孤山東側砂利採取所苦力頭張某（四□）は廿五日午前六時頃七名からなる匪賊のため人質として拉致される折柄七時勤務の鐵鑛所工作課員島田女七氏が目撃し直に會社電話でその旨を警察と守備隊に告げたるも

潜航舵を失つて
北極に向ひノ號難航

【ノーチラス號にてウイルキンス大尉廿三日發】ノ號は暴風雪と闘ひ氷塊を避けつゝ二十日夜來約二百哩前進、今や北緯より五百哩の地點にあり、天候その他の條件さへのび次第潜航探檢を行ふべく手配中本日更に一つの困難に遭遇した、それは潜航舵が紛失したことで、二十二日夜おそく潜水夫クリレイを降し數分間檢査せしめたがそれによると潜航舵は二つとも紛失してゐた、潜水夫クリレイは語る、

北極の海に潜入することはそれ程恐ろしいことではない。たゞ氷塊にあたることが危險だ【本社特電】

兒童水上記録會の參加規定

關東廳體育研究所では來る三十一日午後一時から大連運動場プールに於て第三回小學兒童水上記録會を開催することゝなつたが參加規定左の如し

◆申込期日　八月二十八日限り
◆申込場所　大連運動場事務所
◆競技種目　尋男三、四年自由型五十米平泳五十米尋男五六年自由型五十米、百米、平泳百米、二百米、尋女三、四年自由型五十米、平泳五十米、尋女五、六年自由型五十米、平泳五十米、高男自由型五十米、百米、平泳百米、二百米、背泳九十米、高女自由型五十米、百米、平泳五十米、尋五六年以上、跳込（一米、三米）各校對抗リレー二百米（尋男女、高男女）

小鳥飛込み不時着
最初の椿事

【平壤特電廿四日發】二十四日午前七時平壤飛行第六聯隊第六中隊替地少尉が甲式戰鬪機に搭乘戰鬪演習のため離陸約百メートルの空中に上昇した際氣化器の中に小鳥が飛び込んだ爲めプロペラが停止狀態になつたので同少尉は直に飛行場附近の東大院里の畑の中に不時着陸し機體は大破したが搭乘者には幸ひなる事を得たが小鳥が氣化器の中に入つて事故を起したことは日本航空界始まつての最初の出來事である

中央土地に報酬の請求訴訟

【東京特電廿四日發】大連中央土地株式會社取締役田村啓三氏は東京市麻布區我善坊町島崎一勝辯護士から報酬手當金三千六百圓不拂につき二十四日東京地方裁判所へ請求訴訟を提起された

藝妓と牒し合せ遺書して家出す
情死せぬかと捜査中

市内信濃町九四春日時之助（二□）は廿四日午前十時ごろ自殺する旨の遺書を殘して家出し行方不明となつたので市内霞町三三春日圓助氏より搜査願ひがあつたが一方市内逢坂町一二一貸座敷業一力樓抱へ藝妓長助こと増田カツ子（二□）も同日觀前記春日方に赴くと稱して外出したまゝ行方不明となり兩名情死の虞があるので樓主よりの屆出により目下市内各署では手配して捜査中

金券制度愈よ廢止
勞農鐵道

從來歐亞連絡旅客に對しソウエートロシヤにては最低生活費一日七留五十哥を要求してゐたが、該問題は去る九月中旬の歐亞連絡旅客會議において果然問題となり各國代表より猛烈な反對意見をソウエート側に表示したゝめ同國代表は歸國後關係者と種々相談の結果いよいよ最低生活費の要求はこれを廢止することゝなつた、從つて今後の歐亞連絡旅客は食堂車の食券買入はもとより車外にての買込も自由になつたわけで今後は從前の不愉快かつ不經濟な旅から救はれることゝなつた

天氣圖だけで一氣に飛ぶ
下志津大連間直航飛行演習 けふ陸上準備員來る

下志津大連間直航飛行演習は既報の如く廿六日決行されるが、これより由比直雄航空少佐外三名が廿五日入港うらる丸で來連した、由比少佐は語る

下志津としては大連に來るのは初めてです、平壤までは來た事があります今度の飛行の特異性とも見るべきはいつもなら各地の天氣通報を得てそれに頼つて飛ぶのですが今度は單に天氣圖を見てよからうと思つたら一氣に飛んでしまふので極く平易な氣持で飛行しようといふので極めて簡易にやらうと云ふのですそれに今一つは今日迄は少し遠いところへの飛行演習には老練な古い人が飛びましたが今度は新しい若手にやらそうと云ふので航空官も大尉一名他三名は皆中尉で新進揃ひです、豫定としては廿六日來航してなか一日は機體の點檢を行ひ廿八日出發になつてます、何れにしても天氣圖で好いと判斷したら飛んで來るんです大體は一直線に來るのですが給油の關係で太刀洗、平壤に寄つてガソリンを積む事になつてます飛行時間は十四時間のあるうちに飛んでしまふといふのですからどうしても午後八時迄には到着しなくてはなりますまい、使用機は陸軍の優秀機八八式、偵察機です、最近軍の飛機がしきりにこちらに飛んで來るのに奇異な感じを抱く人もあるでせうが大した意味はなく丁度好い着陸地があつて給油に便利だからです【寫眞は由比少佐】

福岡へ一日連絡
九月から航空時間改正

大連東京間の定期航空便發着時刻は從來の上り大連福岡間一日連絡を改正され六月一日以降二日連絡となつたが再び改正され來る九月一日より左記の如く從前に復歸し上り大連、福岡間は一日航程となつた

上り便

地	時刻
大連發	午前六時五十分
平壤着	午前十時十分
平壤發	午前十時廿分
京城着	午前十一時卅分
京城發	午前十一時五十分
蔚山着	午後一時五十分
蔚山發	午後二時
福岡着	午後三時五十分
福岡發	午前九時
大阪着	正午
大阪發	午後零時三十分
東京着	午後二時五十分

下り便

地	時刻
東京發	午前七時三十分
大阪着	午前十時二十分
大阪發	午前十時四十分
福岡着	午後一時十分
福岡發	午後一時二十分
蔚山着	午後三時十分
蔚山發	午後三時二十分
京城着	午後五時二十分
京城發	午前八時三十分
平壤着	午前九時四十分
平壤發	午前十時
大連着	午前十一時三十分

この結果上り客は福岡、大阪間の夜行列車を利用する時二日目即ち大連發の翌夕刻には東京へ到着するも郵便物は午前四時五十分までに航空郵便物專用函へ投函されたものゝ外は翌日廻りとなる内に東京飛行場は所澤より羽田に移轉されたので東京市内は一層便利になつた

神戸の英船虎疫續發
大連港の防疫

た譯である

神戸における英國汽船カッセイ號乘組員の眞性虎疫患者發生と共に假然仕出港上海は虎疫流行圏内に入り當地海務局でも愈々檢疫を開始する事となりこれが下準備のため二十五日木村檢疫課長旅順に關東廳を訪問した一方神戸よりの情報によるとその後カッセイ號乘組員中採便檢鏡の結果英人二名（二等運轉士、舵夫）印度人三名計五名の保菌者並に印度人ボーイ一名同水夫（便所掃除人）の二名の新患者を發見したと

藝妓上りが置屋で盜む

去る十七日夜市内大山通七七番地藝妓置屋滿乃屋こと大野セイ方で翡翠指輪百五十圓、ダイヤ入指輪百三十圓の盜難事件あり大連署で犯人捜査中贓品の入質から足がつき市内聖德街三丁目二十二番地無職和田ツキ（二□）を指名犯人として二十四日連鎖街街頭で和田刑事が逮捕した、ツキは昨年春まで大連檢番濱速屋で藝妓稼業中、前借を踏み倒して情夫と内縁關係を結んだが、最近男の失業から生活に苦み惡事を働いた旨を自白した

エ孃チタへ

【イルクック二十四日發】訪日飛行の途にあるドイツ女流飛行家エツドルフ孃は二十四日午後四時三十二分（イルクック時間）當地を出發チタに向つた

娘を連れ家出

市内京町三三小賀友一方小川滿智妻ツキ子（三□）は廿四日午後五時ころ長女フキ子（九つ）を伴つて家出したまゝ行方不明となつたので夫滿智は二十五日朝沙河口署へ捜査願を出した

阿片を嚥下

市内北大山通四番地秋田商會雇人解雲貴（二四）は二十四日午後八時自宅で阿片を嚥下自殺を圖つたが家人に發見され普愛病院に收容重態である原因は最近友人から小洋百圓を借り返濟に窮してこの始末に及んだものである

天氣豫報　廿六日
南東の風（曇）驟雨模樣

各地溫度

	廿五日午前十一時	二十四日最高
大連	二三、八	二四、八
旅順	二三、〇	二六、一
營口	二三、三	二四、五
奉天	二三、三	二五、〇
長春	二一、〇	二三、三

滿潮（午前九時十五分　午後九時四十分）
干潮（午前二時十分　午後四時五分）

けふの小洋相場（正午）
今百圓は二五七圓六五錢

暗流阿修羅館 (166)

生田蝶介

挿畫　藤井耕造

啞少年(十一)

遠山左衛門は何處をどうして手に入れたものか、將軍の一命を危ふく失はうとした奇怪な蚊遣香の一つを持つて來たのである。

そして、いま少年を呼んで、これに火を點けさせた。

少年は命ぜられるまゝに火を切つて、その香の一端に點けた。

煙はやがて、うすく〳〵とのぼりはじめた。

それを机の脇において、一寸隔をやつたが、いままで見てゐた書類を押しやつて、あらためて少年の方へ向いた。

「まあ坐りなさい」

「はい」

少年は其處に坐つた。

「話せるやうになつてよかつた」

「殿樣のお優しいおもてなしで、このやうに聲をさりもどすことが出來ました」

「すつかり以前どほりになつたのか」

「どうなりましたのか少しも辨へません。氣がついて見ると、それから三日目の朝、あの非人小屋の前に寢てゐたのでございました。そして口がきけなくなつたのでございます。まだ薄暗いうちに小屋の人に見つけられて、いろいろと問はれたのですが、どうしても聲が出ず、自分で不思議でしかたがないのです。しばらく泣けて泣けてならなかつたのです。そのうちに小屋頭も出て來て、この小僧は口が利けねえ、何處から來たんだかもわからねえが、見りや素直さうない子だ。可哀想だから當分小屋に置いてやれ。と云つてくれました。秘さても事情がわかりません。事情のわからない者同志、わけもわからず小屋において貰つたのでございます」

「何でも話せるやうになりました」

「それはよかつた」

左衛門は滿足氣に、もう一度云つて

「其方の名は何というか」

さ訊いたが、少年は左衛門の顔をまじ〳〵と見ては目を膝の上に落して何か云ひかけては止した。

左衛門の口邊に笑がうかんだ。

「私が當てゝ見ようか」

少年は一寸目を丸くしたが

「殿樣は御奉行樣です」

「奉行だから、何らかも知つてるといふのか」

少年は頷いた。

「では當てもつまらぬな」

「つまらなかありません」

「さうか、なら當て見よう、六本木の立花の丁稚鶴吉。どうだ、それに相違ないであらう。次手に年も當てゝ見よう。十七。な」

「はい」

鶴吉は眉を蹙らした。

「もう、かれこれ半月ほども前のことゝ思ひます、一と雨さつと降つてすぎた夕ぐれ時、不思議と人通りが止切れてしまひました。お内儀さんは澁谷の親類へお寄すぎから、今年三つの坊ちやんをつれて行つたまゝ、まだ歸つて來ない

多分さつきの雨に降りこめられたのだらうから、もうおつゝけ戻つて來るだらう。私はその間に一寸洗湯に行つてくる。店を賴んだぞと云つて親方は出て行つたのでございます。私は店の行燈に明りをいれて、そこいらをぼつぼつ片附けて居ると一人の女の人が……」

「何、女?」

「はい、女でございます。私女の年はわかりませんが　二十歳前後かと思はれます」

「ふうむ」

「あの、弓張が一つお願ひしたいのですが。はい、どのやうな弓張で。それでは圖をひいて見ませうと紙をもつて來て下さい。さいふので、硯箱をもつて、その女の人の近くに來て、墨を磨つてゐたとまでは知つて居りますが……」

「あとは氣が遠くなつたといふのか」

右太衛門來滿說　準備交渉中

市川右太衛門プロダクションにては既報の如く同プロ創立以來の大作品として志波西果監督、市川右太衛門主演にて滿洲を背景させる大馬賊劇を撮影すべく數ケ月前より準備を進めつゝあるが、更に神楼川監督・脚本家…士の事蹟を「戀慕三ツ巴」として映畫化することゝなり

山口同プロ所長は九月初旬出發來滿の豫定で目下關係各方面と種々交渉を進めつゝあり、その結果或は市川右太衛門一行の來滿は實現するやも知れず、志波西果監督は「淺香くづれ」を完成し休養中で松竹キネマ大阪支店にては右太衛門一行の渡滿計畫あるも未だ確定せずと發表してゐる

日活も今秋發聲映畫製作か

松竹蒲田のトーキー「マダムと女房」の成績は邦畫トーキー界に異常なセンセーションを捲き起したが、今秋を期してトーキー製作に乘り出すべく聲明した日活では既に某々會社と交渉進行し、或程度まで成立を見た模樣であるが、一方太秦撮影所にトーキー研究室を建設し、昨年來鋭意國産トーキ研究に當つてゐる溝口健二監督の助監督安積幸二氏が主任となり、折柄の暑休にも拘らず努力を續けてゐるが、同氏のトーキーは既にパテントも獲得し、今秋には撮影開始し得る筈で土橋式トーキーと同等以上のものと稱してゐる、なほ溝口監督も渡歐前にトーキーを一本製作すると傳へられてゐるかくて日活のトーキー製作も本腰になつて來たやうだ

噂話

秋風と共に映畫界もまたそろ〳〵シーズンに入り大日活が明日から「煙れる太陽」を上映▲宣傳に館の前に大煙突をたてゝ人間じややりきれないとロボットをぶらさげるとか▲但し入用の向きには煙突の裏に梯子がついてゐて登れるから何時でも借すさうだ▲常盤座は實演隊引揚げ後は好評の「元祿十三年」で大衆興行に出て當てゝゐるが、卷數不足で久し振りにマキノ映畫を一本上映してゐる▲來週は「この太陽」大會で一服して捲土重來、洋畫に力瘤を入れ「最後の中隊」を無聲版で上映▲南座では今週「馬賊の錢」と「この母に罪ありや」を組んだが

ペーブメント

涼風が立つて冷たい飲みものより暖い香りの高い飲みものが欲しい時が近づいたが、これまたアイスクリーム同樣カフエーの紅茶珈琲の不味さ加減はお話にならない、更らに洋菓子に及んでは大連は三流都市である、ヤマトホテルだつて、大食堂とグリルとで珈琲の味を區別してゐるのだから、大連人の好みは押して知るべしかも知れぬ、紅茶はこの間リプトンの青罐の廣告が出てゐたが、實行はどうなのか、それから遼東百貨店の珈琲賣店はもう少しサービスを良くしたよからう。

来週は引續き巨彈「暴風雨の薔薇」を上映

本社特選　新棋戰(其十)

香落　四段　△建部和歌夫
二段　▲梶　一郎

【圖は前號指了迄の局面】

△建部氏　持駒　飛角歩五ッ

▲梶氏　持駒　角金歩歩歩

△	▲
四九飛	四八桂成
五九飛	四七成桂
二五銀	三六歩
三五飛	二一玉
三二歩	二八金
同銀	三八金
一八玉	二八金
同玉	三七成桂

迄梶氏の勝

【土居八段總評】建部君は序に於て當時流行の七六銀の戰法を用ひ對抗した。その時梶君は機熟したとみて六九兩筋より聯絡を保ち開戰し、以下七五歩の新攻勢を繼續して非常に面白い局面を現出した▲其時建部君は活氣ある手段を以て大駒の捌きに努めたが餘りに策を弄し五九角引の手損を生じたのは拙策で、其爲駒損を生じ、決戰の目的を以て敵の本營に肉迫した▲此の時梶君は攻守共に困難の際よく大局を看破り、三二馬と引き防戰に努め、敵の攻撃力を弱めたのは頗る好い方針で見事に功を奏した。

【荻原六段解說】建部氏四九飛と凌ぎしも苦戰である。梶氏四八桂成以下四七成桂と駒得た關り、次に三六歩と逼つて下手益々有利である。以下二八金打となつては持駒多くして詰である。

ベルトラメリ能子夫人

本社主催で來る九月五日夜協和會館にて獨唱會を催し、その純益金全部を滿山羅災民救濟資金に義捐することゝなつたソプラノ歌手ベルトラメリ能子夫人は上野音樂學校出身で十年前伊太利に渡つた鐵能子嬢で十年間の眞摯な研鑽はその天分と相俟つて、素晴らしい進境をさげ、その間血に彩られたローマンスを生み伊太利文壇の權威者ベルトラメリ氏と結婚したが、間もなく若き未亡人として歸朝し我樂壇に活躍しつゝあるが、亡夫ベルトラメリ氏の遺稿を纏めて今秋再び伊太利へ旅立つのである(寫眞は能子夫人)

夜目遠目

遼陽のエロサービス應援間は遂に素無盡の醜態でどうやら資金繰から救はれそうであるが、應援間から拾ひ上げるやうなお客を相手にしてゐるのでは繁昌にならぬと評判應援間を斷然つくらぬ大店もあるやうだ、但しモダン化は大いにやるべしとあつて快樂の如きはダンスホールに次で今度は理想的な設備のペットルームをつくつてジヤズで踊つてリキユールで更けた夜のサービス改善を計畫してゐる

大連における支那側の經濟的勢力を觀る…J

將來の發展期待

中國銀行を政黨的に對立する 交通銀行大連支店

交通銀行は光緒三十四年交通系の要人に依って中國銀行と政黨的對立をなすため鐵道、郵便、電信、航路の振興を名とし資本金五百萬兩で北平に創立されたのを以てそもくの嚆矢とする、而して革命後は一時天津に移轉し、當時の紛起する內亂と兌換券の濫發により基幹に動搖を來し上海移轉後の民國五年にはモラトリアム令の救濟を受けて漸く難關を切り拔け資本金二千萬兩二分の一拂込みとしたが民國十七年（昭和三年）資本金一千萬元金額拂込みとして爾來商業銀行としてその機能を果すべく次々として挽回策を講じ來ったので最近に於ては業績頓に改まり漸く進運に向はんとしてゐるのである、昭和四年度の決算報告書を見るに負債勘定にては積立金二、一〇二、七二三元、定期預金三五、九三八、五〇三元、當座預金一〇二、八五四、二〇二元、借入金二〇、一〇〇、〇〇〇元、發行紙幣一〇二、八五四、二〇二元にして特に借入金の巨額は當行の整理收縮の必要を物語るものである、而して資產勘定に於ては定期貸付四四、一〇〇、四九二元、當座貸越七四、七四三、四五〇元にして中國銀行に比すれば未だ大きな懸隔がある

◇

滿洲に於ける同行分行は大連、ハルビン、濱江、營口の各地に設置されてゐるが、同行の分行制度なるものは極めて複雜なるものがあり分行の相互關係も幾分流通を缺く點ありとさへ言はれてゐる、大連支店は大正七年六月ハルビン支店管轄下に設置され爲替業務を主とし傍ら一般銀行業務を目的としたものであったが本店の信用低下とゝもに成績上らず缺損を續け大正十二年遂に閉鎖引揚げを餘儀なくされた、然しながら本店の整理着々と進むや昭和二年捲土重來的に再び設立され爾來健實な經營を續けた結果最近では特に目立って進展して來たやうである

◇

すなはちその業態を見るに中國銀行とは未だ相當の懸隔あり、金城に比しても實績に於ては幾分遜色あるやうであるが、兎も角大連に於ける中國の三大銀行の一として更に將來の發展に於て尤も期待されてゐるものである、今その業務發展振りを預金貸出に就いて見るに、金勘定に於ては昭和四年七月末現在預金は三七、〇〇〇圓だったものが六年七月現在は四八、〇〇〇圓となり大差ないけれども貸付は四三、〇〇〇圓より二四七、〇〇〇圓と五倍強に增加し、また銀勘定に於ては四年七月の預金總額七八、一〇〇元より本年は二、三七五、〇〇〇元約三倍強となり以前は金城に比し格違ひであったものが今や伯仲せんとし、また貸付總額も一六二、〇〇〇元より一、三六五、〇〇〇元の八倍強に激增してゐる、而してこの貸付は金銀兩勘定とも當座貸付が全部であって、これが激增は最近當行が如何に商業方面に活躍し出したかを物語るものだ

◇

なほ現在の手形交換狀態を一瞥するに仕拂超過となってゐるが這は貸付方面の躍展の結果と見るべきであって大した數字に上ってゐないから問題とする程のことはない、以上述べた如き狀勢にあるので最近營業收支方面に於ても好轉したことは事實らしく、現に支店行員十五人、經常費年五六萬圓程度と見られるがこれを補ひ幾分の利益を上げてゐるらしい、兎も角も本行は數年前迄は業勢不振の狀態にあったものが最近非常な勢ひで頭を持ち上げて來たことは事實でその活動は寧ろ今後にあることを銘記せねばならない、支店長錢家駒氏は浙江省□善縣の人、わが明大商科出身でまだ四十一歲の働き盛りだ、彼は生え拔きの交通育ちで卒業と同時に東京交通銀行支店（これは震災後閉鎖され、現在日本には代理店を持つに過ぎない）に入社し、後本店詰となり更に青島支店副支配人に榮轉、當地にも副支配人として來任したもので當時の支店長姚仲拔氏の女房役として活躍、昭和三年五月支店長に累進した、高身肥胖の堂々たる風采の持主だが、口數は寧ろ少い方で實な感じを與へる男だ、支那人間の評判も惡くはないらしい、今や捲土重來的積極進展を爲さんとする當行がこんな人に統率されるのは尤も危ッ氣がないと言ふべきである【寫眞は大山通の交通銀行】

營口陸揚の外國貨物 凍結の曉は如何、

大連に廻せば二重課稅の惱み

結局、見越し輸入か

本年一月支那新輸入稅實施後大連港における二重課稅問題が起って以來、從來上海經由大連に向けられた外國貨物については甚大な影響を受けるに至ったがこの結果、これ等外國貨物は悉く營口或は河北港を經由するに至ったことは既報の通りで、去る五月十二日より六月二十九日に至るまで上海より

大連連絡 の外國貨物の大連港に揚げられ二重課稅の適用を受けた件數卅五、貨物個數八十六あったが二重課稅の不利に驚いて折角大連まで來ながら再び元地上海へ返送された件數十件、この貨物個數卅六個にも上ってゐる、その後は外國貨物の大連港に揚げられるものは皆無といってよくすべて營口、河北に廻ってゐるが茲に問題となるは本年冬期に至って營口が凍結して汽船入港

不可能と なった場合果してこれ等貨物は如何なる徑路をとるかゞ關係方面より注目されてゐる、即ち每年冬期十二月より四月上旬に至るまで營口は凍結して汽船航行不能のため營口廻りの貨物は全部大連港を經由することが例となってゐるが、今冬期に至ればこれ等外國貨物は再び二重課稅の不利に直面せねばならず二重課稅問題惹起以來の始めての冬期だけにこれが成りゆきは興味をもって見られ、その時期に至って再び二重課稅問題の不當に就いて關係方面より論議されるに至るであらう、或は冬期の營口

凍結期を 見越してこれ等外國貨物の見越輸入が行はれるに至るかとも關係筋より觀測されてゐる

滿鐵鐵道收入 依然振はず

七月中旬以後急激に 減收の一途を辿る

本年度滿鐵々道部の鐵道收入は撫順炭の輸送激增、北滿貨物の出廻り增加等に惠まれて七月中旬までは激增し七月十八日までの收入は前年同日までの收入に比し二百十四萬四千二百八圓の減收で喰止めてゐたが、開灤炭南支出廻り、一般旅客收入の

依然 たる不振等に災ひされ七月中旬以後は急激に減收の一途を辿り、前年に比し八月廿一日までの總收入二千八百八十三萬四千三百九十九圓にて前年に比しには減收遂に二百萬圓臺を割り同三百二萬六千五十七圓の減收となってゐる、而してこの狀態は現在に於ても依然變りなく廿四日の減收三一七萬一千二百八十六圓であるが、これ等減收の最大の原因は

旅客の激減でこれについては石炭輸送の減少にあり、一般特產物の輸送量は前年に比しむしろ

增加 を示してゐる、即ち旅客收入について見るに前年に比し七月十八日は百六十萬二千二百九十圓の減收を示し、八月廿四日には更に三十萬圓餘を增し百九十五萬四千八百五十八圓の減收となってをり、石炭收入は六月十八日には實に前年同期に比し九十八萬二千五百八十一圓の增收を示したが、八月廿四日には遂に四十餘萬圓を減じ五十萬七千一圓の增收となってゐる、なほまた一般特產物

貨物の輸送收入も

金額 のうへでは最近とも多少の減收はつゞけてゐるが、これは本年鐵道部にて特產物運賃の値下を斷行したことに起因するもので前記の如く數量的に見ればむしろ增加の傾向にある、即ち前年度八月上旬の輸送一日平均噸數は九千百七十八噸、中旬は九千五百四十四噸、下旬は九千三百卅三噸であるが本年八月上旬の一日平均は一萬一千四十六噸、中旬一萬二千五百卅三噸、下旬（但し廿四日まで）一萬一千五百六十七噸で大體一日二千噸見當の增加を示してゐる

英蘭銀行更に クレヂット設定

米佛兩銀行と交涉

【ロンドン二十四日發】當地財界の傳へるところによると英蘭銀行はフランス國立銀行及びニューヨーク準備銀行より五千萬ポンドの對英クレヂットを得て過去十日間ポンドの下落防止に努力した英蘭銀行は、このクレヂットを殆ど消費し盡したので更に右二行に對しクレヂット設定に關し交涉を開始した模樣であると

タクシーの料金が 高いと値下げ慫慂

當業者は現在の料金を固執

最後は當局干涉か

大連市內に於けるタクシー料金がガソリンの値下、車體原價の低落その他四圍の情況を無視し依然市內五十錢均一を

維持 してゐるため漸くタクシー料金値下の聲が起りつゝあるに鑑み關東廳保安課ではさきにメーター制によって合理的料金の値下げを行はんとしたが、組合側の歎願で延期し、今回再び値下政策の前提として割引及び謝恩券制度の禁止命令を撤回せんとしたのに對し自動車組合は依然五十錢

協定 料金の破れるを虞れてこれに反對、現在料金を維持せんとする意見が當業者間に大多數を占めてゐることは時代に目醒めざるものであると非難の聲が擡頭してゐる、即ち官廳側の意見としては大衆的交通機關たるタクシー料金を強制組合によって協定し大衆の利益を壟斷するが如きことは非社會的であり殊に最近

內地 都市に於けるタクシーは自由競爭によって二、三十錢の廉價で交通機關としての使命を果しつゝあるに反し猶額大の大連市內を五十錢、星ケ浦、老虎灘とも一圓五十錢といふ料金は餘りに高價に失すると云はれてゐる、加ふるに現在ガソリン相場は高値より一ガロンに付き四十七、八錢の低落を來し

車體 單價の如きも三割乃至四割の値下げとなってゐるに獨りタクシーのみ舊料金を維持してゐることは不合理であるといふのが値下慫慂の主なる理由で當業者が出やうによっては監督官廳として相當干涉的態度に出づるものと見られてゐる

米國の對支小麥貸與に 支那側遂に應ずる

首腦部も背に腹はかへられず

【南京特電廿四日發】今回の大水害による罹災民は約三億、その中饑餓に瀕せるもの五千萬乃至七千萬を數へ、この間好機逸すべからずとなす共產軍の活躍もあり水害の恐るべき現象を呈せんとしつゝあるので國民政府首腦部は背に腹はかへられず條件の如何に拘らずアメリカの對支小麥貸與の提議に應ずべしといふに意見一致し宋子文氏も從來の方針を捨ていよく賛意を表するに至り米國側とも具體的交涉を開始する事となった、國民政府は或程度までの主張はやむを得ずとしてゐるから小麥借款は案外容易に成立すべく、更に第二段として水害復興のためヒットマン氏提議の銀借款に對しても充分に色氣を見せてゐる

米專賣制度 期成同盟會

貴院研究會で組織し 猛烈なる運動開始

【東京特電二十五日發】政友所屬議員八十名より成る貴院研究會では米專賣制度を黨議とし府縣會選擧戰に臨むため期成同盟會を組織し二十五日午後一時より本部に發會式を擧げ山本悌次郞氏を會長に推し猛烈な運動を開始する事となった

物價調べ

野菜 氣配は依然保合であるがトマト、いんげん豆等その他一二種は出盛りを過ぎて幾分強含みである、本日の卸値は（單位百匁當錢）胡瓜（一本）上一下〇、五。茄子（一個）上〇、三下〇、二。かぼちゃ上一下〇、五。西瓜上一五下七。蓮根上六下四。里芋上三下二五。トマト上一下〇、五。きやべつ上一下〇、五。玉葱上一下〇、八。いんげん豆上一下〇、八

果實 林檎は品質向上で幾分値上りしたが大勢は保合歡狀、廿五日の卸値は左の通り（單位百匁當錢）林檎上四下一。水蜜一一〇、六。梨上一一〇、五。甜瓜上一、五下〇、三。

黄塵

◇…內地實業家の滿洲進出はこれまで掛聲ばかりで餘り目星いものがなかったが最近では奉天方面に內地實業家が各種工場の建設を計畫中だそうだ。

◇…運賃諸掛や關稅關係等からみて對滿貿易は商品輸出より資本輸出に變るべき時が來たのだ。

◇…銀安で勞銀は安く滿洲土產の原料を使へば低廉な商品が出來る譯で今次の內地工場進出計畫も斯うした有利な點があるためである。

◇…遲蒔ながら內地資本の進出が企てられるに至ったことは喜ぶべき現象である。

◇…滿鐵や關係官廳でも之に對し出來るだけ障害を除き極力內地事業家の進出に便益を與ふべきであらう。

手形交換高（廿五日）

	枚數	金額
金	七二枚	一、一三六、四七三圓
銀	三六枚	二、〇七三、九一〇圓

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊 二十片十六分ノ十五 / 同先物 二十片〇分〇 / 紐育銀塊 二十七仙八分七 / 孟買銀塊 四十四留比十六分ノ十五 / スチール 八十七弗八分ノ一 / アナコンダ 二十四弗四分ノ一 / 英米爲替 四弗八十六仙八分ノ七 / 米日爲替 四十九弗三十六仙 / 米支爲替 二十四弗四分ノ一

棉花

●米棉 現物 七仙五五 / 十月 七仙〇七 / 十二月 七仙二六 / 一月 七仙三九 / 三月 七仙五六 / 五月 七仙七四 / 七月 七仙九三

●印棉 ベンゴール 一三〇留比 / ブローチ 一四〇留比

大阪期米、東京期米、神戸期米、大阪株式、東京株式、大阪綿糸、大阪棉花、横濱生糸、印度麻袋の各相場表あり。

特產 市況（廿五日）

買氣引立たず 一齊軟調

今朝の定期は差したる材料もなく一般に買氣薄の折柄各品共一齊軟調を入れ閑散であった

豆

出廻り薄ながら買氣全く引立ぬため大豆は依然續落の一途を辿ってゐる▲他の各品も人氣なく一齊に氣配軟弱で取引も閑散▲殊に現物市場の閑散が特に目立つ、大豆は油房が十車買っただけで一般物なく、普通大豆が十車、成發東の賣りに萬義長の買物、豆粕は瓜谷、松本で一萬枚、豆油が一千五百箱高粱不申さいった有樣▲關稅委員會で審議中の大豆關稅引上げは拓務省の反對で今月中に否決されるらしい

銀

倫敦八分の一高、紐育二分の一高、孟買一齊強調で銀高材料を示し▲一方上海標金も八分の三高さ更に投げで六十二兩迄崩れた▲これがため鈔票は十錢高の三圓八十錢と寄り標金の急落で四圓臺に乘せ高値四圓十錢迄奔騰したが▲引際標金買物の續出で一氣に上伸七十七兩の高値のアト七十三兩に止めた▲かくて漸次反落四十三圓五十五錢と十五錢安の軟調を辿った▲英國政界の動きと共に多少の波瀾はあらうが目下の所では安定模樣だ

株

寄は北濱定期の前場けさ鐘紡鐘新の一圓五十錢高を首め大株大新も一圓揃みの昂騰乍ら東新は寄り變らず▲當市は氣配變らず五品新豆共同事で無味閑散の場面を呈した▲けさの大阪高は綿糸の反撥に好感したものとみられるが東新が之に添はないのは物足らない憾みがある▲結局八月相場もこの調子の保合に終り秋相場に入る譯けであるが秋高を望むなら此邊で今一押欲しいところである

糸

米棉前報は反動狙ひの買ひとリヴァプールよりの情報良好で空賣り屋が買埋めたので市況活潑且つ強硬さあり▲現物二十ポイント高先十八高を示し大阪三品は前日既に玉埋現完了とみて氣配硬化の折柄とて各限二三圓揃み高と續騰した▲三品は投物一巡と米棉の反撥で俄然氣配硬化したが果して本直りとなるかどうか▲米棉には尚容易ならぬ不安ありそこへ需要關係まで逆轉の傾向を帶びつゝあれば無條件に樂觀も出來まい

錢鈔 鈔票弱含 標金引尻高

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十二片十六分の十五と（八分の一高）▲先物十三片丁度と（十六分の三高）紐育は二十七仙八分の七と（二分の一高）孟買銀塊は四十三留比十六分の十五と（八分の三高）滙申は七十一兩七五、大洋は百圓八十九兩三〇、鈔票は六十日は四十九弗八分の三と（一仙高）米は四十九弗三八と（同事）英米は八十五仙十六分の十三と（十六分の一安）米支は三十弗四分の一と（十六分の七高）上海標金は七百六十七兩五と寄り七十三兩丁度と止め當市の銀價は弱含を呈した

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	四三六〇	四四一〇	四三五五	四三五五
遠期	四三六五	四四一〇	四三六〇	四三六〇

出來高（期近二百五十九萬圓 遠期三百四十九萬圓）

◇現物取引（單位錢）

銀對金 四三六〇 銀對洋 一二三五

株式 北濱市況軟り 當市保合

北濱定期の前場寄は大株一圓十錢

商品 綿糸續騰 麻袋變らず

●綿糸 産地情報は未着銀票昂騰なるも華商筋に買氣添はず閑散裡に散會した引際氣配は現物二十二錢七厘八月二十二錢五厘九月二十二錢二厘十月二十一錢七厘十一月二十一錢六厘十二月二十一錢一月二十一錢賣唱へであった

●麻袋

物貨庫在頭埠 二

8月17日（單位噸）

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	169,426.7	55,794.0
大豆 非混保		
白眉豆	1,702.8	824.7
青豆	453.9	203.7
大豆 合計	171,583.4	56,822.4
小豆	4,688.9	1,018.5
吉豆	919.2	1,084.9
高粱	15,797.9	3,576.6
包米	1,208.1	515.7
大米	374.7	13.2
小米	103.3	231.1
麥子		43.3
蕎麥	120.1	636.3
芝麻	42.6	80.1
大麻子		155.7
小麻子	37.0	551.3
蘇子	517.6	34.4
落花生	815.7	2,482.6
雜穀	566.5	214.8
豆粕	17,431.1	3,598.6
雜粕	218.9	541.4
骨	121.5	99.9
豆油	2,424.3	1,001.2
其他ノ油類		
麥粉	2,141.5	5,620.5
酒	22.9	77.9
セメント	510.7	1,868.6
鐵子	412.9	295.6

上海爲替情報

【上海二十五日發】銀塊高に寄前物品にて六十五兩の商內出來たが志豐永、大連筋の買ひにヂリ高の處信孚、吳倍初各二千本投げあり標金急落砌十二月三十六分の一迄、成豐永、福昌等安値輸入ボツくあり英國政局の安定標銀塊のドりは印度政廳の買氣を傳へて安値買人氣さなり大徳成、日商筋へび引前吳倍初約二千本買った

爲替相場

奧地市況

各地特產發送高

大連到着特產數量

滿洲日報

マクドナルド英首相　闕下に辭表を捧呈す

【ロンドン二十四日發至急報】マクドナルド首相は只今バッキンガム宮殿へ伺候陛下に辭表を捧呈した【寫眞はマック首相】

擧國一致内閣　マック氏を首班に

【ロンドン廿四日發至急報】マクドナルド首相は後繼内閣組織に關し左の如く發表した
後繼内閣は勞働、保守、自由、聯立内閣となり余自身内閣の首班に立つことにならう

【ロンドン廿四日發】ダウニング街のマック英首相官邸より「只今擧國一致内閣組織中なり」との聲明書を發表した

新内閣閣員候補者の顔觸れ

【ロンドン二十五日發】新擧國一致内閣は恐らく十乃至十二名の大臣より成る保守勞働各四名自由黨側より二名乃至四名を入閣させる模樣だが顔觸れは皇帝の御裁可を得るまで發表しない此閣員數は前勞働黨内閣の廿名に比すれば約半減される譯である、尚新内閣の閣員各自受持の省の仕事には殆ど關係しないで全力を財政問題に集中するらしく目下新内閣の閣員候補者として最も有力なのは左の諸氏である
▲勞働黨側マクドナルド（前首相）スノーデン（前藏相）トーマス（前自治領相）サンキー卿（前大法官）▲保守黨側ボールドウイン、チエンバーレン、ホーア、ヘールシヤム卿▲自由黨側サミユエル、レディング卿、マックリーン

英勞働黨遂に分裂　前閣僚の九氏脱退し　勞働運動にも暗い影

【ロンドン廿五日發】勞働黨は今やマクドナルド氏とスノーデン氏の執つた態度を否認したので兩氏と黨との關係は絶縁したものと觀られてゐる、然しマクドナルド氏……

前工部相　ランズベリー
前農相　アヂソン
前植民相　カッスフィルド卿
……
前海相　アレキサンダー

……之等の前閣僚は二十四日會議を開き節約案反對の對策を凝議した九……

勞働運動が其の勢力を失ひ受難の道程を辿る事とならう、勞働黨分裂の重大性は閣僚の十名までが新擧國一致内閣に參加を拒否したことに依つても明かである新内閣の反對者は無責任な陣笠でなく何れも錚々たる領袖であり背後に下院に於ける多數黨員が控へてゐることが特に擧國一致内閣と云つても新内閣の前途を樂觀せしめないものである

……面の努力を基礎として別個の黨が成立するものと思はれる、今回の崩潰は黨を基礎にする政府の政策がブルジョア政策を執らざるを得なくなりプロレタリア的立場を執る勞働組合と對立した事に依るが之はドイツの社會民衆黨また然りであつて現在の危機に於ける一特徴である、故に次ぎに起る英國勞働者階級の黨は勞働黨より左傾化し然も國民性に適合した黨が出來上るであらう

英の飛躍的進步　芳賀大佐談（?）　三輪壽藏氏談

……つてゐるかを物語る、即ち英國の國情に最も即してゐると考へられてゐた勞働黨をして聯立内閣を組織せざるを得なくなつたといふ點に如何に英帝國の危機が甚しいかが判る、然し此聯立内閣は永續せず軈て勞働組合方……

日支の親善策　在連中國名士の意見……(二)　不祥事件も責任を明にせよ

◇—李經芳

李經芳氏は清末の大政治家李鴻章氏の子で日清談判の時は馬關に行き曾て駐日公使、駐英公使の職にもあつた、民國革命後隱退し平和な大連に餘生を樂しむやうになつてからも既に五年になる

「公使として日本に行つたのは私が卅六歲の時で三年足らずゐた、私は今年七十七だから四十一年も前のことです」

……と感慨深げに指を折る。「萬寶山事件から引續いて日支間に好ましからぬ問題が出てゐますが…」と切出すと翁は「何大したことはない」と語り出す

×　×

萬寶山事件はほんたうに小さい地方的問題だつたのだが、夫が朝鮮に宣傳されて朝鮮の愚民を刺戟して在鮮華僑を襲撃して多數の死傷者を出し、そこで華僑が居堪たまらずに歸國した、朝鮮の華僑は山東人が多いが折角多年平和に職業をしてゐたものが家は燒かれ、職業は出來ず命からぐ〱青島あたりに歸つても家は無し、職業は出來ず食ふに困つた揚句、ムシヤクシヤして罪もない日本人を襲撃したのではないかと思ふ、私は新聞を讀む以外には何も知らないが若し……

然うだとするとこれも見當外れの甚だしいもので朝鮮人をイヂめて平和な華僑を殺傷した日本人ではない、……

×

……にしてゐる以上は如何に親善々々といつても片方だけが利益を取つてゐるやうでは親善の實は擧げられない

×　×

……は昔から中日互に……一にしてゐる、……關係を離れても經濟的關係だけはその不可避な因緣を立證してゐる、支那は原料國で日本はこの支那からの原料を受入れて加工製造工業國である、支那の原料はアメリカなどの原料豐富な國へは行かない、同時に日本の製造品はアメリカには歡迎されずに大支那を市場としてゐる、この點だけでも日本と支那が如何に密接でなければならぬかは分り切つたことである、日支兩國人とも小さい事にアクセクせず眼界を廣くしなければならぬと考へてゐます。（寫眞は李氏）

廿七日の閣議で節約案を決定する　廿四日陸軍省側と事務的交渉　節約額二千數百萬圓

【東京二十四日發】本年度豫算節約は陸海軍兩省その他節約難のためのびぐ〱となれるが本月中に一切を纏め得る見込みとなつた、杉山次官、小野寺經理局長は二十四日午前十一時井上藏相と會見し最も難關たる陸軍省節約につき協議した、陸軍省側は若槻首相の懇請により新規な方法で節約に努めて居るが既に捻出せる八百二十萬圓のほか多少捻出の餘地を發見されたので事務的交渉を開始したわけである、しかして海軍も今明日中に最後の交渉をなすべく廿七日の閣議で節約案の最後的決定をなす事となつた、なほ本年度節約は原案の五千四百萬圓に對し三千五、六百萬圓となる模樣で、不足額は豫備金の支出抑制或は不足額捻出により補塡する方針なりと

省廢合一時中止か　けふ箱根の三相會議で最後の運命決らん

【東京二十五日發】省廢合問題に就いては閣内及び與黨内に贊否兩論對立し原拓相等反對し……中堅派等は機會ある毎に若槻首相に反對を進言し一方幹部は之に對抗して斷行論を進言してゐるが若槻首相は此の間に在つて明確な意見を述べるを避け大勢順應の態度を採つてゐる、一方問題は江木、井上、安達三相の意見が完全に一致せぬ限り廢合斷行は至難であり明二十六日箱根に開かれる安達、江木、井上三相會談は此の意味で最も注目される處であるが若し意見の一致を見ぬ場合は若槻首相は直に左右何れとも決するを避け廢合問題は一般行政整理と切離して研究する形式をとつて一時中止する外あるまいと見られてゐる、即ち農村方面が農林、商工兩省合併に反對氣勢を擧げてゐる爲め地方選擧に先だち斷行若しくは打切りの決定をなすは與黨の不利なりとする主張に基くもので

若槻首相を藏相訪問　廢合問題その他を報告

【東京二十四日發】井上藏相は午後二時官邸に若槻首相を訪ひ二十二日箱根で江木鐵相と會見の結果省廢合斷行に意見一致した旨を報告し更に豫算節約に關し陸軍その他と折衝を重ね遲くも本月一杯には全部纏まりをつける手筈となつて居る旨報告諒解を求めた

拓相、首相に省廢合反對表明

【東京廿五日發】三省廢合殊に拓務省廢止に反對してゐる原拓相は廿五日午前九時十分若槻首相を訪ひ強硬な反對論を述べた、これに對し若槻首相は急に反對を押し切つて斷行しやうとは思はぬが國步艱難の際充分意見を交換し落つくところに落つけたいと答へ拓相は更に拓務省廢止反對の駄目を押し同五十分辭去した

樞府臨時會議　重要案

【東京二十五日發】樞府臨時本會議は愈々二十六日午前九時から宮中東溜の間で特に聖上陛下の親臨を仰ぎ正副議長以下各顧問官、二上翰長、政府側より若槻首相、幣原外相以下各閣僚關係局長參列左記御諮詢案を上程する筈である
一、一九三〇年一月のドイツ國との協定御批准の件
一、債權國間取極め批准奏請の件
一、國際決濟銀行に關する條約及び右に關する議定書取極の交換

公文及報告書等七件で陛下が暑中休暇中然も御用邸御避暑中臨時本會議に親臨遊ばさるゝはこれまで稀有の事として誠に畏き極みである

株式市場昂騰

【ロンドン二十五日發】勞働黨内閣總辭職次いで擧國一致内閣の報傳はるや當地株式市場は一般に昂騰した

露支交渉依然停頓　交渉範圍未だ決定せず

【ハルビン特電廿四日發】露支交渉は去る十九日第二十次會議を開いたが依然として展開の模樣はない、兩國論爭の中心は例會議の範圍を如何にするかの點に在往して居り、支那側は成るべく狹くし東支問題に限らんとしソウエート側はなるべく廣くして一般通商問題を有利に導かんと努めてゐる

衆院議員の東洋視察　交渉會で決定

【東京廿四日發】衆議院各派交渉會は廿四日午後一時院内議長室に開會、議員の東洋方面視察の件に關し協議の結果左のごとく決定
一、十月十七日神戸發基隆、厦門、汕頭、香港、廣東、南京、浦口、北平、天津、奉天經由十一月十六日歸京
一、人員十名のうち民政五名、政友四名、第一控室一名、各派に於て人選の上九月十五日迄に屆ける事、自費參加者は團長之れを決す

印刷需品局設置案決定

【東京廿四日發】第三次行政整理準備委員會は二十四日午後二時より首相官邸に開會、井上藏相、川崎翰長、武內法制局長官以下各補佐委員出席、第二次協議で決定の印刷需品局設置案を審議の結果左の通り決定し三時散會した、右は他の整理案とともに閣議附議後臨時行財政審議會に諮問の筈
印刷需品局は若槻井上兩相の監督とし印刷用紙木炭石炭油其他を取扱ひ各官廳購入用紙及び各官署の需品を取扱ふ全國各地でも稅務監督局所在地には中央需品局出張所を設け同事務を取扱ふ印刷需品局に局長一、事務官六（勅任一）技師十二（勅任一）技手、屬等を置く

故湯川寬吉氏の告別式　廿五日大阪で

【東京特電廿四日發】滿洲……

……して貴族院議員湯川寬吉氏の告別式は二十五日午後四時より五時までの間大阪市阿倍野齋場に於て行はれる筈であるが、故人の意志により花輪、香奠等一切辭退してゐるが生前親交ありし西園寺公、住友家及び滿鐵の花輪だけ靈前に供へられた、滿鐵東京支社よりは橋本經理課長本社を代表して二十四日午前大阪に急行し告別式に參列、親しく故人の冥福を祈ることになつた

朝鮮人蔘の輸出入狀況

【京城】昭和六年度……

日銀上半期の營業狀態

日本銀行の本年上半期營業狀態を見るに外國爲替貸付金は約二千萬圓減、割引手形では六千九十餘萬圓減、特別融通では四千六百餘萬圓減を示し、特に最も注目さるゝは在外正貨の減少である、すなはち第二回四分利英貨債の償還ならびに外債利拂に依り上期中一億三千四百三十九萬八千圓を激減し九千五百二十四萬七千圓となつたことは一般より重視されてゐる

……るまた輸移入總額は四千六百三十六斤此の價格一萬五千餘圓で主として中華民國よりの輸入である

北滿大豆の作柄憂慮

【ハルビン特電二十四日發】北滿大豆は今年春は氣候が遲れてゐたため播種が例年より約二週間遲延してゐたがその後天候順調で豐作を豫想されてゐた、然るにこの二三日來急に氣溫が低下して來たので成育日數不足し、作柄に影響を及ぼさぬかと憂慮されてゐる

全滿商議書記長會議

來月四日に營口に於いて全滿商工會議所の書記長會議を開催されるが當日は下旬開催される全滿商議聯合會に對する下準備打合せ及び……

蠶糸業界　幾分好轉か

一昨年來生產過剩で苦み來つた內地蠶糸業界はその競爭相手たる支那蠶糸が本年の繭作り惡しく之に加ふるに資金難で各工場の生產能力は激減し昨年に比し約半減を豫想されてゐるので新生面を開いた❶みならず內地にかても夏秋蠶の掃立豫想が前年に比し二割三分減となり結局春夏秋繭を合計して九十四萬八千梱程度と見られ、前年に比し十萬二千梱の減少となり、しかも需用方面に於ては米國、カナダ、歐洲方面とも順調にあるのでこれを期として幾分好轉するに……

大連史談會幹事會

大連史談會では二十四日午後二時から市役所議長室で幹事會を開き來る二十八日例會開催の打合せを行つたが種々協議の結果、例會當日は先般品田幹事が日露戰爭前支那公議會の保甲團長を勤め戰爭後關東都督府の巡捕總長に任ぜられた古老張田池に面會して聽取した日露戰爭前後に於ける大連の實情に關する講演あるほか、仙波幹事は二十五日旅順に川上、野三氏を訪問し氏の談話も聽取し來り當日講演する事に決定し同四時散會した

第二の反抗 (11)

三宅やす子　阿部金剛畫

第一の反抗(三)

「アハヽヽ」
父は突然笑ひ出した。
「男を好きだ嫌ひだと、そんな夢みたいな事を、若い時には云ふもんだよ。みんなあとで考へると笑ひぐさだ。尤も親から云へば、無暗な男を好かれちまつちや、もうあはてゝも遲いがね——好き嫌ひは子供の我儘だ。それよりも、女は頼もしさうな男に頼るのが、一生の仕合せなんだよ」
父はどこまでも、子供にさとすやうに云ふのだ。
頼もしさうな男、數衛のことが頼もしいのだらう。父は數衛の受けつぐ財產の事を云つてるのだらうか。それなら、自分は財產なんか、いくらあつてもうれしいとは思はない、自分の氣に入つた生活が出來ないなら、山のやうな財產は、あつて邪魔にこそなれ、何も自分を愉快にしてはくれないではないか。
佐枝子は、燃えたぎる反抗心を只沈默に代へて居るのだ。
「まあ、母さんともよく相談して御覽」
父はさう云つて、格別、佐枝子の不承諾を氣にして居ないやうに敷島に、ゆつくりと火をつけて吸ひ出した。
「用事が濟んだら、今晚皆で芝居にでもゆかうかつて、數衛が誘つて居たよ。母さんは、行く氣らしいよ。東京劇場にしやうか、歌舞伎にしやうかつて迷つてたやうだが——お前は歌舞伎はきらひだつたつけね。ま、たまには、つきあふのもいゝさ」
芝居なんて、あんな人と芝居を見にゆくなんて、眞平御免だ、と佐枝子はクサ〱した。
「あたし、頭が痛いから、うちに殘りますわ」
そこらで、父の前を切りあげて彼女は部屋にはいつてしまつたのだが、何としても、突然の、父の言葉が、頭に重くかぶさつて、何をする氣にもなれない。
午後、母はしきりに芝居行を彼女にすゝめた。
「丁度此間出來て來た鹽瀨の繡紋が納戶の中では引き立つよ。今のうちに一寸髮でも結つて來たらどう?」
母は美容院に髮を結ひにやることが好きだ。最初は鏝をあてゝるのをひどく嫌つたのだが、此頃では洋髮といふ型にはまつた髮が好きになつて、佐枝子が無造作に、クルくと束ね髮にして居ると、いつも催促して、美容院に髮を結びにやりたがる。
「そのうち、數衛さんも歸つて見えるだらうから、今のうち一寸行つておいでよ」
佐枝子は母の言葉を半分しか耳に入れず
「あたしは今日はお留守番してあげるわ」
「何故さ—佐枝さんが行かなければ何もならない」
「父樣がおいでになるさうよ」
「だからさ、老人二人の御案內では、お客樣だつて話がないもの」
「私だつて、あんな人、話なんかあれやしないわ」
母は眼で制した。
誰か來たけはひだ。
「はいつてよござんすか」
案一だつた。佐枝子はホッと救はれた。

社說

支那の十年工業計畫

國際共管との關係

國際聯盟の國際勞工局では支那の十年工業計畫を發表して居る。露國の五年計畫に倣ふものだと云つて居るが其内容は

一、支那各省で三億エーカーの土地を開墾す
二、支那に鐵道國道航空路其他の交通機關を擴充す
三、支那海岸に若干の海港を建築す
四、約八百萬噸の汽船を建造し河海貿易に資す
五、工場を創立して支那民衆需要品の大部分を製造す

となつて居る。尚此計畫を實施する事になると、一千二百萬噸の鋼鐵を必要とするが之れは全部外國から購入せねばならぬ。石炭は二億噸を要する。動力は二千萬馬力を必要とする。支那政府も既に贊成して居るので細則が出來次第着手する筈と發表して居る。財源の事には觸れてないが聯盟から貸すのだらうといふ事である。

◇

此計畫は云ふまでもなく支那の爲めに必要な事ばかりで、結構至極であるが吾等には種々の疑問が起る。第一には支那政府が果して之れに贊成したのであらうか。假令南京政府が贊成しても實際に於て全國を支配する政府の贊成がなくては斯樣な計畫に着手は出來ないのではないか畢竟内亂の可能性ある間は問題にならない問題でないか。第二には原則は決定しても細則の決定は容易でない。其の調査研究だけでも可なり多くの費用時日人手を必要とする筈だが、此大計劃の研究と實行とを併せて果して十年の日子を以つて完成し得るや否や。第三には資金を貸すと云つても果してその財源があるや否や、必ずしも金で貸す必要はなく實物で貸せばよいわけだが、それも出來るや否やが大きな問題である。此中でも、内亂がなくなるといふ事が第一に困難な條件であらう。一時的終熄ではいけないのだから現狀から見れば百年河淸を待つ狀態である。

◇

更に吾等の念頭に浮ぶのは此計畫と國際管理との關係である國際聯盟が斯くの如き大計畫を中國の爲めに立案する以上は、技術上にも資本上にも種々の點に於て絶大の援助を與ふる事となる。其結果は支那の政治上に重大な勢力を占むるに至るであらう。資金の回收に關しても何等かの擔保を得なくてはならないから、財政にも聯盟から制限を加へ監視を加へねばならなくなる。此事業は一半は政府が管理し一半は會社の管理に歸せしむと云ふが其事業に關しては技術上にも會計上にも聯盟から常に監視せねばならぬ。以上の結果は畢竟現在の關稅制度が各方面に及ぶわけで、結局は國際共同管理に似たものになりはしないか。孫逸仙は實業計畫に外國資本を利用すべきを說いて居るが、一方では、支那が或特定一國に支配されるよりも多數國の共同支配を受くるのは更によくないとの意見を陳べて居る。尤も、國際聯盟と國家とは別個であるから、國際聯盟の制肘を受けるのは、國際共同管理を受けるのとは法理上から見ても實際上から見ても差異がある。故に國際聯盟の支配を受けても國家の體面上恥づる所もなく、又實際に於ても不便がないと云ふ確實な意見の上に立つならば、吾等が別に問題にするにも及ばない。只支那の人達がそれだけ深く考へて居るかどうかを注意するまでである。

◇

世界は追々と狹くなる。東洋と西洋と別々だとも云つて居られない。支那は世界の支那となりつゝある。四億の人口があつて農工商は一通り發達しながら今一息の磨きが足らぬといふ現狀であるから、不景氣に惱む世界の全人類が均しく此處に注視するは當然である。支那人が内亂ばかりに沒頭して少しも産業の發達を圖らないならば世界全人類が共同して其内亂を停止せしめ其處に商工農の發達を圖らんと考へ出すのも當然である。支那の内部でも戰亂に飽きて左樣に考へる人も出るだらう。國際聯盟で、先日發表された對支援助の三委員會を創立したるが如き、又今回發表の十年工業計畫の如き、蓋し此種世界人の對支觀が發現さるゝものである。此の傾向は追々と強くなるものと思はるゝが、此れは見方によりて、又實際上の狀況によりては援助ともなれば壓迫ともなる。支那の人々は此點に就きてよく考察して居るや否や。日本人も對岸の火災視してはならない問題である。此れをどこまでも援助であつて壓迫ではない樣に導いて行かねばならぬ。

日本の態度硬化を張學良氏は知らず

湯爾和氏の出鱈目な報告に一部要人が注意せん

支那側の消息によれば張學良氏は張宗昌氏らの東四省保境安民論者の意見によりさきの教育廳長湯爾和氏を使節として日本に特派し、使節は去る十三日大連着滿鐵總裁に會見したがその後日本に向はずその足で天津に引返し今日この頃になつて張學良氏の許に出頭「日本當局の感情頗るよし」と報告したのでさなきだに第二の蔣介氏たるべき夢を見てゐる張學良氏の天下取りの野心はいよく擴大したゞちに奉天に歸る模樣なきのみか日本官民の感情硬化せることを知らざるもの、如き狀態である、なほ某支那要人は張氏に面談數時間にわたり日支間の實狀を述べ反省を促がせるも一向聽入れる模樣なく眞に張學良氏乃至東四省の前途を思ふものは湯氏の無責任なる言動に對し憤激し近く代表を張氏の…

南海特有の雄壯な風景

白波から波に浮ぶ太陽の光から隆々たる岩礁から受けるもの總て「蹈熱の同」た、寫眞はシドニー市外の海水浴場だが特に波乘りに好適の爲有名だ

劉桂堂軍を總攻擊

【濟南特電廿五日發】石友三氏と行動を共にした劉桂堂軍は大名城に據つて頑强に抵抗してゐるので中央、東北、山東各軍は二十四日から總攻擊中である

北寧線工人の訓練班組織

【天津特電廿五日發】北寧沿線に共產黨の活動が盛んになつてゐるので黨部では鐵路局と協議の結果各大驛に工人訓練班を設立し三民主義及黨務を講習せしめ共產黨に對抗することに決定した

遼寧省黨部の矯激な排日風潮

官憲の聲明に反する態

奉天支那官憲は常に日本側に對し東北四省の排日、排貨を取締る旨聲明してゐるが民衆に對し彼等以上指導力を有する省黨部では依然その運動を續けてゐる、卽ち二十四日の遼寧省黨部委員會に於て張學良氏の兩腕たる朱光沐、邢士廉、李紹元氏等以下六十餘名集會の席上で黨部訓練課主任陳憲氏のなしたる演說はこれを實證してゐる、その内容を指摘すると左の如くである

我等が日本帝國主義統治下に奴隷となつてその侵略、凌辱に甘んじてゐないならば次の二方法を實行せざるべからず

一、民衆は更に結束を固めて官憲の對外交を牽制すること
二、我滿蒙を唯一の原料需要地とせる日本との經濟絶交を實行すべきこと【奉天電話】

逮捕令を取消し閻氏再び大連に

天津山西派要人談

【天津特電廿五日發】閻錫山氏は近く大連に歸ることに決定したが同時に蔣張兩氏は逮捕令を取消すことになつた、近く徐永昌、張學良氏の會見で確定される筈だと當地山西派要人は語つてゐる

滿鐵正副總裁けふ鞍山へ

滯奉中であつた滿鐵正副總裁は二十五日午前七時十五分發列車で鞍山へ向つたが驛には日本側から林總領事を始め官民多數支那側から王交涉處長等見送りがあつた【奉天電話】

鞍山を視察

二十五日午前九時十八分來鞍した內田、江口滿鐵正副總裁一行は伍堂氏、富永、川崎地方事務所長、矢澤、日向中、小學校長、松木署長、井上郵便局長、實業會側加藤、神田、上田その他多數官民の出迎へを受け直に鞍山神社に參拜後、製鐵所に赴き、應接室において邦人全從業員に一場の訓示をなし、その後幹部と歡談後自動車にて坑內巡視、晝食後運行車にて大孤山視察に赴いた【鞍山電話】

湯崗子に一泊

滿鐵正副總裁は二十五日午後一時より製鐵所應接室において鞍山記者團と會見した、それより運輸事務所前より運行電車にて大孤山採鑛狀況を視察し午後四時歸鞍し、午後四時三十分まで窰町俱樂部にて鞍山實業、輸入組合、金融組合土建協會、商店協會、新聞協會等の代表と會見した、同四時三十分輕油動車にて官民多數の見送りを受け湯崗子に向ひ一泊した【鞍山電話】

奉天知名士招待宴

滿鐵正副總裁の奉天日支及び外人のレセプションは既報の如く二十四日午後七時よりヤマトホテル・ルーフに於て催された、會するもの日本人側林總領事、藤田商議會頭、野口民會長、支那側臧式毅、王鏡寰、張學良氏代理朱光沐氏等二百五十名、宴會はかた苦い挨拶等一切省略され、開會と同時にルーフに新設された十六の模擬店に百名の奉天選り拔きの美人が赤前垂姿で酒開を斡旋し、正副總裁始め木村、山西兩理事等シャンパンの盃をあげて交驩これ努め、宴酣なるや美妓相手のダンス始まるなど和氣藹々裡に同八時半散會した宴後正副總裁は更に、林總領事、臧省主席、王公署長等の日支首腦者を榊山に招じ親睦を厚ふした。【奉天電話】

水災救恤の公債續發

宋子文氏言明

【上海廿四日發】國府の水災救濟委員は外人側より三十四名任命したが、日本人は三名とし本日初顏合せをなし救濟應急辦法を決定する筈である、宋子文氏も一千萬元の救恤公債發行後災害の程度判明次第公債を續發する方針なりと言明した

水害救濟武漢分會組織さる

【漢口二十四日發】支那側は國民政府の水害救濟會武漢分會を組織するに決し方本仁、徐源泉、夏斗寅等七名を常務委員とし日英米より各一名の委員參加し三十一名の委員を擧げて武漢地方の水害救濟に全力を擧げる事となつた

漢口方面水害義捐金募集

今次漢口方面に於ける水害は同地方未曾有の慘禍にして人畜の死傷家屋耕地の流失等算無く罹災者は其の日の衣食住にも窮ぜるの現狀にして洵に同情に堪へず依つて吾等相謀り茲に義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮つて御贊成あらむことを

募集方法

一、義捐金は大連市役所總務課及三公議會に於て受付をなす
一、義捐金額は任意とす
一、募集締切期日は九月十五日とす

但し義捐金は毎日正午限り市役所に於て取纏め其寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞、泰東日報、關東報、滿洲報に廣告し受領證に代ふ、なほ義捐金の處分方法は發起人に御一任ありたし但し特に寄附先を指定したる義捐金は寄附者の意思に依りて之が處分を爲すものとす

大連民政署長	辛島知己	大連市長	田中千吉
大連商議會頭	村井啓太郎	大連公議會長	張本政
小崗子公議會長	龐睦堂	西部大連公議會長	許億年
中華青年會代表	張本政	基督教青年會代表	林瑞
大連新聞社長	寶性確成	泰東日報社長	阿部眞言
關東報社代表	市川年房	滿洲報社長	西片朝三
滿洲日報社長	松山忠二郎		

八相

豆腐屋の鈴

赤峰

◇朝、五時ごろから十人位の豆腐屋が、取り替へ引き替へ、私の家の附近を、チャンチャカくとすばらしい騷音を立てゝやつて來ます、睡から冷水でもブツかけてやらうかと、度々癪癪玉が破裂します。これは何處でもあることだと思ひます。

◇豆腐屋の鈴は豆腐屋の鈴として相當の歷史をもつてはゐるが、殊更「鈴」でなくても好いでせう。比較的通りの好い物優しい「ラッパ」に改めたらどうですか、出來ないことではないと思ひますが。

◇電車、自動車の騷音は、文明の附隨物として吾人は諦めませう。しかし殊更に騷音をかき起すやうなことを防ぐのが文明の希望するところです。また文明人のつゝしめでなければならぬ。

◇睡眠を妨げる騷音は私たちのために、靜かな朝の空氣が破られることは望ましいことではない。イラくする程猛烈な八ケ間敷さにはホトく閉口するのが當り前です。

◇朝一番先に耳に入るのがこの癪の種である「豆腐屋の鈴」です。しかもこれは必要のない騷音です、他にもつと穩當に豆腐であることを表現する方法はいくらもある筈です。

◇特に當局の御一考を煩したいと思ひます。

お答へ　鈴がうるさいからつて豆腐屋に暴行したら警察で處分しますよ、うるさいかうるさくないかもこの程度の問題であるか、替へるなら何に替へるのがよいかこれが見解は各人各樣に異るところであらうと思ひます、喇叭さいはれるが果して喇叭がよいかどうか人によつてはそれもよいがどうか、兎に角研究はしてみます(大連署保安係長)

投書歡迎　五十行以內　†滿は†さらず

秋の競馬

廿四日の午後

廿四日の星ヶ浦競馬第三日目午後は第五競馬繫駕速歩より開始されたが一千圓福券レースは最終第十四レースにて舉行、一等には市內愛宕町上野ミチ子さん、二等には市內伊勢町赤松昇一氏、三等には若狹町山田ウメさんが各々入賞した、なほ當日の馬券總賣揚高は五萬四千八百六十圓で三日目午後よりの成績左の如し

▲第五競馬(繫駕速歩)三千二百米一着(山南小川騎手)九分卅六秒一、二着大五三着大立內配當五圓四十錢
▲第六競馬(新古呼)千八百米一着左近(山下騎手)二分十五秒二二着武幾鳥矢(大差)三着旭祥(大差)配當六圓四十錢
▲第七競馬(新抽)千六百米一着美川(福島騎手)二分二十秒三、二着飛隼(八馬身)三着富光(大差)配當單勝式八圓四十錢、複勝式一着四圓九十錢、二着四圓九十錢
▲第八競馬(各抽)二千米一着豐(內田騎手)二分四十二秒二、二着叶(二馬身)三着甚以(大差)配當單勝式五圓、複勝式一着五圓七十錢、二着九圓七十錢
▲第九競馬(新抽)千六百米一着金昇(小川騎手)二分廿四秒二二着鳴戶(三馬身)三着奉金(五馬身)配當單勝式六圓十錢、複勝式一着五圓十錢、二着五圓七十錢
▲第十競馬(各抽)千八百米一着時將軍(二渡騎手)二分廿九秒一、二着東(二馬身)三着一(四馬身)配當單勝式十五圓七十錢、複勝式一着五圓四十錢、二着五圓十錢
▲第十一競馬(各抽)二千米一着美勝(出水騎手)二分四十八秒四二着一姫(二馬身)三着日山(大差)配當單勝式十四圓六十錢複勝式一着七圓三十錢、二着七圓七十錢
▲第十二競馬(各抽)千六百米一着多嘉保(小川騎手)二分十秒一二着幾松(五馬身)三着水天(牛馬身)配當單勝式三十六圓九十錢、複勝式一着十四圓八十錢二着五十圓
▲第十三競馬(各抽)二千米一着嵐(內田騎手)二分四十五秒三、二着蓬萊(七馬身)三着若松(牛馬身)配當單勝式十三圓四十錢、複勝式一着五圓二十錢、三着六圓十錢
▲第十四競馬(新抽)千四百米一着紅洋(足立武騎手)二分二秒二着晴(大差)三着三光(大差)配當單勝式七圓七十錢、複勝式一着五圓五十錢、二着五圓六十錢、三着廿四圓

人事

▲田中捴氏(貔子窩民政署長)郷里の母堂看護のため歸省中のところ二十五日入港はるびん丸で冴子夫人同伴歸任

競馬漫談『穴』(四)

タイムの意外な良化

由來新馬が古馬となつて乘出すときに、タイムを良化するのが例であるが、これは新馬時代に調教不充分な爲に本當の足を出せずに居た馬が、次期競馬の時に調教漸く完成して眞の足を出し得るに至つたもので、例へば前擧の「張飛號」は新馬時代四年秋の臨時競馬には千六百米二分二十二秒二なるに、五年春競馬には同距離を二分十二秒と約十秒もタイムを縮めてゐる、然し本當の所その馬の速度が不定であつたので、定速度を良化したのでないから此項の說く部類に屬さない、此處では(?)速度を認められた馬が意外な足を出して大穴を明けた場合を述べやうと思ふ。

この春競馬第一日第十三レースにおける千早號の五十圓穴を例に取つて見る、先づ本レース出走馬中主なるものを擧げると雙號、大和號、一號、務馬號及千早號等で、この內一號は事前にコンデイションの不良を傳へられて居た爲に考慮の外に置く、雙號は五年秋の新馬で、此度が各抽界始めてのお仲間入であり、大分良くなつたとはいふもの、初日に取る馬とは見難い多くの理由を持つて居た、次に務馬號は調教中の工合も良かつた馬だが、この千六百米の勝馬と見做すには、過去の成績から推して無理だつたのである。

さうすると殘る大和號及千早號の孰かを勝馬に決定すればよいことになる、で兩者千六百米の過去の時計を見ると、大和號は約二分五秒四(五年秋二日目第八レース三着タイム)で、千早號は約二分十六秒六(五年春四日目第三レース三着タイム)で共に各抽馬としての一着のタイムを持つて居ないことは是等の時計はオミットせる三馬に比し左程良好でないのに何故二馬を此處にセレクトしたかといふと、それは春競馬の調教におけるタイムなり、工合なりが非常に好かつた爲で、過去の時計を必ず破るといふ想定に基いてである、で肝要な調教タイム(私の時計)はどうかといへば大和號二分十二秒で、千早號二分十七秒で、兩者は僅か一秒四である。

騎手は大和號の山下君、千早號の福島君共に大連競馬界の名手である、斤量を見ると規定重量外大和號が六斤と少し貸つて居るだけで、何等考慮する必要を認めぬ程である、調教狀況についていへば、千早號の出來は素晴らしくよく出來ては居たが、大和號もそれに比して、遜色があるとは思はれぬので、騎手の注意と熱心の度に向けた、そして調教に於て示した下騎手は大和號の出がいゝので、それに從つて乘つてゐたが、千早號の騎手は常に若干手綱を持めて居つた點から見て、調教に於ける一秒四の開きは或は、この差違から來るのではないかと考へることも出來たのである。

時計の一秒二の開きは勿論のこと、調教方針の相違から來るその差を、調教するに足らず、肝要な調教の差を、兩馬のものと假定すれば、兩馬の實力は殆ど同等と見做す事さへ出來る、尚スタート直前の調子は大和號十分の好調に對して千早號の十二分の好調ありと認めで問題は千早號の十二分好調の方がよいことになるが、大和號の一秒四のタイムが、凌ぎ得るや否やにあつた以上の說明から安當であり、千早號四分との和號六分、勝率は千早號を「確實なる」するのである、「不安な」ることに意外にも人氣は殆ど大和號に集つて千早號は少しも顧みられて居らぬ、少くとも四分六分ればならぬ人氣が大和號につたとすれば、勝率六分はを「不安なる本命馬」としする。

る本命馬を見送り、確實性の多い穴馬を買へ」卽ち馬券買ひの原理は千早號を買へと命令して居るのである。

レースとなるや果して四百米あたりより先端に出た千早號は、その儘逃げ切つて大和號を六馬身離してゴールに入つた、タイム二分十秒四、配當五十圓、このレースでこの馬が勝ち配當五十圓は全く意外で「人氣が穴を作る」「常に人氣から離れて冷靜に判斷せよ」等の競馬道の金言がさぞかし苦笑してゐることだらうと思はれる。

最後にタイム約六秒の短縮は、福島騎手の優秀な騎走技術と調教の完備卽ち馬の全能力發揮させる物語るものであるが、一面精神的及び肉體的調教の充分に積んだ馬は意想外なタイムを出すといふ事實を說明してゐる、この事實は「穴」を狙ふもの、見逃してはならぬ大切な條件なのである。

大觀小觀

支那側機關紙の言ひ分によれば「中村大尉そのものの存在が第一疑問」とある▲さうすると例の虛殺事件は「事實全然無根、日本側捏造する所の架空事件」と云ふことになる▲逆宣傳もここまで來ると寧ろ滑稽、呆れて物も言へない▲然らば日本側の嚴重な抗議に蒼くなり、或は關某を隱匿したり、するのは一たい何うしたわけか▲架空な事件に怯えるにしては餘りにも圖々しい相手である▲馬賊に拉致された大食組の二氏歸る、そして曰く「馬賊は案外話せます」と▲また曰く、馬賊は常に「不可能なこと一つもない」と豪語してゐます▲「不可能てふ文字なし」とは奈翁の辭書ばかりかと思つたら馬賊の辭書にも「不可能の文字なし」これは新發見▲「コクラ師團に動員令下る!」流言蜚語にしても少々念がいり過ぎる▲「エロダ師團に動員令下る!」なら眺論の題目位にはなるだらう。

◇正誤　前號本欄末尾の一項は誤植あり削除す

市況(廿五日)

株式

内地ボンヤリ當市弱保合

內地主力株の大引ボンヤリを入れて當市の東新は七十錢安に引け他株は見送つた

後場(弱保合)

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
新鈔	―	―	―	―
豆新	―	―	―	―
大新	二三五	二三五	二三〇	二三〇
東新	二三二五	二三二五	二三〇〇	二三〇〇
鐘新	―	―	―	―

錢鈔

一般人氣薄鈔票弱保合

後場の鈔票は標金も變らず一般に人氣なく弱保合閑散裡に大引した

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	四四〇	四四〇	四三〇	四三〇
遠期	四四五	四四五	四四〇	四四〇

出來高(期近)三千二百萬圓(遠期)百五萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	―	一二三五	―
二時半	―	―	―

出來高(銀對金)―(銀對洋)九千圓

商品

麻袋變らず綿糸保合

綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し當限七十錢安中保合を入れて當市は氣迷ひ閑散な場面を呈した

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	一〇八、六	二〇

出來高　二十梱

麻袋(出來不申)

奧地市況

▲奉天票 一四二、〇〇
▲奉天大洋 現物 四三、四五
▲開原大洋 現物 四三、五〇
▲安東鎮平銀 現物 二二九、七〇　定期 二三〇、九〇
▲哈爾濱大洋 當限 六一三　先限 六一二
▲哈爾濱大豆 現物 三五、六七　三五、六〇
▲哈爾濱小麥 九月 八九五〇 八九五〇　十月 九一〇〇 九一〇〇　十一月 九〇二五 九〇〇〇

市場電報

神戸特産

大豆現物	四二〇	
先物	三四〇	
豆粕現物	一九八	
先物	二〇一	
滿洲小麥	三一五	
豆油現物	一五二〇	

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	七七五〇	不申
大新	六九六〇	六九四〇
鐘紡	一九三〇〇	一九二七〇
鐘新	八二二〇	八二二〇
東株	不申	不申
東新	一三三二〇	一三三一七〇
日糖	不申	四〇九〇
郵船	不申	不申

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一三九二〇	一三九三〇
東新	一三一六〇	一三一七〇
五品	不申	不申
中	一〇六〇	不申
先	不申	一〇九〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式(短期)

	東新	鐘紡
寄値	一三一二〇	一九四三〇
引値	一三〇八〇	一九三九〇
高値	一三一六〇	一九四五〇
安値	一三〇四〇	一九三七〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
寄値	八一九〇	二三二〇
引値	八一六〇	不申
高値	八二〇〇	二三三〇
安値	八一四〇	二三二〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
八月	一〇八〇〇	一〇七六〇
九月	一〇九〇〇	一〇八八〇
十月	一〇八七〇	一〇八七〇
十一月	一〇九三〇	一〇八六〇
十二月	一〇九六〇	一〇九三〇
一月	一〇九三〇	一〇九三〇

大阪期米

限月	後場一節	後場二節
八月	六三九〇	六四〇〇
九月	六五九〇	六五〇〇
十月	六四一〇	六五八〇
十一月	六四一〇	六四二〇
十二月	六四一〇	六四一〇
一月	六四五〇	六四三〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
八月	二〇三四	二〇三五
九月	二二二五	二二一九
十月	二一九三	二一七六

神戸期米

限月	後場寄	後場引
八月	二〇四六	二〇三九
九月	二二三四	二二二六
十月	二二三〇	二一八八

東京期米

限月	後場寄	後場引
八月	二一一一	二二〇八
九月	二二一一	二二二六
十月	二二七五	二二一五

家庭

奥さま教育　お買ひ物上手(E)
下駄や草履は見切品を買ふこと
安物ならでは客足も淋しい

如何に私どもの生活に洋式が浸入し、私共の身の廻りに舶來品がまさはれる今日でも、なつかしいキモノが全然影をかくさない限り草履や下駄は依然生活必需品の一としての地位を失ふことはないでせう、それでこそ大連市中大小數十軒の

履物屋さんが昔に變らぬ

看板をかゞげてゐられるわけです「一昔とちがつて私共の店でさへ夜店物のやうな賤物を店先に並べないと客足が淋しいやうになりました、矢張り時世ですね」大連に古く履物を並べてゐる某老舗の主人公が嘆ずるまでもなく深刻な經濟界の恐慌はこゝにまでひろがつてゐます、やはり大衆の求めるものは「なるべく廉い品」にあるのです「安くつてよい品」といふのが近代人の商品選擇の第一條件であつて見れば生産者も昔のまゝの南部表やフエルト草履ばかりを守つてゐるわけにも行かずこゝにシユーズ履、キング履、吹かけ、新南部、新パナマなど

矢つぎ早やに新案特許品

が生れて來たのです、新南部、新バナマ、新ゝ表といふのはいづれもセルロイドを本物の南部表、パナマ表、籐表に似せて拵へたもので、本表よりずつとやすくて汚れても雑巾でゞもふけばきれいになります、でもどうかするとはげたり割れたりしますからあまり經濟的ではありません、キング履、シユーズ履といふのは草履に似てゐますがフエルトと表との間に塗りの木の葉が這入つてゐますから足當りは少し軟くて重たい缺點はありますが、濕りが上らないし體裁もわるくなく、おまけにフエルト草履より

ずつと安いので最も實用向

でせう、吹かけは名稱の通りで、フエルトの粉を木の葉に吹きかけこれに布の表をつけてフエルト草履に見せかけたものですから、一寸見はいいやうですがあまり感心した代物ではありません、もつとも値段は斷然やすいのですが中身が木ですから歩けばコトコト音がしてすぐに化の皮が現はれるし減りも早くて決して割のいゝ品ではありません、それより一圓前後の塗下駄か、いつそ二三十錢の安物の日和下駄でも穿いた方がむしろ賢かで經濟ぢやありますまいか、でも實際にはこの大連の國際都市の

ペーヴメントを踏むのには

下駄では不似合です、そしてすぐにへつてしまひます、だから上等の表つきの下駄などとても不經濟で穿けません、かといつて上等の華奢な下駄に不體裁なゴムを打つわけにも行きますまい矢張り草履に限りますそれも春から夏にかけての雨の多い時期を除いては矢張りフエルトでせう、フエルトのあの軟かなしかも彈力性にとんだ草履の味は何といつてもうれしいものですから……でそのフエルト草履ですが氣持よく永く穿かうと思つたら少し奮發して三圓から上のをお求めになつた方がお德用です、二圓臺の安物ではすぐフエルトがわるくなつて横からハミ出したり高低が出來たりしてすぐ穿けなくなります、表にしろ、鼻緒にしろ、臺にしろ、とにかくあまり安物は却て不經濟です、次に男物の桐下駄ですが

内地物よりも龍口物の方

が却てやすくていゝ品が手に入ります、内地物の柾目の通つた上物ですと四五圓もしますが龍口物なら二圓以内で立派なものが手に入ります、但し青島物は質が軟かくてへりが早くてあまり割がよくありません、内地から來る桐下駄であればセルロイドを張つて底にゴムを打つた物の方が多少不體裁でも實用向でせう、夜店でも方々下駄をうつてゐる所がありますがこれも安いといふだけで臺所ばきやちかばきの他には一寸不向きでせう、で履物にしても矢張り相當な店の少しよごれたりきづがあつたりして特別に見切つてゐる上等品の見切品を買ふに越した事はありますまい

主婦の友社の毛糸編物展覽會
内地滿鮮地方を巡回開催
大連は十月廿日から三越で

毎年主婦の友社の主催で開かれる毛糸編物展覽會は年々盛んになつて毛糸編物界をリードするかの觀がありますが今年はその第七年にあたりますので内地及び滿鮮地方の主要都市を廻つて第七回展覽會が開かれるさうです、出品物は一般人の苦心の作品を廣く天下に紹介したいといふ主婦の友社の意圖で、左記の條件によつて遍く一般の出品を募つてゐますから皆さんも續々見事な作品を御出品なさつたらよいでせう

▲出品に就ての注意
種類＝毛糸編物で製作した一切の手藝品を含む、又毛糸を應用した編物なども差支なし
記名＝一點毎に住所、氏名、賣價(非賣品なれば非賣と)を明記した小札を附けること
送先＝東京市神田區駿河臺主婦之友社内毛糸編物展覽會係宛
出品締切＝十月五日

▲賞金及賞品
一等奬勵金　一百圓(一名)
二等奬勵金　五十圓宛(五名)
三等奬勵金　十圓宛(五十名)
其他の優秀作品に記念章贈呈(三百名)

▲審査員　江藤春代女史、佐伯周子女史、柴田たけ子女史、大妻コタカ女史、成田順子女史、杉浦非水氏

因に大連における展覽會は十月二十日より三日間三越にて開催の豫定です

動物姿態三つ
―グロ味たつぷり

南海の國濠洲へ行くとすべての動物が温帶地方のものと違つてそのグロテスクな特長性を發揮して時には怖ろしくもあり、奇妙でもあり、また滑稽でもある。コゝに示す三種のうち(下)坊主頭の類鰐の海豹は多分の滑稽味を持ち(中)大鰐は餘りにも氣味惡く(上)珍奇な嘴を有するペリカンは案外人なつこい姿である。海豹は十五呎もあるものを寫したものでこれはオーストラリヤのニユーサウスウエルスの海岸に群をなして押寄せるもの、鰐に至つては少し人氣のまれな沼澤に見られる、またペリカンは寧ろ從順で捕獲し易いものだといふ

なぜでせう?
濕つたお天氣には音樂の音が狂ふ

◆…お氣附きになつて居られる方もありませうが音樂といふものは相當の距離で聞いた時にその日が乾燥した日であるか、或は濕つた日であるかに應じてその音色が非常に變るものです、これは高い音色の音といふものは乾燥した空氣におけるよりも濕つた空氣に於て早く傳はるのです、即ちこれがために高い振動の音と、緩やかな振動の音とを組合せて演奏された音樂を聞く時に相當の距離が其處にあれば低い音は緩やかに行くのにも拘らず高い音だけは速かに聞き手のところに到達するために一定の音律に於て演奏されたるテンポが全然崩れた形になつて到達するからです。

◆…更に委しくこれを考へて見ると最も音の振動數が濕度に依つて影響を受けるのは一秒間二千回の振動以上の事であつて、ピアノの例で云ふならば上の方の二個の「オクターブ」はこれです、これに反して中間階梯並に低音の部分の「オクターブ」のもの即ち普通の濕度によつて何等の影響をうけないのです、今日以前に於ても耳に聞き得る振動以上の調子即ち非常な高周波のものは天氣に依つて影響するものであると云ふ事は考へられて居つたのですが、普通の音樂のものでさへも天氣の影響を受けるといふ事を考へついたのは始めてゞす。

◆…この現象の最も顯著な例は濕つた空氣の日には乾いた空氣の日よりも高い調子の音が強く聞え過ぎるといふことを大きい音樂演奏室に於て試みて見るとよく判る事です。

期待するな(上)
杉野一湧

○…歳の　少い内は男女共に凡てに期待したがる。心界に於ける自身の心の位置、人其ものゝ深さに關して知らない爲めに見當違ひに終る事が多い、昨日に樂觀して今日に悲觀する。感情を強く打たれると、たちまち驚いて終つたり、たくらみのある親切を愛だと思つたり、觀察の鈍を勇敢だと感違ひしたり、利巧ぶるとを偉いと考へたり、眞實を平凡だと考へたり、本當の偉人をそれ程の人でもないと考へて、何でもない人を非常に偉いと考へたり

○…眞に　導いてくれる人を面白くない、理窟つぽい冷たい人だと考へたり、優しくしてくれたら、暖かい人らしい人だと信じて終つたりする。かうした事を永年繰返し、感違ひを明瞭にするとを知らずに、世の中はかうしたものだ、誰れもさう考へて居り、多數決程間違ひのないものはないなどゝ考へ、人生は淺くて面白くないと感じる事が、悟りであるのだなどゝ考へて、不明瞭を何よりの信條として世の大多數は(九十九パーセント)不明瞭を得意として、事實一方には明瞭に、斷然とした人の生死を見て居す、自身の生死は誰れでも

○…明瞭　に知れてゐて其中間の生活が滅茶苦茶が本當であると考へる人が、大多數であるといふことが不思議な大問題なのである。もし不明瞭が眞であるとしたら安心なものである譯なのに、完全である譯なのに、何故發達を考へたり、先驅を考へたりするのかとなる。われ/\が身體に、もう一つ足をつけてくれと望むものがあるか、眼をもう一つつけてくれと望むものがあるか、何故このまゝをよいとしないで、少數の先驅を仰ぐのか、これ又不思議な大問題なのである。どんな佳人でも賢人でも、どうしても死なねばならぬといふ事もありふれた事で、全部の人のする事であるから考へる

○…必要　がないと云ふ人が多い譯なのであるが、これ又不思議な大問題なのである。それに小數の先驅と大衆のわれ/\一人とは内容がどう違ふのか、どんな道を通つてどんな境地に住んでゐるのか、非常に違つた角度に立つてゐる、先驅の心境問題がこれ又不思議な大問題なのである。大衆が割合に特別扱ひしてゐる、實は一番自身に近い、身内にある、食するよりも以前に解決しなければならぬ、建築の土臺と骨に當る、ぬく事の出來ぬ、不思議な存在である大問題を三つ書いた。

○…先驅　と大衆と生死、これを一とまとめにすると、生とは何かになる、それは自己とは何かとならねばならぬ。この解決はようやく本格の人にもどつて、はじめて人としての第一歩の出發がはじまるのである。はじめて手を振つて明るい眞道を歩み出すのである。これに出る前は假生の狀態で胎兒である。暗いのである。籠から放された鳥で躍動自在、はじめて自由が自由となるのである。出る前は假の自由である。第一の出發に達した時生れて、はじめて喜びを感じるのである。白紙に黒汁を一點落したやうにである。この狀態は全眞道からは何でもない

○…眞の　並に相當するので一人前から割引されないで濟んだ絶對な嬉しさから、第一の出發を得た事を救はれたと云つて居る、天才と云はれて居る人は、其後が破天荒な自己發揮の生活をして居るのである。

滿日各地版

奉天附屬地を狙た稀代の馬賊團捕る
無頼の徒を使て書策

【奉天】醜業婦を手先に使つて奉天附屬地内を荒さんとした稀代の馬賊團七名の策動が事未然にバレ奉天署の刑事隊に大格鬪の上逮捕された痛快な話……市内橘立町五番地閻喜才(三二)方に阿片吸飲のため盛に出入をなす無頼の支那人あり之を聞き込んだ奉天署では刑事隊を張り込ませ注意中去る十五日同方に出入する張某なるものが主謀者となり無頼不良の徒數名を糾合し附屬地に於て強盗を働くため總ての計畫をなし準備を整へ機會をねらつてゐることを探知し愈々面白くなつたと意氣込んだ刑事隊は閻方の周圍を内査中更に張某外二名は常に拳銃を所持し懷中深く隱し居ることも確めしかも一女性がその間頻りに立廻り一味の聯絡を補助してゐること一味は城内方面に分宿し宿所も判明せずテッキリ確證を得て力を加へ嚴重警戒してゐた處二十三日午前十一時頃擧動不審な男女三名が閻方に立廻つたところを取押へんとするや彼等は早くもそれを知り隱し持つてゐた拳銃を取出さんとしたので刑事隊もすかさず彼等に組つき大格鬪の上三名とも逮捕したこれらは遼寧省城北燒火彎子生れ住所不定無職張魁武(三七)本溪湖縣城内崔家房生れ程玉山事鄭成海(三四)及び同范孫氏(二八)と稱し豫て捜査中の強盗犯人なることが判明したその共犯者本溪湖縣北燒火彎子生れ住所不定無職韓香午事韓樹標(三〇)が市内霞町五番地王占鰲方に潜伏してゐることを聞き同日午後一時頃が王方に立廻つた際これ又大格鬪の上逮捕した彼等は既に去九日午後八時半頃市内彌生町邦人煙草商西殿部太郎方表入口より侵入し支那人店員を脅迫して金品を強要してゐる際それと氣付いた主人は裏口より出て騒がれたため一物も得ず逃走したといふ強盗未遂を敢行してゐるもので更に范孫氏の仲介で范鳳來、叢桂及び張子軒の七名共謀の上市内彌生町三番地三民藥房、千代田通り廿六番地昭榮洋行を襲はんと計畫を樹て機會をねらつてゐた事が逐一自白するに至つたので右の内范、叢の兩名が□日午後二時半頃何氣なく閻方を訪れて來た處を大格鬪の上逮捕したこの兩名は本溪湖縣草河章生れ住所不定無職范鳳來(二八)同草河口生れ住所不定無職叢桂一(三六)と稱し叢桂一は醜業婦范孫氏の申し込みにより銃器購入に要する資金現大洋の八十元を渡し更に范から魁武に手交され銃器一挺を購入してゐた事實も暴露した奉天署刑事隊の活動により彼等の策動を探知して後九日目に七名中六名逮捕され總を免れる事が出來た譯で刑事課長からその勞を犒ふ祝電來り且つ立川奉天署長は刑事一同に金一封を贈りその効を表彰する處あつた尚右六名は引續き取調中であるが餘罪ある見込である

河北驛襲擊計畫
海城から遼河を下り營口を狙ふ馬賊團

【營口】二十三日午前八時ごろ河北驛北方約一里の支那部落小莊子に五十餘名の馬賊團現はれ河北驛襲擊の目的を以て目下潜行々動中なりとのことであるが該馬賊團は海城縣下口子附近に根據を有する頭目祭小莊、天下好、老北風の執れかに屬するものゝ如く彼等は數日來の北風を利用して戎克に乘り込み下航し來り一擧にして河北驛を襲ふ計畫なりと噂されて居る之を探知せる支那警察では河北第七分局員五十餘名並に鐵路巡警三十餘名を河北驛に非常召集し匪賊侵入の警戒に任じて居るが日本警察でも警戒を嚴にして居る

大孤山にも

【鞍山】鞍山警察署大孤山派出所の報告によれば二十二日午後十一時三十分頃大孤山西方隣接中國部落孤山子居住大孤山採礦所大工宴永懷(四九)方に各自棍棒所持する五六名組の強盗侵入し家人を縛し金品七十圓を強奪し尚隣家の同職大工張學連(四三)方に侵入し同方法を以て金品八十圓を強奪し崔家屯方面に逃走したと、大孤山派出所で嚴重警戒中であると

馬賊團と交戰

【長春】二十一日午後八時頃懷公安第三區小黑子隊長于振江は部下十八名を率ゐ陶家屯驛南方十支里の陶家屯部落附近を警戒中高粱畑中に潜伏してゐたる十名餘からなる馬賊の一團と出會し二時間餘に亙る交戰 賊の約半數を射殺して擊退せしめた

釣りの「旅順」(七)
寒河江生

◎かつて宅島氏はワイ商會主の夫婦連れと三人でチヌ釣りに出かけた、ワイ夫婦は何れもピクを用意して夫婦で釣の競爭を試みたのであるが、魚の喰ひが普通だつた間はワイ主人の方が斷然夫人をリードしてゐたところ、中途でワイ氏にも宅島氏にもパッタリ來なくなつて、夫人にばかり盛んに釣れる、そこで宅島氏が夫人の糸をよく注意して見ると釣が底について居ないらしいので、さてはチヌが浮いたなと氣が付き、二三尺上げて釣つたところ果して續々と釣れる、今度は宅島氏とワイ夫人とが盛んに釣るのを眺めてワイ氏頗るアセるがサッパリ釣れない、ワイ氏夫婦は「どうも不思議だなあ」「ほんとに妙だわ」で理由は判らずじまひに終つた事があると云ふ

◎總じて舟釣りでは糸を水深よりも一尋位、時には二、四尋も延ばして、なるべく遠くに餌を投げる事である、そうすれば沈んで行く間に浮いてゐるチヌも食ふし、又流れがうまい工合に糸を張つて餌を底に付けて呉れる、竿の先がピクピクと來た時靜かに上げると、魚は餌を透かしてなるものかとパクリ食ひ付く、そこで糸をたぐる

◎宅島氏は云ふ

「チヌは手答へで釣るやうでは駄目です、目で釣るんですね、竿の先がピクピクと少しでも動いたらもう食つてゐる時です、更に緩めれば竿が動かなくとも糸の動き方で見るのです、餌を呑み込ませて、釣つた魚が生すの中で白い腹を出して上つてゐるやうでは面白くありません」

◎魚が來ない時でも糸は臆病なくらゐ竿と腕一ぱいの高さ位に上げて見ては又下すことが必要である、これは遠い魚も寄つて來るし、寄つては來たが食はずに眺めてゐた奴は急いで食ひ付く利益がある。

◎餌はゴカイならば舟釣では例外なしに一匹通し鉤の先をチョット鉤にさして掛ければよい、チヌは必ずゴカイの頭に食ひ付くから長いしッぽだけ取られるやうな事はない、宅島氏に云はせると鉤の先が出てゐても少しもかまはないさうである。

◎竿はなるべく短い方がよい、精々二尺から三尺止まり位が扱ひに便利である(勿論舟釣りの場合だが)人造を十尋から十二尋(一匁前後のもの)の下に本テグスの成るべく細いのを一、二本付け其下に更に細い本テグスを一本又は半分付けてそれに錘と鉤を仕掛ける、下の本テグスは九月頃ならば毛抜き程度でよい、鉤は細い腕かミシン糸で縛んで一寸位のところに錘を付けその上がテグスになるのである竿は二本が手頃で、淺いところで食ひがよくなつたら一本でも澤山である。

馮庸對撫順の競技メンバー

【撫順】將來の日華を背負ひ起つ兩國青年の精神的融合を計る爲め年中行事第一回馮庸大學對撫順軍の陸上競技は愈々二十八日撫順競技場で華々しく行はれる、二十四日決定したる兩軍のメンバー左の如し

▲撫順軍 △主將柴田「選手」△百米3宮田、4川崎、2柴田、5田中△四百米3宮田、4川崎、1淺堀、6西野△千五百米7佐藤、8西川、4川崎、9鄉仁秀△高障害2柴田、1淺坂、3宮田、6西野、△走巾跳2柴田、3宮田、5田中、1淺坂△棒高跳1淺坂、3宮田、10仲摩、11澤田石△砲丸投12西村、10仲摩、13俵、14岡田△圓盤投15增城、12俵、11西村、10仲摩

▲役員 △顧問伍堂卓雄、馮庸△會長石□體協長△副會長窪田新平△總□委員長宮澤庶務課長△總務委員川口、升巴、原田各協理事及堀體協主事

▲競技役員 △審判長前島東鄉採炭所長△監察員山本、隅野、小敷賀、幸△決勝審判員岡部平太、木谷辰巳、伊藤、建部、小松△計時員山口、谷村、各嘉地△出發合圖員山本好松△跳擲審判員橫山、福島、土橋、小中、佐藤、小貫△召集通告員紀井、古賀、長谷川、關△新聞記者係本島△記錄員稻川、梅田、白水

▲馮大軍 △コーチ王□△監督孫□科、詩周△「選手」△百米1劉興亞、2陳國俊、3熊漢央、4劉仁秀△四百米5于希渭、3熊漢央、6王銘紳△千五百米5于希渭、7高玉嶺、8宮清明、9○敬恒△高障碍4劉仁秀、2陳國俊、10福△走幅跳13石維嶽、14宋惟□、15任永誥△砲丸投4劉仁秀、16周連□、17徐景新、18宮萬育△圓盤投16周連增、4劉仁秀、19張旭夫△千米陽典編走2陳國□、4劉仁秀、1劉興亞、6王銘紳、3熊漢央、5于希渭

奉天優勝す
州外對抗相撲競技會

【四平街】一般市民の待望久しき州外對抗大相撲は豫定の如く二十三日午前十一時より四平街警察署前土俵に於て盛大に擧行された此の日前日來氣遣はれた天候は名殘なく晴れて蒼穹紺碧を流し絶好の□和であつた定刻荒木地方事務所長の開會の辭によつて戰ひは開始された、戰績左の如し

▲第一回戰(勝 貧)
四平街B3—撫順市中A2
撫順市中B3—四平街D2
遼陽4—四平街A1
安東5—長春0
開原3—撫順炭坑C2
奉天4—公主嶺1
鞍山4—撫順炭坑A1
四平街C4—撫順炭坑B0

▲第二回戰
四平街B5—撫順市中B0
安東5—遼陽0
奉天4—開原1
鞍山3—四平街C2

▲第三回戰(準優勝戰)
A安東3—四平街B2
立 尾×—○峰 村
本 山×—○齋 藤
霞 田○—×角 田
福 本○—×榮 田
川 端○—×澤 田
峯村、齋藤續けて黜をなせしも後半形成一黜と四平街惜敗す

B奉天3—鞍山2
竹 下○—×古 川
片 山×—○上 山
井 上○—×石 田
古 野○—×安 田
山 根×—○伊 藤
右準優勝戰終りて直に四平街と鞍山の三四等決定戰を行ひし結果四平街軍の奮鬪振り目醒ましく左の戰績にて四平街勝つ

▲三、四等決定戰
四平街B3—鞍山2
峰 村○—×古 川
齋 藤○—×上 山
角 田×—○石 田
榮 田×—○安 田
澤 田○—×伊 藤

▲決勝戰
奉天3—安東2
竹 下○—×立 尾
片 山×—○本 山
井 上○—×霞 田
古 野○—×楠 本
山 根×—○川 端
而して正午後三時より本大會の兩豪雄奉天對安東の決勝戰が行はれしも安東の奮戰遂に及ばず惜敗し奉天の優勝する處となつた
右團體の優勝爭奪戰終つて直に個人優勝戰に移りしも是亦井上君見事優勝した

▲個人優勝戰
一等井上(奉天)二等川端(安東)三等勝山(撫順)四等渡邊(遼陽)五等稻田(四平街)六等片山(奉天)

▲三人抜き
右終つてより三人抜き五人抜き競技が行はれたが入賞者左の如し
澤田(四平街) 安田(遼陽)
小出(公主嶺) 勝山(撫順)
勝山(撫順) 澤田(四平街)
安部(撫順) 井上(奉天)

▲五人抜き
竹下(奉天)

終つて後相撲として左の三段の取組ありて後弓取りあり五時三十分賞品授與式に移つた
A□詰○—×時 波
B安 田○—×小 出
C吉 田○—×日 置
D澤 田○—×田 中
E安 部○—×峰 村

不戰十名を殘し撫順軍堂々勝つ
奉撫對抗劍道大會

【撫順】兩軍ベストメンバーを以て戰へる「奉撫劍道大會」は秋の氣正に濃き撫順永安臺道場に於て二十三日午後一時二十分より奉天木村、撫順宮澤兩教士交々審判に切拔勝負に依つて鎬尖火を吐く大熱戰が行はれ堂に滿つる觀衆をして片唾をのました、撫順の中島初段は奉軍の中堅佐々木、藤田の兩初段、佐藤、宮田、清水、森、坂本、前田各二段を六人計八人をなぎ倒し次で撫順森二段亦奉軍の大將四段、齋藤副將、橋本四段以下澁谷、尾形、福井、木戸、榎本の各三段五名計七名を總なめになり奉軍劍豪の舌を捲く神技に依り撫順は大將藤川四段以下不戰十名を殘し堂々と大勝閉戰午後四時四十分、その經過次の如し

奉 天(◎印勝)撫 順
先鋒 篠塚一級 ◎藤本一級
◎◎野邊一級 藤足一級
高田初段 井上一級
◎濱田初段 ◎◎中坂一級
近藤初段 中坂一級
◎佐々木初段 ◎嘉村一級
佐藤初段 嘉村一級
宮田二段
清水二段
森二段 ◎◎◎◎◎◎中島初段
坂本二段
花田二段
◎◎◎榎本三段 中島初段
坂本二段
溝口二段
樋口二段

奉軍(○○印勝)撫軍
○○篠塚 ○先崎
高田 ○○藤本
○○野邊 帆足
近藤 ○井上
○佐々木 ○○中坂
○濱田 嘉村
佐藤 ○中島
○○藤田 ○○水上
○清水 ○○樋口
○○坂元 外村
○○宮田 ○森
○○森 ○○溝口
前田 ○○海老名
○○福井 初保
○○木戸 ○本村
○○尾形 ○金澤
○○澁谷 ○高山
○橋本 ○愛甲
○○齋藤 ○藤川

因に撫森二段が奉の榎本三段に負けてゐるのは初め榎本の得意とする片手上段を知らなかつた爲めされた、後の團體試合では一本も取られず見事勝つてゐる

過次記 勝負は兩軍二十六黜の同黜より三時に行はれた個人三本勝負以前(自午後一時二十分)圓黜戰十名を殘して大勝、次に石切抜山、愛甲の各三段、藤川四段の不各二段、海老名、神保、木村、高頭て撫軍は外村、德森、佐々木の

製鋼所設置問題で全滿全鮮の對抗
氣運漸く濃厚となる

【安東】製鋼所新義州設置要望のため新義州期成會委員と共に赴連中の安東商議會頭荒川六平氏は歸途私用を兼ね鞍山に立寄り製鋼所問題に關する鞍山方面の空氣を觀察して二十三日午前七時歸安したが、左の通り語つた

滿鐵 新任副總裁に依るも現關東長官に依るも、大所高所よりする對滿政策の確立或は打開等は目下の處到底望むべくもないが懸案となつてゐる製鋼所問題だけは現滿鐵正副總裁は人心收攬の上からも必ず決定する事は田かに推定され又總裁の口裏から見ると肯かれる、然らば其の設置場所であるが之に就ては大連方面の空氣は滿鐵幹部方面も新聞通信方面も一般市民も州内であると確信して居るが總裁、副總裁だけは全然白紙であると見るのが妥當であらう、であるから此の問題に就ては決して捉はれてはならない、今は悲觀すべき時でもなく

樂觀 すべき時でもない、歸途鞍山に立寄つたが鞍山市民の意嚮としては來る二十五日に正副總裁が巡視に來る爲め其の際鞍山に設置の要望はするが必ずしも鞍山を固執しない、只促進方を要望するに至るらしい、現在鞍山市民の希望は州内でも新義州でも宜しい早く開始して欲しいと言ふにある、此點は味ふべきであらう、其れに始めから滿洲は各地とも別々の運動に岐れて居り効果的ではないと言ふので近く大同團結のもとに第一段として滿洲設置の運動を開始するに至る氣運に向つて來た、そこで全滿洲側の運動に對抗する爲めには是非とも全鮮的運動の必要なるは謂ふ迄もなく自分の

意見 を以てせば宇垣總督を先頭に立て、愈々最後的全鮮運動を起す必要があるであらう、安東としては近く實行委□會を開催して運動方法に對する最善の計畫を樹てる筈である

醫大診療團に刺戟されて向學心を燃した蒙古青年
遙々奉天の師範に入學し久保田博士を私邸に訪問

【奉天】滿洲醫大診療團の診療が緣となり向學に燃えて已む方なく遂に笈を負ひ志を立てて遙々支那側師範學校に入學勉勵してゐる一蒙古青年が東蒙を診療當時團長たりし久保田晴光博士を廿四日態々訪れて來たといふ日蒙親善の一端の現はれとも云ふべき美しいエピソード

當地醫大では每年夏季診療團を組織し東蒙一帶に出かけ炎熱と戰つて巡回診療を行つてゐるが久保田博士を團長とする診療團一行がこうして東蒙に診療に赴いたのは今を去る八年前で同大學で巡回診療を開始したばかりの際であつた故に折角巡回診療に赴いた一行も蒙古人側では何でも掠奪する一隊かそれとも占領せんとする一隊かの如く思はれ診療團一行を見て逃げかくれする始末に全くこの診療も餘り効果を擧げ得られないといふ時であつた

しかし一行は診療團の主旨と目的と使命を何とか諒解されない蒙古人に紹介するためにはそれは問題ではなかつたそして一行は出來るだけこの諒解に努めるのであつた一度久保田博士一行が診療の器具材料を取揃へて東蒙はハルモトに入りこんだ時一般に診療團を怪しいものとばかり思ひつめて避けてゐる蒙古人中殊にこの診療團に接近し顯微鏡その他診療に使用する器具を一々見て且つ醫學方面の樣子を熱心に聞いてゐる當時僅か十三歳になる蒙古の一少年があつた

日本側の學校でも入學して勉強したいと云ひ出したのであつた、この健な決心にその少年の父は承諾はしたもの、その母は遠く郷里を離れてしかも他の言葉で勉強するのであるからせめてその少年が青年となりお嫁を迎へるまでは家に置きたいと云つてどうしても聞かなかつたのである、だがその少年の決心には母の心も遂に動かされ吾子愛すればこそ親の許から離して奉天に出すことになつたのである

それは二、三年前のことでその少年が久保田博士の診療で動機となりその後時□兩親を口說き始めて五年後に漸く實現した譯で今は東北蒙旗師範學堂に入學し一生懸命勉強してゐる名は鮑君と稱し勉學の動機となつて八年經過せる鮑君は今年が廿一歳の青年であるそして忘れもせぬ久保田博士を廿四日朝同氏の私邸まで訪れて來たのである、吾が生徒のやうにいつくしみを持たずに居られない久保田博士も鮑君の來訪を喜んで迎へ身體を大切にしてしつかり勉強しなさいと激勵し同君も喜び勇んで又參りますと立ち去つたのである尚江口副總裁の娘婿に當る平山遼博士が診療團の團長となつて診療に赴いた際も熱心に見學した事あり二、三年前奉天まで來て態々平山博士を訪れて來たこともあつたと

鮮人退去強要

【撫順】中國外交協會員の暗中飛躍—二十三日午後五時頃鮮農多數居住の萬達屋の中國家主の宅に外交協會の一幹部來り「この附近に鮮人の借家人は何人あるか十五日以内に悉く放逐すべし」と嚴命して去つたが借家鮮人はその對策に腐心中

邦人使傭の華人を拘禁

【遼陽】遼陽滿鐵社員倶樂部附屬理髮店近藤賢一方の職人崔慶賓(三□)は廿一日夜城内平康里に赴きたるに公安局員は不法にも同人を引致し剌人遊民罪といふ罪名で三年半の懲役に處すと稱しゐる故至急日本官憲から交涉を願つて呉れと傳言があつたと雇主は廿四日警察署に出頭事情を願出たが何れ相當交涉あるべきも聞く處に依れば崔は倶樂部理髮部に四年餘りも勤續き每月食事主人持で金三十圓の給料を受け居るので服裝も中國人には珍らしくハイカラで遊民等とは以ての外だといはれて居るのみならず同人は地方事務所の雇人某の媒介で今秋城西から妻を迎ふることに確定し廿三日が結納の吉日であつたので之が爲め延期の止むなきに至つて居ると

鮮内に又流言

【安東】萬山事件の惹起當時鮮内に於ては鮮支人の紛爭は相當熾烈なるものあつたが其の後漸次人心も落つきを見せて居た處最近中村大尉殺害事件に引續き青島に於ては我が國粹會本部の襲撃さるゝあつて民心再び動搖を見んとしつゝある折柄新安縣地方に於ては支那人側に種々流言が行はれ來る二十八日(陰七月十五日)の鬼節を期して鮮人は一齊に立ち大暴動を起す等と蜚語し單獨旅行を企てる支那人は殘る家族の安否を杞憂して旅行を見合する等同地方に於ては可成の動搖を見て居る

撫順にも謠言

【撫順】時局に關し流言蜚語旺なる折も折撫順城内中國商人約二千戸は二十四日朝來悉く閉店した右に就き同日正午縣政府公安隊長は武裝せる部下十數名を連れ同所に急行した、原因その他詳細撫順署に於ても目下極力取調べ中

鐵開水泳大會

【鐵嶺】連戰連敗の戰史を綴つてゐた鐵嶺のスポーツ界も二十三日は戰運開るよく陸上競技では支那側と五對一四といふ大差で破り一方水泳大會の方は鐵嶺軍二九、撫順僅かに五といふ壓倒的大勝を博し戰史に華やかな一頁を添へた因みに水泳大會の成績左の如し

二百米リレー 二分一〇秒四
百米ブレスト 一分四〇秒 一着山田(鐵)二着中山(鐵)三着川尻(開)
四百米フリー 六分五九秒六 一着小里(鐵)二着橋本(鐵)
百米フリー 四分一四秒八 一着石塚(鐵)二着松本(開)
五十米バック 四一秒三 一着小里、二着山田、三着田渕(開)
五十米フリー 三一秒五分四 一着小倉(鐵)、二着石塚(鐵)三着垣成(開)
百五十米メドレーリレー 鐵嶺 一分五八秒

沿線往來

▲田川代議士 廿四日奉天へ
▲森田奉天事務所鐵道課營業長 廿四日歸奉
▲島本奉天守備隊長 廿三日着任
▲足立四洮鐵路事務處長 廿三日四平街へ
▲郭吉長鐵路局長 廿三日來奉
▲斯波博士(滿鐵技術顧問) 廿四日大石橋へ
▲有賀庫吉氏(遼陽地方事務所長) 廿三日奉天往復
▲多門第二師團長 廿四日朝歸遼
▲渡邊德重氏(遼陽每日社長) 廿四日朝大連より歸遼
▲藻谷準次郎氏(前鐵嶺地方事務所長) 鮮間島地方視察のため二十五日出發、來月初め歸鐵の筈
▲伍堂滿鐵理事 二十四日斯波技術局長同伴、鐵嶺到着
▲伊東武敏氏(鞍山獨立守備隊第六大隊附步兵大尉) 鞍山中學校配屬將校に任命され二十四日鞍山各方面を歴訪挨拶
▲村上宗治氏(松山步兵第二十三聯隊附少佐) 二十六日午後旅順發列車で赴任の筈

ゆく夏―きのふ郊外にて

△△△△△△△△△

セミヨノフ將軍が夏家河子で樂しい愛の巣

肉體的美人の人妻と……

▼▽……世界共産化に絶對反對する内外蒙古、シベリヤを共産制から解放することが予の使命だとキツとなるアタマン、セミヨノフ將軍にも閑日月、人妻との戀に夏家河子で愛の巣を作り樂しんでゐる―三ケ月前奉天に姿を現したセミヨノフ將軍は反共産運動を聲明し殘黨一味と各方面に手を伸ばして活動してゐたが、セ將軍の雄々しい姿に人知れず心を悩ましてゐたのは良夫ある身の肉體的の美人リリヨーラ（？）であつた、

▼▽……女はかつてシベリヤでセ將軍が政府を組織し白派の驍將として奮鬪せる時、チタ寺院の大僧正であつた父をもつてゐたのでセ將軍の人爲を知つてゐるところから遂に不倫の戀は燃え立つたのであつた、若き女を愛することにかけては英雄であるセ將軍はこの人妻と二ケ月前奉天を出奔し今は前露亞銀行總裁であつたワリヨフ別莊に住み悠々自適の生活をしてゐる、愛の殿堂は果していつまで續くことやら……リリヨーラの良夫セルシニヨーフは奉天のチューリン商會支店長として家出した妻の行方を淋しく視つめて暮してゐるが、セルシニヨーフとリリヨーラが結婚したのは今から五年前で滿洲里にリリヨーラの父が住んでゐたので滿洲里で夫婦となつたのである、

▼▽……然しセルシニヨーフにも二兒をもうけた前妻あり、リリヨーラと結婚した時に前妻は離婚され今はわびしく？上海に暮してゐるといふ、白派の人々をめぐる戀物語り―自然主義のロシヤ人仲間ではこれが自然の戀の道行で七面倒な法律などは問題でないといふてゐる

タクシー料金は大體市内五十錢を維持

駐車場問題は時期尚早論が有力

大連自動車組合役員會

大連市内におけるタクシー料金の合理的値下げはガソリン、車體、電話等一般相場低落に從ひ、業界の不況打開策として、一面業界の急務とされ、一部營業者間には駐車場設置によつて馬車、人力車の如き非文化的交通機關の驅逐を計らんとする計畫が具體化しつゝある矢先

關東廳 保安課では去る十八日附、大連自動車營業組合に對し、割引制度及び謝恩券類似行爲の禁止命令を撤回すべく、組合側の意向を徵して來たので、組合は二十四日午後二時役員會を開き協議し、同時に屋外駐車計畫に就き種々討議するところあつた、この結果割引、謝恩券類似行爲の禁止を關東廳で解かれるに於ては、再び自由競爭時代を出現することゝなり強制組合の主旨に反するものであるとの理由で結局タクシー料金は市内五十錢均一を維持する說が多數を占めたが、兩三日中更に役員會を開いて組合の態度を決定し九月二日までに有田保安課長に答申することゝなつた

さらに駐車場問題は實現の曉は必然的にタクシー料金の値下げを促進されるので、時期尚早說がこれ又多數を占め當日は具體的協議まで入らなかつたが、目下組合側で計畫してゐる駐車場問題の内容は左の如くである

一、駐車せんとするものは一ケ月約二圓を組合に納入のこと

二、駐車場巡視を置き監督すること

三、其他に就ては構内規定を準用す

四、駐車場を起點として賃金算出し賃金表を掲出すること（但し最低を二十錢として距離に應じ算出のこと）

五、駐車場の位置及び臺數（車輛數は各位と協議の上）日本橋附近、西廣場、大廣場、浪速町、大山通、若狹町通、連鎖街内、敷島廣場、大連神社、大正廣場山手町、信濃町市場、電氣遊園逢坂町内、南山麓、讀賣屯廣場滿鐵本社前、寺兒溝電鐵終點、朝日廣場、東廣場、東關街、山縣通市場前、山縣通電車交叉點、中央公園停留場、千代田町廣場、奥町派出所附近、聖德街太子通、沙河口市場附近、大連病院、ロシヤ町電鐵終點、中央試驗所前、露天市場、小劍家屯（臨時駐在所）老虎灘終點、星ケ浦、競馬場、靜ケ浦、黑石礁

スポーツと音樂と

映畫の三重奏『水の夕べ』

廿六、九日の兩夜にわたり大連運動場で開催

夏の夜の暑さを逃れ、涼爽の水邊に涼を趁ふ人々のために、本社主催、滿鐵運動會後援の下に來る二十六日並に二十九日の兩日午後六時より大連運動場に於て第二回水の夕べを催し風を湧與しながら、スポーツと音樂と映畫の三重奏を樂しむことゝなつた、スポーツは

水泳界の尖端に立つウオーター・ポロー、出場チームは滿鐵競泳部と大連O・B、音樂は最近來連を傳へられてゐる熱狂歌手、ソプラノ・リリコ・レヂエロのベルトラメリ能子夫人のレコードコンサート、映畫はかつて大連に於て上映された日活映畫中、最も好評を博したものをピックアップすることゝし、第一日は大河内傳次郎、伏見直江主演の「謎の人形師」（八卷）と、瀧口ふじ子、神田俊二主演の「蒼白き薔薇」（十一卷）を組み

第二日 は大河内傳次郎の傑作「血煙高田の馬場」（十卷）と中野英治、瀧口ふじ子主演の「摩天樓」愛慾篇（九卷）の二本尙兩日とも時間の許す限りスポーツ映畫をも上映する等で夏の夜の暑さを忘れる樂しい催しである

心臓を射ち貫いて中年男女の心中

皮商店主と年增藝妓

市内常盤町三九辰巳旅館こと猪股豐彦方では二十四日午後十一時ごろ旅順市忠海町居住職人春日久樂（三）同妻徐千（？）と稱して止宿した男女の客が二十五日午後一時ごろになつても起きて來ないので不審を抱き、女中松本しづが兩名の居室たる十一號室を訪れてみると一ツ夜具の中に臥つた兩名は頭部を北向けに仰臥し、兩手は虚空を摑み、蒲團の周圍から壁一面に鮮血が流れ出てゐるのに吃驚し家人を呼んだことから騷ぎとなり、急報に接した大連署司法係から吉富警部補が香取醫師、秋事、鑑識係員等を伴つて現場を檢證したが男女共ブローニング一號型拳銃でおのおの左乳下から心臓を貫通、右腋下に拔ける銃創を負ふて、たゞの一發宛で絕命、二發の彈丸は蒲團をつらぬき、その下の疊に留まつてをり先づ男が女の心臓部へ銃口を押しつけて一發の下に射殺して後、男もわれと吾心臓部へ銃口を強壓しながら發射、絕命したもので香取醫師の死體檢案の結果、兇行は廿五日拂曉行はれたものと判明した

不況と持病

中年の愛慾生活の揚句 悲觀、厭世、情死へ？

枕頭に置かれた二通の遺書により夕刊所報の家出男女と判明、即ち男は信濃町九四皮革商春日商店主春日時之助（三）女は逢坂町貸座敷一力樓方抱藝妓京助こと德島市生れ増田カツ子（三）と判明、檢視の上、男は實兄市内沙河口霞町居住春日圓助へ、女は樓主高桑ノブにそれぞ引取られたが、兩名の死は遺書のあつた點より見て覺悟の情死であることが確められた

情死した藝妓京助は昨年春、春料亭南海から大連美濃町山口席へ仕替へ更に去る七月二日逢坂一力樓へ五ケ年々期十五百圓で仕替へをしたもの、情死の相手春日とは昨年暮以來深い馴染となつてをり一力樓へ再仕替へして以來は殊に情交關係が親密となり、男は今春妻を内地へ還して以來三日にあげず一力樓に登樓して女との逢瀨を唯一の樂しみとし、女も男の許を每日のやうに訪れては世話女房氣取りで互ひに中年の爛れ切つた愛慾生活に心身を疲れさせてゐたが

無理心中か

一力樓主語る

兩人共に近來めつきり健康がおとろへた上、男は不況で經濟的に逼迫し、女は持病の婦人病が昂進したのを悲觀して厭世の揚句情死したものといはれてゐる

右に關し京助の抱主高桑ノブは突然の出來事に胸を押へながら左の如く語る

京助は元長春で稼業しその後大連檢番山口席から小秀と名乘つて居り約二ケ月ばかり前々借千六百圓で私方へ仕替して參りました、春日さんには妻女の間に十二歳になる男の子まであるが素行修らぬ爲め妻は昨年その子供を置いて内地に歸つたさうです、二人は京助が始めて大連檢番より出た日から馴れ染め以來女が私方に仕替しても春日さんは子供を伴れてまでズウと遊びに來て居りました、一昨日も參りました、處が春日さんには各方面に馴染みがあつたらしく京助が私方へ仕替へして來た當時小崗子の女から「京助の裏面には賭博打ちがついてゐるから氣をつけなさい」と云つて電話をかけて來た者がありました、この女も春日さんの馴染さかで京助と戀敵の形となり髮を切つたとかさ云ふ事も聞いてゐます京助は二十四日の午前十一時半ごろ家出した切り歸つて來ないので心當りを搜してゐた處でした、情死する氣配など些つともありませんでしたのに男からの無理情死かも知れません、こんな書き置きなどありますけれどこれは京助の筆跡ではありません

兩人の遺書

兩名の遺書中、男のそれは一粒種の長男金正（？）に宛てられ父がお前に先立つ逆さまごとは許して呉れ、父の骨は内地（和歌山市北片原町）の祖先の許へ送つて呉れと認められてあり、女の樓主に宛てた遺書には

仕替へて僅か二ケ月にも足らず死んで行く私を災難と思つてあきらめて下さいといふ意味が書かれてあつた

根室に在るリ大佐夫妻

和服姿が似合ふアン夫人

【根室二十五日發】訪日飛行コースの最難關千島突破に漸く安心したリンドバーク大佐夫妻は二階旅館に始めて安心の睡眠を執つた爲めか二十五日は午前八時迄グッスリ寢込んだ浴衣着の二人はお揃ひで九時トーストにミルクで朝食を濟まし來訪の安藤町長と會談した後リ大佐は作業服に改めて十時海岸に繫留中の愛機に赴き特派された西川航空官、吉田中島製作所技師長其他熟練職工と機體エンヂンの點檢を行ひ計吐夷不時着の際受けたフロートの一部の損傷の修理に取りかゝり正午大體これを終り一先づ旅館に引揚げ晝食後更に修理とガソリン補給を行つたアン夫人は大佐の勞りから晝まで花束に埋もれた座敷でしきりに故國に送る手紙を認めてゐたが浴衣に伊達卷を巻き附けた和服姿が金髮のボッブ、ヘーアルによく似合つて見えた

歡迎會を放送

【ニューヨーク二十四日發】コロンビヤ放送會社はリンデー大佐の東京に於ける歡迎會の模樣をアメリカ商務省のネブラカス州のグラントアイランドに在る受信アンテナを通じ全米に放送するに決した

明朝根室出發

【根室廿五日發】リンデー機は廿六日午前八時から九時迄の間に當地出發霞ケ浦へ向ふ事となつた

選擧違反求刑

大連市會議員高塚源一氏及びその選擧運動員廣田三助兩氏に係る市議選擧違反事件公判は廿五日午前十時から大連地方法院第二號法廷で小田判官係、井關檢察官立會、齋藤、杉野兩辯護人列席の上開廷高塚氏に對しては二ケ月の禁錮、廣田氏に對しては八十圓の罰金を求刑、齋藤杉野兩辯護人からそれぞれ無罪論の辯論あり判決言渡しは九月一日と決定、正午閉廷した

馬賊襲擊に恰好な小林氏宅

身代金を請求せぬために 拉去した方向不明

唐山附屬地における邦人農園經營者小林芳人（？）拉去事件につき、關東廳警務局では、大石橋署の警備と事件の搜査連絡のため廿三日午前警務課泉主任、秋事課田口鑑識係長を大石橋署に急派し連絡を執らせるところあつたが、泉、田口兩警部は廿四日正午各々歸連した、田口警部は語る

唐山附屬地は海城を去る約三里牛（日本里程）の土地で、嘗て滿鐵の信號所があつたところで、現在では日本人は小林氏一人しかゐない、小林氏は海城に獸醫をしてゐる兄の手傳で唐山の附屬地で三町歩ばかりの煙草畑と陸稻を造つてゐた、今年は營口海城、蓋平各縣ともに支那官憲が匪馬賊を極力討伐したので、丁度この三縣の境界にある唐山は危險區域だつた、被害現場は見たが、小林氏の宅は實に不完全で馬賊が襲擊するのに恰好な造作で、防備も何もない家だつた、妻女は側へ隱れたので人質を免れた、この唐山附近は今年は饑饉で農家が極度に疲弊してゐるので、馬賊團も思ふやうに掠奪が出來ぬので、附屬地方面にまで、兇手を延ばし始めた傾向がある、だから附近の馬賊一樣に高粱繁茂期における馬賊被害を避けるために附屬地へ避難してゐる、小林氏の消息は詳かでないが、身代金を請求して來ないので、どの方面に拉去されたのか分らず、極力搜査中だ

エグゴニンの密輸事件公判

第二のベンゾイリン事件として世間の注視を浴びてゐる霧島町一一九稀米業鍬野與三平、千代田町三六藥劑師谷捨吉、山縣通り一三三小松茂（？）西公園町二九四田邊方同上鈴木英二（？）西通り一八紹介業福田宇三郎、信濃町三の一三五船具商大政喜三郎（？）の六名に係る價格十五萬圓のエクゴニン密輸麻醉藥取締規則違反事件第一回公判は二十五日午前十一時から地方法院第二號法廷で小田判官係り、井關檢察官干與、關係辯護士列席の上開廷、午前中被告鍬野與三平に對する事實審理あつて正午休憩午後二時再開、被告谷捨吉の事實審理あり、公判を續行し午後四時二十分閉廷した

愈よ檢便を開始

一日上海發便船から

大連港のコレラ豫防策

神戸における英船カッセイ號における虎疫患者續發に端を發していよいよ關東廳でも上海を虎疫流行地帶と決定、當地海務局では木村檢疫課長これが下準備打合せのため順に衞生當局を訪問したが、その結果遂々既報の如く採便檢查を施行する事に決定した、即ち九月一日以降上海を出港した船舶に對し檢便を開始する事となつた、尙海務局においてはシーズン中臨時醫官二名を增員すると、同に上海大連間定期船を有する大汽では看護婦の雇入れ等下準備に忙殺されてゐる

州内庭球大會

體育堂運動具店主催本社後援の第二回州内アマチユア庭球大會は來る廿日午前九時より北公園及び乃木町兩コートに於て舉行するが參加規定左の如し

▲使用ルール　神宮ルール（但し前衛のサービスは自由とす）
▲使用ボール　丸菱ボール
▲出場資格　本年度滿洲日報社主催全滿籠球滿洲内外出場選手並びに補缺を除いた一般
▲參加料　一チーム金二十錢
▲締切　八月二十八日
▲申込場所　連鎖街體育堂運動具店

滿電の電熱勸誘

滿電では低物價時代の趨勢に順應して各需要家の負擔を輕減すべく去る五月一日より電熱料金並に之が最低料金改正を行ひ大々的值下を斷行したが、更に之が大々的宣傳と需要喚起とを計るため今回來る八月二十五日より九月二十五日まで一ケ月間左の特典附にて之が勸誘を一般にすると

一、試驗用として使用電力料一ケ月無料

二、配線工事、工費免除、材料實費、月賦扱、會社持の相談に應ず

三、工事手數料免除（規程は二圓）

四、器具特價、月賦扱

松山	回數	實業
0	一	0
0	二	0
0	三	0
0	四	0
0	五	1
0	六	0
0	七	0
3	八	1
0	九	2
3	計	4A

下志津大連間陸軍飛行延期

二十六日太刀洗を經て一路大連へ飛來する豫定であつた千葉縣下志津陸軍飛行學校の偵察機二機は天候不良のため飛行延期となつた旨二十五日午後要塞司令部大連出張所へ入電があつた

警官講習生

朝鮮警察講習所生徒一行四十八名は二十五日午前八時着列車にて助教授新井基一氏に引率されて來連大連居留民場を視察した後小崗子署樓上においてて三浦署長より管内事情說明を聞き志岐保安主任の案内で露天市場を視察した

別府料亭千草のサヨ子、と云つてもこの滿洲じや餘り知つてゐる人……どころか殆ど知つてゐる人は無いが、かつて山東の野に三軍を叱咤した張宗昌將軍の第二十六夫人といへば、はゝア別府のお土産かさうなづける日本ムスメ、本名森脇サヨ子（？）さんは今常盤橋際の天滿屋ホテルの四階から大連の町を見下してゐる。

……◇……

下野したといへどもかつては大將軍だ。その寵愛を一身に集めて、嘸や人も羨む生活だらうと思ふと、これは又意外。當のサヨ子さんは每日々々窓から表を眺めて泣きの涙。たとひ寵愛を一身に集め、身に餘るやうな生活をしてゐやうとも、張將軍の餘りの盲愛はサヨ子さんを籠の鳥にしてしまひ。

……◇……

人との面會は勿論電話も取次ぎならずとのキツイ申し渡し、外出等は思ひも依らぬ監視つきの籠詰生活だ「佳人薄命と云つてよいか、醜いか……ともかくも最近のサヨ子さんは滅切りやせてしまつた。過ぎたるは、及ばざるに如かず……この言葉が一番當てはまるやうだ」と某消息通が語つてゐた。

兒童放送

名古屋城の御殿

名古屋城は皇室より名古屋市に下賜せられ既に公開して居るが、其内保護建造物になつて居る御殿は、陛下も度々御宿泊あらせられた離宮である。此部分だけはまだ公開の運びに至らなかつたが、今度愈々公開するに就きて其前に修繕を加へる事になつた、修理する場所は表書院花鳥の間（上の間、一の間、二の間、三の間を總稱す）だけで其繪は土佐光起の筆と傳へられて居る。襖でも壁でも繪具が浮き上つてその間に塵が溜つて居るのだから筆の先で拂ひ落しつゝ修理する。東京帝室博物館の讀家前田氏實、永井幾麻の兩氏が擔任して居る。

赤字の除隊

敦賀歩兵第十九聯隊では赤字補塡の必要上、兵卒百十八名を除隊した。兵卒等は思ひがけぬ除隊で喜んだが、暇のことゝて職業を得られなくて困る者が多く、聯隊では今更ながら驚いて就職の斡旋に骨折つてゐる。

可愛いスリ

五人組のスリが神戸湊川署に檢擧されたといふと大袈裟だが、七歳、十一歳、十五歳の女の子、九歳十三歳の男の子。皆小學生で、縁日などで婦人からスリ取り、其金品は活動見物にあてゝ居た。

警察法研究の娘

神戸湊川署の秘書室に女給仕と机を並べて女學生風の婦人が仕事をして居る。書類を調べたり署員と談論したり、之れは東京日本女子大學家政學部の學生山田照子（？）さんで暑中休暇を利用して警察法規を實地について研究して居るのだといふ。

河童の和喜藏

河童の和喜藏（？）は淡路津名郡□□町の男。汽船八幡丸に乘つて歸る途中、海上の一發動船の甲板で數名の男が立ちまわりを演じてゐるのを見てだまつて居れず、すぐさま飛び込んで泳ぎ着き喧嘩の原因を聽くと、舟と船とが衝突して錨を二十尋の海底に落したのだとの事に、そこは河童の先生「ヨシ引受けた喧嘩するな」と海に飛び込み重量二十貫の大錨を二十尋の海底からヤスヤスと拾ひあげた。

曙の鐘 (29)

倉田潮
淺枝次朗畫

マリアの罪（三）

靜い月光が舞臺裝のきたない小部屋の窓から青光の三角筒を室内に突きこんでゐた。その三角筒の中にテーブルに顔を埋めて泣くマリアはポンヤリと黑い塊りになつて見えるのだつた。

何時までも彼女は首をあげなかつた。

舞臺ではレビューが初まつたらしく、賑やかな樂につれて、足踏の音が床を顫はせて來た。時々は拍手につれて淺草風の頓狂な彌次が音樂を截つて響く。しかし、マリアは今もなほ月光の三角筒の中で、テーブルに首を埋めたまゝ動かなかつた。月光のあたらない室の奧には敷布の白い隅と壁のベテロの像とが妙な光に輝いて見えるだけだつた。

突然マリアは月光の中に首をおこして悲しげな低い聲で呟いた。

「私だわ、私が殺したのだわ」

彼女は跪いて神に哀願するやうに兩手を高く空に浮した、顔が鍍溜のやうに青く月光に輝いて見えた。

マリアの父は明治初年に長崎に來たフランスの宣教師だつた、長く日本に布教してゐる中に、人情風俗に通じ、また自由に日本語をあやつることが出來るやうになつたので、フランス大使館が東京に來た時に、强て布教師をやめて大使館づきの通譯にならねばならなかつた。その時、彼は千葉の海岸に遊びに行つてゐて、日本人の娘と戀におちてつひに結婚した。妻の父は「氣狂ひ神徒」と云ふ仇名で千葉の海岸村一たいに名を知られた不思議な人間だつた。森の中の破れ堂の中に住んでゐてふせで生きて行くことだけは解つてゐるが、信仰するものが佛であるか神であるか、或は路傍の淫祠であるか誰にも解らなかつた。たゞその讀經だけは非常によくあたつたので、村の人は占者の代りに破れ堂を訪れるものもないではなかつた。また千里眼のやうなこともして、これには「すかしの街」と云ふ名をつけてゐた。夜半に神がかりのやうになつて森の中で「おんべ」を振つてゐたのを通行の人が見て氣絶したと云ふ話もあつた。

その一徒が自分の子か何うか解らないが一人の娘を養つてゐたが、それが後に旅館の女中になり、避暑に來てゐたフランスの通譯と戀におちて結婚したのである。娘はごく普通の女で、氣狂ひ神徒には全く似たところのない女だつた。この娘とフランスの通譯との間に生れた子がマリアなのだつた。つまりマリアは氣狂ひ神徒の孫にあたる譯である。が、マリアを生んで五六年すると其の妻が急に何處へか姿を隱して了つた。氣狂ひ神徒の噂だからふいに氣が狂つて何處へか行つて了つたのだらうと云ふものもあれば、いや若い男とこしらへて一緒に逃げたのだと云ふものもあつた。とにかくフランス人の通譯はマリアと云ふ娘をおいたまゝ妻に逃げられたので、二三年前から家で忠實に立働いてゐた女中を正妻になほして子供のめんどうを見させることにした。しかし、何んなに忠實な女でも繼母は生みの母と同一にはゆかない。マリアの虐待されるのを見兼ねた爲めか、或る日氣狂ひ神徒は門口で遊んでゐたマリアをつれて何處へか姿をかくしてしまつた。探したが行先が解らない、すると、三年目にその氣狂ひ神徒がマリアをつれて突然村に歸つて來て「男をつくつて逃げたと云ひ傳へられたマリアの母は、實は夫のフランス人と二度目の妻のために殺されたのだ」と村中に云ひふらして歩いた。村人はこれを聞くと神徒とマリアの後から黑山のやうについて來た。神徒は更に村の巡査をも誘ひ、フランス人の家の畑の中に這入つて神徒が「何處に埋めた」と聞いた時、マリアが默つて指した地點を掘つて見ると、寸分違はず其の下から母の屍體が出て來たのだつた。

フランス人と第二の妻とは其の場で捕へられて、結局二人がマリアの母の生前から戀におちてゐてその戀を貫く爲に或る夜マリアの母を絞殺して裏の畑に埋めたことを白白したのだつた。

マリアは祖父の神徒に殺された母が何處に埋められてゐるか訊かれた時に神がかりになつた時のやうに殆ど夢中でその地點を指さしたのだつた。長い間祖父と共に木の芽や落ち穗などのみ常食として精進修行の旅を續けて來た彼女には、我れながら怖ろしい一種の直覺が與へられてゐたのである。しかし、もしあの時の地點を知つてゐても默つて云はずにゐたなら―母の屍體の埋められた地點を指さゝなかつたなら、父も義母もおそらく今なほ幸福に此の世に生きてゐたのではないだらうか。

「ああ、私だわ、私があの父と義母とを殺したのだわ」

闇の室内に突きさゝつた月光の篩の中で、マリアは身をふるはして悲しげにすゝり泣いた。何時も朗かに明るいマリアの心を時々暗く曇らせるのもこの想念より外のものではないのだつた。

新刊紹介

△婦人公論（九月號） 婦人雜誌界を獨自の編輯振りで驚倒せしめ乍ら益々知識階級に讀者層を擴大してゐる婦人公論はいつも乍らの素晴らしい内容の集大成には敬服の他はない、婦人公論ならではみられない論文には（理想的な結婚は何處に求むべきか）吉野作造「現代職業婦人に與ふ」馬場恒吾、社會的根據から（婦人獨身論）石濱知行等の諸氏のは流石に平易で且つ讀みごたへがある。創作面に新分野を提供した（職業婦人を主人公とした短篇）六篇はタイピスト、女教員、看護婦、女工、女中などそれぞれに扱ひ誰讀がでもピンとくる好讀物、新載の長篇小說（女弟子）は森田草平快心の傑作其他の本格的な小說欄は益々さえをみせて來た（子を山に捧ぐ）は、中野正剛氏夫人の哀悼のことばは、また山に逝つた凡ての人々への慈母の獻辭である、家出した人情大臣の娘、戰爭に父を奪はれた子の手記、共産黨公判傍聽記、夫婦生活禁制十ケ條等の中間讀物、秋のモデスティ、五百圓から參千圓までの住宅設計秋からの健康法等の有益記事滿載し、既に定評があるが斷然水準を抜いたよい雜誌である（東京丸ビル・中央公論社發行・定價五十錢）

けふの放送

大連 JQAK
八月二十六日

▲午後四時野球連絡放送（滿倶對松山高 第一回戰）
▲自午後七時三十分から
▲ニュース
▲英語講座（テキスト第十九頁）大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン合唱（フエスタデルグラノーより、マチヨツキ作）滿鐵音樂會演奏部員
▲長唄（浦島）唄吉本敏子、三絃杵屋榮多賀
▲ラヂオドラマ（故鄕）街の小劇場一座、ハインリヒ（大木緑郎）カール（細川愼）一獨逸兵の捕虜（海野汎）ロシアの看守人（峰一）アンナ（水野秋子）放送指揮（山田章）效果（入江汎）
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK
八月二十六日午後七時卅分

▲講演（水底トンネルの話）柳生義郎▲義太夫（伊勢音頭戀寢刄）（大阪より）竹本錣太夫、三味線鶴澤新左衛門▲浪花節（俠客［illegible］）一心亭辰雄